

保健師におけるセクシュアリティ理解と援助スキル開発に関する研究

研究分担者：和木 明日香（千里金蘭大学看護学部）
研究協力者：西村 由実子（関西看護医療大学）
岩井 美詠子（個人事務所ダブルアイズ代表）
岡本 学（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）
研究代表者：日高 庸晴（宝塚大学看護学部）

研究要旨

本研究の目的は、保健所等に勤務する保健師を対象に、セクシュアリティ理解を促進し、HIV 検査現場での援助スキルを向上させることを目的とした教育プログラムを開発・提供し、我が国における MSM に対する HIV 予防対策の強化に貢献することである。初年度の平成 23 年度は、近畿圏の全保健師を対象として、セクシュアリティに対する意識、今後の教育研修に対するニーズ等を明らかにすることを目的とした実態調査を実施した。24、25 年度は、得られた知見を踏まえ、教育プログラムを開発することを目的として研究事業を行った。以下に本年度の結果を示す。

- ・平成 23 年度の調査結果、これまでの HIV 関連の研修実施状況などを踏まえ、MSM 理解促進と陽性告知の支援能力をテーマとする 1 日研修を企画し、近畿圏の自治体の協力を得て 8 回実施した。延べ 134 名の参加が得られた。
- ・研修の効果測定のために、研修あり群・研修なし群（同じ保健所に勤務する保健師）の保健師に対し、研修前後・研修 1 ヶ月後・3 ヶ月後の質問紙調査を実施した。
- ・研修の効果として、同性愛に対する抵抗感の減少、同性愛に関する知識の増加、陽性告知知識の向上、MSM 対応自信の向上、陽性者対応自信の向上が、研修あり群において確認され、研修なし群と比較して有意な変化が認められた。
- ・研究成果を日本看護科学学会交流集会にて発表し、看護教育等における多様なセクシュアリティ対応能力向上のための取り組みの可能性について提言を行った。

A. 研究目的

2011 年に全国の保健所等で実施された HIV 検査の数は 131,243 件であった。日本における HIV の感染に対する脆弱性が高いグループである MSM（Men who have sex with men）の間でこの検査の認知度は高く、受検経験のある者の 5 割以上が利用している。また、HIV 感染者の 68.4% が同性間性的接触による感染であった。このため、保健所において MSM が受検しやすい検査環境・MSM の陽性者への支援体

制を整備していくことが課題である。

HIV 検査や HIV 陽性者支援には、専門的な対応が必要であるが、それらの業務にあたる現場の保健師は、HIV 検査対応や多様な性に関する相談等の援助、さらに HIV 陽性者への対応について、専門的な教育を受けていない場合が多い。本研究の目的は、保健所等に勤務する保健師を対象として、セクシュアリティ理解を促進し、HIV 検査現場での援助スキルを向上させることを目的とした教育プログラムを開発・提供

し、日本における MSM に対する HIV 予防対策の強化に貢献することである。平成 23 年度は近畿 2 府 4 県の保健師の HIV 関連業務の現状や問題点を把握するために、保健所勤務の保健師約 1,500 名を対象に質問紙調査を実施した。平成 24 年度および本年度は、23 年度の実態調査の知見やこれまでの先行研修の実施状況等を踏まえ、研修プログラム策定・実施し、その効果を測定することを目的とする。数多くの HIV 研修が日本国内で行われているが、本研究により MSM セクシュアリティ理解促進と HIV 検査業務の場でのスキル向上を目指す研修プログラムを開発し、パッケージ化することで、保健師の HIV 予防対策の質の向上を図ることを目指す。

B . 研究方法

本年度は以下の 2 点を実施した。

1. 平成 24 年度に引き続き、研修の近畿圏広域実施、質問紙調査による研修効果測定を行った。
2. 研究結果を公表し、看護職への研修実施や看護教育への提言のために、第 33 回日本看護科学学会（12 月 5 日、大阪）にて、交流集會を持ち研究結果の報告と参加者との意見交換の機会を持った。

1) 研修について

MSM 理解促進と HIV 陽性者の支援能力の向上をテーマとした 1 日研修を実施した。研修の目標は以下である。

セクシュアリティ（特に MSM の性的指向・性行動・心理社会的側面）に対する理解が深まり、MSM 対応に自信を持つことが出来る。MSM への理解を深め、抱える健康問題やニーズを把握することが出来、支援に反映することが出来る。

HIV 陽性者支援への理解を深め、HIV 関連業務の場で活用することが出来る。

研修概要を表 1 に示す。自治体により 1 日、半日研修のスケジュールとした。前年度は、大阪、

兵庫、京都、神戸で実施したが、本年度は大阪、滋賀、奈良、和歌山の近畿の広域圏で研修を実施した。自治体により、HIV 検査担当が保健師ではなく、看護師や臨床検査技師などが担当しているため、本年度は保健師に加えて HIV 関連業務に従事する関連職種（以下、関連職種とする。）も研修の対象とした。前年度に引き続いて研修を計 8 回、延べ 134 名の参加者（保健師 125 名、関連職種 9 名）が得られた。日程や参加者の詳細を表 2 に示す。

2) 研究デザインおよび期間

比較対象群ありプレポストデザイン研究とし（研修あり群・研修なし群）研修前後・研修後 1、3 ヶ月の評価を、無記名自記式質問票を用いて実施した。

3) 対象者

対象者は研修に協力の得られた自治体・関連機関に所属する常勤の保健師と HIV 関連業務に従事する関連職種である。研修に参加した保健師と関連職種を研修あり群とし、研修に参加協力が得られた保健所・関連機関で、研修に参加しない保健師と関連職種を研修なし群とした。

4) 質問票の内容と配布回収方法

質問票の構成は下記の通りである。自記式質問紙を、研修参加者の所属する保健所等に送付した。担当者を通じて、研修あり群保健師と関連職種、研修なし群保健師と関連職種に配布した。協力者は回答後、回収用封筒に入れ、担当者によって回収され研究班に返送された。研修前後・1 ヶ月後、3 ヶ月後の 3 回送付し、各回ごとに返送された。

基本属性

MSM 対応について：

- ・ MSM に対する態度 既存尺度 Index of Homophobia (IHP)の日本語版 (JIHP)
- ・ MSM 対応の自己効力感
- ・ MSM の知識などを問う質問(平成 24 年度

調査の他職種調査との共通項目、他の研修で実施している質問紙との共通項目)

陽性告知時支援:

- ・ HIV や陽性者支援に関する基礎知識
- ・ 陽性告知への支援の態度、支援の自己効力感などを問う質問

5) 倫理的配慮

本研究は千里金蘭大学疫学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した。

本研究の実施は、世界医師会ヘルシンキ宣言(2008年ソウル改訂)の趣旨に沿い、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針(平成20年7月31日全部改正)」及び文部科学省・厚生労働省「疫学的研究に関する倫理指針(平成20年12月1日一部改正)」に準拠して、倫理的配慮を行った。

研修は、セクシュアリティや個人の性への価値観に関する内容を含むため、研修の際、参加者の個人情報の保護、個人の考えを尊重することを保障することを示すグラウンドルールを講師・参加者と共有した。

研究協力の任意性を保障し、答えたくない質問には答えなくて良いことを説明同意文書に記載し、同意をした者のみに質問紙への回答に協力してもらった。研究期間・終了後のデータの厳重な管理を行った。

質問紙の個人情報の保護のために、初回質問時調査実施時にID番号の記入されたシールを配布し、そのシールを調査実施の際に質問紙に貼ることで連結不可能特定化を行った。各回の調査実施時に100円程度の謝品を配布した。

6) 分析方法

統計解析には、IBM SPSS Statistics 20を使用した。データクリーニング後、記述的統計解析と全変数の単純集計を行った。連続変数とみなせる回答については、変化量(前後、前1ヶ月、後1ヶ月、1・3ヶ月後)の群間(研修あり・

なし)比較のt検定、群内(研修あり・なし)で、平均値の対応あり(ペア)t検定(前後、前1ヶ月後、後1ヶ月後、1・3ヶ月後)を行った。カテゴリ変数については、群内(研修あり・なし)で、対応サンプル McNemar 検定を行った。さらに、各回答時期の全保健師のMSMへの対応自信と陽性告知時の対応自信を従属変数として各種変数とのクロス集計を行った。研修後、1ヶ月後、3ヶ月後の研修あり群の質問紙自由記載については、定性的分析法で分析を行った。

C. 研究結果

1. 研修の効果測定について

1) 研修実施

全8回の研修は、各自治体担当部局および担当者の多大な協力のもと無事終了した。実施について、講師のコメントを次に挙げる。

【研修実施において、講師が留意した点】

参加者が、すでに取り組みられていることを、評価しながら、なぜそれに取り組んできたのか、改めて意識化する作業にしてもらうこと。

MSMということだけでなく、利用者主体ということを再度意識化すること

価値観の多様性を意識し、個別化するためにどうするのか、具体的な方法を考えられるようになること

陽性の結果を伝えなければならない状況になった場合を意識して、検査相談について考えてもらえるようにすること、このことによって、準備性を高める。

具体的な事例を示しながら、研修に取り組んでもらうこと

【参加者の反応】

とても真面目にとりくんでいた。参加した、という段階である程度意識の高い人たちだったのかもしれない。

1日開催の自治体では、時間的余裕があった事もあり、参加者とよい関係を築けたと思う。

半日開催の場合、必要事項を抑えることで一杯で細やかなケアができたとは思えない。参加者も仕事場からきている事もあり、グループワークをしていても1日開催のグループに比べると会話が進んでいなかったように感じた。

【よかった点】

陽性者の声を聴く機会を作りたいとの申し出を受けた。

現在取り組んでいること、この先取り組みが必要なことを、参加者が検討できたこと

面接の際に、何のためにそれを聴くのかということが具体的に言語化できたこと

2) 研修効果測定分析対象者

平成25年12月の時点で全8回の研修3ヶ月後までの研修評価質問紙調査が終了した。研修実施1ヶ月後まですべて回答が得られている対象者の保健師、研修あり群102名、研修なし群151名を対象に、分析を行った。関連職種の対象者は研修あり8名、研修なし5名ら得られた回答をもとに、主に自由筆記部分について分析を行った。

3) 対象者の基本属性および業務経験

分析対象者の基本属性および保健師業務における経験を、研修あり群、研修なし群について、表3に示した。対象者の平均年齢は研修あり群37.4歳(中央値35.0、最頻値29、標準偏差10.1)研修なし群39.5歳(中央値40.0、最頻値28、標準偏差10.7)であった。研修あり・なし群で、年齢に有意差はなかった(t 検定、 $p=0.121$)。経験年数は、研修あり群で12.1年(中央値8.0、最頻値1、標準偏差10.3)研修なし群で14.4(中央値12.0、最頻値1および6、標準偏差11.2)であった。研修あり・なし群で、経験年にも有意差はなかった(t 検定、 $p=0.107$)。

4) 担当部署のMSM・HIV対応準備(準備性)
この項目では、平成25年度の大阪・兵庫県の

研修後・1ヶ月後の質問紙にこの項目が含まれることができず、研修後と1ヶ月後は大阪と兵庫の参加者43名を無回答に含めた。

「MSM対応について、担当部署で準備しているものがあるか」については、研修あり群で、研修後41.2%、1ヶ月後50.0%、3ヶ月後81.4%であった。研修後・1ヶ月後で有意な差($p=0.012$)があり、研修1・3ヶ月後は有意な差が見られなかった。研修なし群には、有意な差が見られなかった。

「HIV陽性告知時の対応について、担当部署で準備しているものがあるか」については、研修あり・なし群ともに有意な差が見られなかった。

5) MSM・同性愛に対する知識

表5の～は、MSM・同性愛に対する知識と考え方を問う設問である。ほとんどの項目で、研修あり群の研修前後、研修前・1ヶ月後で有意な差があった。特に問「同性愛者になるか異性愛者になるか、本人の希望によって選択できる(そう思わない)」や問「日本における性的マイノリティの人口比は5%前後である(そう思う)」は、研修内の講義で言及された内容であり、これらに関する知識が着実に増えたことを示している。

同性愛に対する考え方として、問「世の中の多くの方は、同性愛に対して偏見を持っていると思う」は研修あり群、研修なし群の研修前は85.3%、77.5%で、1ヶ月後は84.3%、76.2%、3ヶ月後では78.4%、66.9%であった。また問

「世の中の多くの方は、性同一性障害について偏見を持っていると思う」研修あり群、研修なし群の研修前は65.7%、60.3%で、1ヶ月後は63.7%、62.9%、3ヶ月後では60.8%、55.6%であった。この変化に有意な差は見られなかった。多くの保健師が、同性愛や性同一性障害に対して、世間一般に偏見が存在していることを認識していることがわかる。

問「自分の担当する相手が同性愛者だと分かったら、抵抗を感じる」は、「そう思わない」

を選択した割合は、研修あり群の研修前は62.7%、研修後84.3%、1ヶ月後87.3%、3ヶ月後81.4%で、変化に有意な差が見られている（前後 $p=0.000$ 、前1ヶ月後 $p=0.000$ 、後1ヶ月後 $p=0.424$ 、1・3ヶ月後 $p=0.549$ ）。

問 「正直な気持ちとして、同性愛のことは理解できない気がする」は、「そう思わない」を選択した研修あり群の割合は研修前56.9%、研修後69.6%、1ヶ月後70.6%、3ヶ月後で72.5%だった。研修前後、研修前から1ヶ月後で有意な差が見られた。（前後 $p=0.004$ 、前1ヶ月後 $p=0.011$ 、後1ヶ月後 $p=1.000$ 、1・3ヶ月後 $p=0.118$ ）問 「正直な気持ちとして、性同一性障害のことは理解できない気がする」にも、「そう思わない」と答えた研修あり群の割合は研修前後、研修前から1ヶ月後で有意な差が見られた。

6) 同性愛に対する感じ方 (JIHP)

表6は25項目からなる同性愛に対する感じ方 (JIHP 尺度) である。設問 「職場に男性の同性愛者がいても不快ではない。」研修あり前後 ($p=0.034$) 前1ヶ月 ($p=0.059$) 1・3ヶ月後 ($p=0.042$) 群間前後 ($p=0.014$)

「近所の人が同性愛者だとわかったら、いやな気がする」研修あり前後 ($p=0.016$) 群間前後 ($p=0.013$) 後1ヶ月 ($p=0.029$) 「同性が自分に性的な誘惑をしたら怒りを感じる」研修あり前後 ($p=0.001$) 前1ヶ月後 ($p=0.007$) 群間前後 ($p=0.016$) 研修なし前1ヶ月 ($p=0.039$) 「自分の子どもが同性愛者だとわかったら、がっかりする」研修あり前後 ($p=0.000$) 前1ヶ月 ($p=0.000$) 群間前後 ($p=0.007$) 研修なし前後 ($p=0.029$) 前1ヶ月 ($p=0.006$) 群間前後 ($p=0.007$) 「同性愛者のグループの中ではおちつかない」研修あり前後 ($p=0.017$) 前1ヶ月 ($p=0.000$) 群間前1ヶ月後 ($p=0.036$) 「娘の先生がレズビアンだとわかってても不快ではない」研修あり前後 ($p=0.029$) 前1ヶ月後 ($p=0.003$)

1・3ヶ月後 ($p=0.022$) 群間前1ヶ月 ($p=0.007$) 1・3ヶ月後 ($p=0.008$) 「ゲイが多い町や場所を歩くこともかまわない」研修あり前後 ($p=0.013$) 前1ヶ月後 ($p=0.000$) 群間前1ヶ月 ($p=0.002$) ⑳ 「自分の主治医が同性愛者だとわかったら動揺する」研修あり前後 ($p=0.001$) 前1ヶ月後 ($p=0.007$) 群間前後 ($p=0.019$) ㉑ 「息子の男性の先生が同性愛者だと知ったら、いやな気がする」研修あり前後 ($p=0.000$) 前1ヶ月後 ($p=0.002$) 群間前後 ($p=0.042$) であつた。これらの設問では、研修あり群の研修前後、前1ヶ月後、後1ヶ月後、1・3ヶ月後のいずれかに有意差が見られ、研修なし群との群間比較についてもこれらの設問の研修あり群・なし群の群間比較では、前1ヶ月後、後1ヶ月後、1・3ヶ月後のいずれかに有意差が見られていた。これらの項目は、身近に同性愛者がいることに対して不快感を感じるかに関する項目であるが、研修を経て不快感が減じ、3ヶ月後までその効果が持続していることが考えられる。

問 「同性に誘惑されても不快ではない」研修あり前後 ($p=0.001$) 前1ヶ月 ($p=0.001$) なし群内前後 ($p=0.002$) 前1ヶ月 ($p=0.005$)

「自分が同性の人に性的に惹かれていることに気がついてても不快ではない」あり前後 ($p=0.002$) 前1ヶ月 ($p=0.005$) 研修なし前後 ($p=0.007$) 前1ヶ月 ($p=0.018$) 「男性二人が人前で手をつないでいるのを見たら気持ち悪い」研修あり前後 ($p=0.002$) 前1ヶ月後 ($p=0.001$) 研修なし前1ヶ月 ($p=0.003$) 後1ヶ月 ($p=0.039$)、㉒ 「同性の人から言い寄られたらいい気分がする」研修あり前1ヶ月 ($p=0.028$) 後1ヶ月 ($p=0.004$) 1・3ヶ月 ($p=0.001$) 研修なし前後 ($p=0.002$) 前1ヶ月後 ($p=0.009$) のように、研修あり群・なし群ともに前後、前1ヶ月後、後1ヶ月、1・3ヶ月後のいずれかに有意差があつた。群間比較においては有意差は見られなかつた。

問 「同性愛者が参加している社会活動にも

よるこんで参加する」。「自分が同性にとって性的魅力があると知っても不快ではない」。

「自分の親が同性愛者だとわかってても不快ではない」。「子どもがゲイだと分かったら、自分が親として失格だと感じる」。「パーティーなどで、同性愛者と気兼ねなく話せる」には、研修あり・なし群ともに研修前から3ヶ月後にかけて、有意な変化が見られなかった。これらの項目については、研修の前後での変化は見られていない。

JIHPの総得点は、満点は100点で、得点が下がれば下がるほど同性愛に対する抵抗感が少ないことを示す。研修あり群の得点は、研修前38.96点、研修後34.44点、1ヶ月後33.7点、3ヶ月後34.42点である。研修あり群内のJIHP総得点の対応サンプルt検定結果は、前後($p=0.000$)、前1ヶ月後 $p=0.000$ 、後1ヶ月後 $p=0.589$ 、1・3ヶ月後 $p=0.816$ となっており、抵抗感は減少しその後、継続したことを示している。研修なし群においては研修前41.61点、研修後39.94点、1ヶ月後39.61点、3ヶ月後39.24点である。研修あり・なし群の比較の群間検定においても、研修前後、前・1ヶ月後に有意差があった。

7) MSM 対応

表7は、MSM対応に関する項目である。問「あなたの家族や親戚、友達、職場の同僚など、身近な人の中にMSMがいると思いますか」では、研修あり前後($p=0.000$)、前1ヶ月後($p=0.000$)、群間前後($p=0.022$)、前1ヶ月($p=0.079$)、研修なし前後($p=0.008$)、前1ヶ月($p=0.005$)で、「いる」と自覚する研修参加者が増え、研修なし群と比較しても研修あり群で有意に増加している。研修を経てMSMが身近にいるということを感じるものが増えていく。

問「あなたは、HIV検査や相談の中で、MSMの性行為、性的な話題になったとき、抵抗感がありますか」研修前後($p=0.000$)、前1

ヶ月($p=0.000$)、群間比較前後($p=0.035$)で有意であった。研修あり群でMSMの性行動を扱う際の抵抗感が「まあまあある」者の割合が、研修前の36.3%から研修1ヶ月後24.5%まで減じている。問「あなたは、HIV検査や相談の中で、面談者の性的指向がわかりにくいとき、抵抗感を感じますか」では有意な結果が得られなかった。問「MSMと思われる、またはMSMの受検者(相談者)への対応に、自信はありますか」では研修前後($p=0.000$)、前1ヶ月後($p=0.000$)、群間前後($p=0.001$)、前1ヶ月($p=0.000$)と有意な結果が得られた。割合としては自信が「ある」者が研修前の11.8%から1ヶ月後の22.5%へと増加した。

問「MSMの現状を知るために、あなたご自身がしていることは何ですか」について、「同僚などに相談する」が研修あり群前後($p=0.012$)、前1ヶ月後($p=0.021$)、なし群内では前後($p=0.039$)、前1ヶ月($p=0.000$)、後1ヶ月($p=0.002$)で、研修あり・なし群双方で増加している。研修あり・なし群ともに研修後に参加者である同僚などに相談する機会が増加していることが考えられる。

8) 陽性者支援に関する知識

表8に14項目の陽性者支援に関する知識の質問項目の結果を示した。研修あり群において望ましい回答をする者の割合が、研修前後または前・1ヶ月の比較で有意に増加したのは、次にあげる6項目である：問「検査が匿名であっても、陽性告知の場面では必要に応じ、受検者の氏名やプライバシーに関わる内容を確認する必要がある(そう思わない)」前後($p=0.000$)、前1ヶ月後($p=0.004$)、問「他者に感染の可能性があるので、セックスを控えることを伝える(そう思わない)」前後($p=0.001$)、前1ヶ月後($p=0.009$)、問「陽性告知の場面では、事実のみの必要最小限の説明にとどめ、その後の対応は紹介先病院で行うことが望ましい(そう思わない)」前後($p=0.004$)、問「HIVの

治療で、加入している健康保険を利用することで、被保険者の職場に病名などが知られる可能性がある（利用できないことが多い（そう思わない）」前後（ $p=0.000$ ）前1ヶ月後（ $p=0.002$ ）問「ARTや日和見感染症の治療をしている場合、自立支援医療の制度を利用することで治療費の自己負担を減らすことができる（そう思う）」前後（ $p=0.000$ ）前1ヶ月後（ $p=0.013$ ）問「HIV陽性者は、介護保険を利用できない（そう思わない）」前1ヶ月後（ $p=0.022$ ）これらは、研修の講義で言及されていた内容であり、参加者の新たな知識として身に付いたことがうかがわれる。一方、これら6項目以外の項目は、研修前および研修なし群においても9割以上もしくは9割前後の者が望ましい回答をしており、知識としてすでに定着していたものと考えられる。

総得点としては、研修あり群で研修前10.78点、研修後11.99点、1ヶ月後11.77点、3ヶ月後11.64点であり、研修なし群では、研修前10.45点、研修後10.41点、1ヶ月後10.73点、3ヶ月後10.61点であった。あり群内では前後（ $p=0.000$ ）前1ヶ月後（ $p=0.000$ ）後1ヶ月後（ $p=0.024$ ）研修なし群内においても、前1ヶ月（ $p=0.018$ ）後1ヶ月（ $p=0.009$ ）と有意な変化があった。群間比較においても有意差が認められ、研修あり群に研修の効果が認められることがわかる。研修なし群の研修1ヶ月後における得点の増加は、研修参加者に聞く、学習するなどをしたものと考えられる。

9) HIV陽性者支援に対する態度と対応

表9は、HIV陽性者支援に対する態度と対応に関する質問項目の結果である。陽性者対応の自信について、研修あり群では、研修前後（ $p=0.000$ ）前1ヶ月後（ $p=0.000$ ）研修後1ヶ月後（ $p=0.820$ ）1・3ヶ月後（ $p=0.241$ ）という結果が得られた。この設問の群間比較では研修前後（ $p=0.000$ ）研修前1ヶ月後（ $p=0.000$ ）研修後1ヶ月後（ $p=0.799$ ）となった。研修あり群において、自信が有意に増加し、そ

の後も維持している。また「HIV検査結果告知を通じて、予防的支援ができたと思う」では、研修あり群では、研修前後（ $p=0.291$ ）前1ヶ月後（ $p=0.007$ ）研修後1ヶ月後（ $p=0.015$ ）1・3ヶ月後（ $p=0.127$ ）と言う結果が得られた。この設問の群間比較では研修前後（ $p=0.706$ ）研修前1ヶ月後（ $p=0.042$ ）研修後1ヶ月後（ $p=0.043$ ）となった。研修あり群において、予防的支援ができているという効力感が研修1ヶ月後に増加し、その後も維持している。

10) 研修後評価

研修あり群に対して、研修後、研修1ヶ月後、研修3ヶ月後に研修が役に立つかを尋ねた結果を示したのが表10である。総じて、研修の各内容は「大変役に立っている」「まあ役に立っている」と評価されている。研修後の「役に立った」を選択した割合が有意に高く、研修1ヶ月後には少し減少している。3ヶ月後ではそれを維持している。

11) 各変数とのMSM対応自信のクロス表

「MSM対応の自信」を従属変数とした各主要変数とのクロス集計の結果を表11に示した。最終学歴、保健師養成課程で同性愛・性同一性障害、HIVについて学んだこととMSM対応自信度に有意な関連はなく、保健師になってから研修などで同性愛や性同一性障害について学んだこと、エイズ予防財団・自治体主催の研修を受講した経験があること、MSM対応経験があること、MSM陽性告知に関わった経験があること、JIHP得点が低いこと、陽性者対応自信があることはMSM対応の自信に有意な関連が見られた。

12) 各変数との陽性者支援自信のクロス集計

「陽性者支援の自信」を従属変数とした各主要変数とのクロス集計の結果を表12に示した。最終学歴、保健師養成課程や保健師になってからで同性愛・性同一性障害について学んだこと、保健師養成課程でHIVについて学んだこと、

JIHP 得点や陽性者支援知識得点と陽性者支援の自信度に有意な関連がなかった。HIV 研修の受講歴、MSM の HIV 検査受験者・相談者対応経験があること、MSM の陽性告知に関わった経験があること、MSM 対応の自信と陽性者支援自信に有意な関連が見られた。

13) 自由記載の分析結果

質問紙に回答した研修参加群より、研修後 354 情報、1 ヶ月後 427 情報、3 ヶ月 305 情報が得られた。

各質問項目に対する回答は、定性的分析法で分析を実施し、県別および時間軸別でカテゴリー毎にまとめた。特に「MSM あるいは HIV 陽性告知に対する意識」というテーマにまとめられた内容について、研修後、1 ヶ月後、3 ヶ月後に区分したのが表 13,14,15 である。ポジティブコメント(研修手法)等の 7~9 つのカテゴリーが挙げられた。

2. 関連職種の結果

関連職種の参加者・直後の「研修の印象・感想」からは、以下の回答が得られた。

「MSM に関して、今まで考えたことのなかった社会心理的背景を知る機会となって、非常に有意義だった。」「セクシャルマイノリティについて、統計だけでなく、実際の相談内容や当事者たちが感じていることについて知ることができ、経験のあまりない私にとってはとてもためになった。また、検査実施についてどうしても陰性(検査)を前提として考えてしまいがちな部分があったと実感したので、今後陽性を前提としたマニュアル整備や対応をしたい。」のように、HIV 関連業務を担当している参加者からポジティブな回答が得られた一方で、「保健所の事業の一環で仕事をしているので、内容等に深く係っている訳ではないので研修の内容が不明(わかりにくい)な事が多かった!」のように、直接に HIV 関連業務に従事していない参加者にとっては、わかりにくいものであった様子が

うかがえる。以降、1,3 ヶ月後の「研修の印象・感想」では、「研修で得た知識に関して、忘れてきたと感じる。」、「これまでは、陰性結果を念頭においた対応をしてしまいがちであったが、陽性結果を前提としたカウンセリングや、最新の情報提供ができる体制を整えていきたい。」のように、保健師の参加者と同様に研修で学んだことを生かして業務を行っている様子がうかがえる回答が得られた。

3. 研究結果の公表

平成 25 年 12 月 5 日に大阪で開催された第 33 回日本看護科学学会にて、「多様なセクシュアリティ理解促進にむけて - 近畿圏保健師のセクシュアリティ理解の現状・教育プログラム実施の取り組みを基に - 」というテーマで交流集会を開催した。参加者はのべ 25 人程度で、平成 24 年度に実施した実態調査結果報告、研修実施報告を行い、意見交換の機会を持った。参加者からの意見として、どの領域の看護でも、コミュニケーション・カウンセリングスキルが重要であり、それらを基礎教育の中で培う必要があるという意見などが出された。また性の多様性の理解促進にむけて、今後、看護教育の中はコミュニケーションスキルと同時に、多様性の知識を提供することが必要であるという意見交換がされた。

D. 考察

本研究では MSM 理解促進と陽性告知時の対応能力向上の 2 つのテーマを取り上げる研修を企画し、研修効果を質問紙調査により測定した。これまでの結果を踏まえ、1. 研修プログラムについて、2. MSM 理解促進について、3. 陽性告知時の対応能力向上について 4. 今後の課題に分けて、考察する。

1. 研修プログラムについて

1) 研修スケジュールについて

研修では、限られた時間の中で参加者の学び

を促進するため、ワークの後に講義をする形で研修を構築していた。そのことについて参加者からは「グループワークが間に挟まれていて、自分の考えを整理できて良かった」といったコメントがあった。その反面、「MSM についてと陽性告知についてワークも入れると盛りだくさん過ぎて、最後あたりは急かされているような感じでした」といった意見があった。これは研修時間が影響をしている事が考えられた。本研修は、9時から17時で作成をしていたが、状況により半日研修や、時間を1時間半程度短縮して実施した自治体もあった。そのため、講義時間を通常と同様に確保しようとする、どうしてもワークの時間が短くなり、余裕をもった導入が出来ない状況を生んでしまったようであった。時間の設定やテーマ設定について、再度検討する必要がある。

2) 研修内容について

研修内容として、各講師の講義や陽性告知のある自治体の実施状況の発表は大きな学びを与えた。講師の経験に基づく事例検討時のコメント等が参加者に実践する際のヒントを与えている事が、「資料・情報収集や告知マニュアルの整備」、「事例をチームで共有し、対応(相談)をみなおし、よりよくすすめていく」や「拠点HP 診療案内を管内病院数分、取り寄せ、全病院に行ったインタビュー調査結果とともに配布した」などの職場環境整備や「HIV 検査・相談場面でのていねいな対応」、「陽性告知支援も想定して対応すること」、「受検者の性的指向・セックスについて、自分から聞くようにしている・気負わず聞けるようになった」など自分の心の整理をしていることが1ヶ月後、3ヶ月後の自由記載よりわかった。その他の変化としてグループワークで知り合った他の保健師から紹介された援助団体を訪問したり、MSM の Web サイトをチェックするようになるなどしていることが1ヶ月後調査でわかった。

今までMSM やHIV 陽性告知などに参加した

ことのない参加者と他の研修に参加した経験を持つ参加者のコメントを比較すると、研修未経験参加者からはポジティブコメントを得られたのに比べ、他の研修に参加している参加者からは「他の研修と内容が変わらなかった」といった意見が多かった。研修前よりMSM 対応や陽性告知に関わっていた参加者からはもともとMSM やHIV 陽性を特別視せずに対応してきた事もあって、時間軸変化をみても「特に意識に変化はありません」の意見が複数あった。内容としては実践的な面接スキルよりも、基礎的知識や援助のイメージを広げるものであったために、既に経験のある参加者にとっては新しさがなかったと考えられる。

HIV/AIDS やMSM 研修未経験者や業務での関わりのない参加者からは「基本的なことが知りたい」との声が複数あり、研修参加者からも「ロールプレイまでレベルが達していない人へは中身の濃い講義も必要だと思う」との意見があった。他での研修経験があり、実践経験もある参加者は、MSM の世代別の精神的変化やMSM の背景などの深い内容や「肯定的に支えて話を聞く手法」や資料を作成するグループワークなど仕事に直結する内容を求めている事がわかった。

このことから経験別に研修内容を検討する必要があると考えられる。

3) 今後の研修実施に向けて

今後の研修に含んでほしい内容として一番多かったのが、「当事者(MSM/HIV 陽性者)による体験が聞きたい/話がしたい」というものであった。次に多かったのが、「事例に基づく陽性告知面談のロールプレイ/シミュレーション」や「事例検討」であった。このことから、MSM やHIV 陽性告知を受けた人が、保健師や医療者の対応で何を感じ、こういった情報を得たいと思っているかを知ることが、実際の現場での対応のヒントを与えると強く考えていることが考えられる。質問紙調査の結果では、MSM 対応

自信、陽性者支援の自信は、教育機関での教育経験とは関係がなく、保健師になってからの研修受講経験、MSM や陽性告知対応経験が関連していることが明らかになった。特に MSM 対応経験や陽性告知体験が多くない京阪神地域以外の場所においては、当事者による話やロールプレイ・シミュレーション、MSM 対応の経験談を取り入れることは、対応自信を構築していくうえで必要と考えられる。

研修の実施時期については保健所の繁忙期の実施を避けることや同じ内容を2回実施するなどの配慮を要する。また研修に参加できる保健師が限定されるために、研修参加者が職場に戻って情報を同僚とシェアしやすいようにグループワークでの成果をプリントアウトして配布する事など情報の共有に対する配慮も今後の課題である。さらに、今年度は HIV 検査を保健師以外の職種が担当している自治体があったために、研修の対象を保健師以外の関連職種にも広げて実施した。自治体の現状に即した形での対象の設定が必要である。また陽性告知の場面などで医師などとの多職種との連携もある。そのため研修の対象を保健師に限定せず、HIV 関連業務を担当するものとし、交流や情報交換を持つ機会としても活用できると考えられる。

2. MSM 理解促進について

研修あり・なし群を問わず、同性愛については約8割、性同一性障害については約6割の保健師が、それらに対する偏見が世間一般に存在すると認識していた。しかし、研修を受けたことで、自分の担当する相手が同性愛者でも抵抗を感じないとする者の割合が、62.7%から84.3%にまで増加し、3ヶ月後まで効果が持続している。

同性愛に対する抵抗感・嫌悪感をより客観的にはかる尺度である JIHP 総得点については、研修あり群においてその平均点が研修前の38.96から研修後の34.44に有意に減少し(偏見が減る方向への変化)、3ヶ月後まで持続

している。この変化は、研修なし群との群間比較においても有意である。研修には、参加者の同性愛に対する感じ方を、抵抗感・嫌悪感を減ずる方向に変化させる効果があったことを示している。一方で、研修に参加しなかった者の間でも JIHP 総得点41点代から39点代へという変化が研修前後で生じており、群内検定では有意となっている。これらは、研修なし群を研修参加者と同じ施設からリクルートしていることにより、復命や情報交換から得られた意識の変化である可能性、同一の質問紙を反復して回答していることから、学習の効果等で説明されると考えられる。

このような保健師自身の意識の変化は、専門職としての対応に変化をもたらしたのだろうか。MSM 対応の自信を問う設問に対しては「あまりない」という回答が、研修あり・なし両群のどの時期においても過半数を占めており、一朝一夕に変化するものではないことが示唆される。しかし、研修あり群において、自信が「ある」とした者の割合は、研修前の11.8%から研修後の20.6%へと増加しており、それは3ヶ月後まで維持している。同時に研修前には自信「ない」としていた者の「あまりない」への変化がおきており、これら全体の変化は研修なし群と比較して有意であった。研修には、MSM 対応の自信を向上させる一定の効果があったといえるだろう。同時に、クロス集計を見てみると、研修後の MSM への対応の自信には、最終学歴、保健師教育の中での学習経験は関連しておらず、これまでの研修経験、MSM の受検者対応や相談者対応経験が関係していることがわかった。本研修には、保健師の MSM 理解を促進する上での一定の効果は認められたものの、これをより実践的な MSM 対応能力向上につなげるためには、さらなる教育・研修が必要であることを示しているといえるだろう。

3. 陽性告知時の対応能力向上について

陽性者支援については、知識総得点について

は、研修あり群において、研修直後は有意に増加したが、直後から1ヶ月後へ知識を維持することができず有意に減少している。1ヶ月後から3ヶ月後の変化は有意ではないが減少傾向である。陽性者支援は、知識として身につけたとしても、実践の機会が限られていることにより、時間をおうことにより、知識があやふやになってしまうことが考えられる。一方、陽性者支援知識の総得点は、研修なし群において、研修前後に変化はないが、1ヶ月後に有意な増加が見られた。これは、保健所内での情報交換の効果と考えることができるだろう。

陽性者支援知識に関する個別の項目に注目すると、変化がなかった項目に関しては、研修あり・なし群に関係なく、概ね9割以上が望ましい回答をした。これらの知識はすでにある程度定着していると考えてよいだろう。反対に、研修による変化が大きかった6項目、すなわち、「陽性告知において氏名を確認する必要があるわけではないこと」「他者への感染防止のためにセックスを控えること促すのではないこと」「陽性告知後の対応を紹介病院任せにしないこと」「健康保険の利用によって必ずしも病名が職場に知られるわけではないこと（保険の種類によって違う）」「自立支援医療制度の利用で治療費の負担を減らすことができること」「HIV陽性者も介護保険を利用できること」については、多くの研修を受けていない保健師にとって難しい知識と考えられる。今後の普及活動において、特に重点的に伝えていく必要があるだろう。

HIV陽性者対応の自信については、研修あり群・なし群ともに、研修前は「ない・あまりない」が9割に達していた。しかし、研修あり群において、研修後、自信が「ある」または「あまりない」と回答した者が増加し、自信が「ない」という回答が減少している。全体として、研修前後で自信の向上が有意に認められ、その変化は研修なし群との比較でも有意であった。また、この変化は1ヶ月後・3ヶ月後に継続している。研修により、陽性者支援の非常に具体

的な知識が増加したことは、直接対応の自信に結びついたと考えられる。

クロス集計分析からは、研修後の陽性者支援の自信に関係する要因は、年齢が高く保健師経験年数が多いこと、保健師になってからのセクシュアリティ等に関する研修経験が豊富であること、MSMの受検者対応経験やHIV陽性告知に関わった経験があることなどであることがわかった。経験を積めば自信がつくと解することもできるが、経験の少なさを補強するような教育・資料の開発が重要であることを示しているといえるだろう。

4. 今後の課題

長期視点で学びを実践に移す、ポジティブ変化を生みだせるかどうかは、1)MSMや陽性告知という研修内容が実際業務にどれだけ関連性があるか、2)本人にどこまで内容に興味があるか、そして3)MSMやHIVなど直接業務と関わりのない事項に対し避ける時間が持てるか、という3事項が必要と考えられた。または「職場のHPから情報を得ようとしてもアクセスできない場合がある」など職場環境も影響があると考えられるため、職場の理解やサポートも重要だと考えられ、参加者からも「パンフレットの充実、事業の予算計上しやすくするように管理職（行政の）に研修してほしい」との提案があったり、検査業務経験がない参加者からは「基本的な事を何度も（年1回以上）確認の為に研修を開催してほしい」との意見があることから、上層部に対する研修やフォローアップ研修なども有効的手段と思われる。

日々の業務のある保健師が継続的に情報収集を続けることは困難なことでもある。さらに、業務に多忙な保健師が研修に参加することも限定されているため、研修のみでなく、情報リソースや教材の整備が必要である。そのため、近畿圏の情報をまとめたHPや情報パッケージを整備する、相談窓口の整備など、日常の情報収集や業務を支援することもHIV担当保健師の

モチベーションの持続や対応能力の向上に資すると考えられる。このような教材は、人事異動で HIV 担当となった保健師が基礎知識を身に着けるためにも、有用である。

研修後に陽性告知の対応マニュアルの作成や、事例の共有や検討、拠点病院の資料の収集を実際に行い、準備を進めている参加者も見られた。しかし、このような対応の準備性を高めていくことは、日ごろ多忙な保健師にとって、時間が必要であり、組織的な取り組みを行うことは、時間のかかることである。このような準備を進めていくうえで必要な情報を一括整備する、MSM や陽性告知対応の事例を各保健所が共有できることなど、保健師個人や保健所単位で準備性を高める取り組みを支援する必要があると考えられる。

また、本研究では、MSM 対応自信、陽性者支援の自信は、教育機関でのセクシュアリティ等の学び経験とは関係がないことが明らかになった。これは、言い換えれば、現在、看護教育の中で実施されているセクシュアリティや MSM 対応、HIV 陽性者対応に関する内容が十分でないことを示している。HIV に限らず日々の看護職の臨床実践の中で多様なセクシュアリティを可視化していく必要がある。また、看護科学学会の交流集会にて指摘されたとおり、看護基礎教育の段階において、多様なセクシュアリティの存在を可視化することと合わせて、相談対応の基礎となるコミュニケーションスキルを充実させる必要があると考えられる。

以上、本研究で得られた保健師の知識の実態や、研修による変化、保健師の考えなどをまとめ、看護教育や保健師現任教育の充実のための基礎的な資料としたい。

E . 結論

本研究では研修実施により MSM 対応の抵抗感の減少、MSM 対応自信の向上、陽性者支援知識の向上と陽性者対応自信の向上が研修効果として認められた。今後はさらに効果的な実践

のために、研修対象とならなかった保健師への支援や、看護教育におけるセクシュアリティ教育の強化を提言していく必要がある。

F . 研究発表

1 . 論文

(和文)

- 1) 西村由実子、尾崎晶代、和木明日香、日高庸晴：近畿圏の保健師における HIV/AIDS 業務の苦手意識と HIV 検査相談の現状に関する研究 ,日本公衆衛生雑誌(投稿中),2013 .

2 . 学会発表

(国内)

- 1) 和木明日香、日高庸晴、西村由実子：多様なセクシュアリティ理解促進にむけて - 近畿圏保健師のセクシュアリティ理解の現状・教育プログラム実施の取り組みを基に - , 第 33 回日本看護科学学会学術集会 , 2013 年 , 大阪 .

G . 引用文献

- 1) 矢永由里子 . 検査相談 研修ガイドラインの作成と普及について 基本編と実践基礎編の作成 HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究 平成 18 ~ 20 年度総合研究報告書 : 213-223
- 2) 矢沢由里子 . 検査相談 研修ガイドラインの作成と普及について ガイドラインの検証と講師用実施マニュアルの作成について HIV 検査相談機会の拡大と活用に関する研究 平成 22 年度研究報告書 : 57-64
- 3) 今井光信 . HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査(H22年) .HIV 検査相談機会の拡大と活用に関する研究 平成 22 年度研究報告書 : 19-56
- 4) 大木幸子 .保健所等における HIV 陽性者への相談・支援に関する調査報告書 .平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 .
- 5) 井上洋士 .HIV 感染者のセクシャルヘルスと STI/HIV 予防行動への支援体制のモデ

- ル開発に関する研究(医療機関内) . 若者等における HIV 感染症の性感染症予防に関する学際的研究班 HIV 感染者グループ . 厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業 . 平成 19 年度総括・分担研究報告書 : 235-272
- 6) 木原雅子 . 地域の若者に対する保健所の予防介入研究 . 若者等における HIV 感染症の性感染症予防に関する学際的研究班 . 厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業 . 平成 19 年度総括・分担研究報告書 : 103-145
 - 7) 池上千寿子、徐淑子、吉田茂美、野坂佑子、生島嗣 . 陽性告知についての調査
 - 8) HIV 検査相談 研修ガイドライン基本編 HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究
 - 9) 井上洋士 . セクシュアルヘルス支援体制のモデル開発と普及に関する研究 HIV 感染症およびその合併症の課題を克服する研究 厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業 . 平成 22 年度総括・分担研究報告書 : 117-128
 - 10) 我部山キヨ子、大石時子編集.助産師のためのフィジカルイクザミネーション. 医学書院 2008
 - 11) Effectiveness of an HIV/AIDS educational programme for chinese nurses williams et al Journal of advanced nursing 53(6), 2006 p710-720
 - 12) HIV interventions to reduce HIV/AIDS stigma:a systematic review Sohini Serengupta et al AIDS Behav (2011) 15:1075-1087
 - 13) -a brief HIV stigma reduction intervention for service providers in china Wu S, et al AIDS patient care STDS 2008;22(6):513-20
 - 14) Effects of group discussion and guided patient care experiences on nurses attitudes towards care of patients with AIDS Jeanne K et al J of advanced nursing 24,296-392 1996
 - 15) nurses willingness to take care of PLWHA does teaching intervention make a difference?Vida Mockiene et al nurse education today 31(2011)617-622
 - 16) Effectiveness of a knowledge-contact program in improving nursing students' attitudes and emotional competence in serving people living with HIV/AIDS Yiu , Jessie Social science & medicine71 (2010) 38 - 44
 - 17) nurses attitudes towards lesbian and gay men Gerd rondahl et al J of advanced nursing 47(4),386-392
 - 18) attitudes toward gay men and lesbians and related factors among nurses in southern taiwan Cheng fan yen et al Public health 2007 121,73-79
 - 19) nursing staff and nursing students attitudes toward HIV-infected and homosexual HIV related patients in sweden and the wish to refrain from nursing Gerd rondahl et al J of advanced nursing 41(5),454-461, 2003
 - 20) HIV intervention for providers study: a randomised controlled trial of a clinician delivered HIV risk reduction intervention for HIV positive people Carol Dawson et al JAIDS vol55, Number5, december 15,201 Attitudes of hererosexuals toward homosexuality: A Likert-Type scale and construct validity KNUD S.Larsen et al, The journal of sex research vol.6, no3, pp245-257 August, 1980

< 研修内容と実施スケジュール >

表1 研修内容

時間		プログラム
1日(例)	半日(例)	
10:30-10:55	13:30-13:40	ご挨拶・はじめに
10:55-11:15	13:40-14:00	昨年度調査結果のご説明・研修について
11:15-13:05	14:00-15:20	講義 : MSMの心理社会的背景と健康課題ー保健師に求められる支援のあり方とはー
		ワーク : MSMに対するあなた自身の意識・考え方について考えてみましょう。
13:05-13:50	15:20-15:30	昼食
13:50-14:00	15:30-15:35	Q&A等
14:00-14:30	なし	講義 : 陽性告知の取り組み: 実際例
14:30-15:15	15:35-16:15	講義 : 陽性告知支援について
15:15-15:25	なし	休憩
15:25-15:40	16:15-16:30	ワーク : 陽性告知に必要なこと・モノは何?
15:40-16:20	16:30-17:10	ワーク : MSM陽性告知のケースで、考えられるケアプラン・支援・必要な支援を作成する。結果の共有
16:20-16:45	17:10-17:30	まとめ ご挨拶

表2 研修実施スケジュール

日程と時間		開催場所と参加人数
2012/10/29	1日	研修リハーサル 模擬参加者 6名参加
2012/11/10	1日	大阪府 大阪府と保健所設置市保健師 28名参加
2012/11/17	1日	兵庫県 兵庫県と保健所設置市保健師 15名参加
2013/1/17	1日	京都府 京都府と保健所設置市保健師 12名参加
2013/2/7	半日	神戸市 神戸市と兵庫県予防医学協会保健師 14名参加
2013/7/5	1日	滋賀県 滋賀県と京都市 保健師9名、関連職種5名 計15名参加
2013/8/29	1日	奈良県 奈良県・奈良市保健師 9名参加
2013/9/6	半日	大阪府 大阪府と保健所設置市保健師 23名参加
2013/9/10	1日	和歌山県 和歌山県と和歌山市 保健師8名、関連職種4名 計12名参加

表3. 属性および業務経験: 研修ありなし別

県	研修あり N = 102		研修なし N = 151		² 検定 両側p値	
	度数	%	度数	%		
大阪(2012)	23	22.5	47	31.1	0.824	
兵庫	13	12.7	18	11.9		
京都	12	11.8	16	10.6		
兵庫(神戸)	12	11.8	19	12.6		
滋賀	8	7.8	7	4.6		
奈良	8	7.8	8	5.3		
大阪(2013)	19	18.6	25	16.6		
和歌山	7	6.9	11	7.3		
無回答	0	0.0	0	0.0		
合計	102	100.0	151	100.0		
年齢	度数	%	度数	%		0.392
20歳～29歳	31	30.4	35	23.2		
30歳～39歳	27	26.5	35	23.2		
40歳～49歳	26	25.5	43	28.5		
50歳～59歳	15	14.7	33	21.9		
60歳以上	1	1.0	0	3.3		
無回答	2	2.0	5	0.0		
合計	102	100.0	151	100.0		
保健師経験年数	度数	%	度数	%	0.575	
0～9年	52	51.0	69	45.7		
10～19年	21	20.6	24	15.9		
20～29年	20	19.6	39	25.8		
30～39年	8	7.8	17	11.3		
無回答	1	1.0	2	1.3		
合計	102	100.0	151	100.0		
性別	度数	%	度数	%	0.479	
女	100	98.0	143	94.7		
男	2	2.0	6	4.0		
その他	0	0.0	0	0.0		
無回答	0	0.0	2	1.3		
合計	102	100.0	151	100.0		
現在の担当業務(複数回答)*	度数	%	度数	%		
母子保健	9	8.8	29	19.2		
精神保健	2	2.0	13	8.6		
難病	21	20.6	40	26.5		
成人保健	18	17.6	25	16.6		
HIV/AIDS	87	85.3	67	44.4		
結核	82	80.4	64	42.4		
その他の感染症	69	67.6	63	41.7		
がん・生活習慣病	18	17.6	25	16.6		
児童相談関係	0	0.0	4	2.6		
高齢者保健関係	9	8.8	15	9.9		
地区担当として、全業務	6	5.9	10	6.6		
その他	1	1.0	22	14.6		
HIV担当経験年数	度数	%	度数	%		
4年以下	60	58.8	44	29.1		
5年以上	24	23.5	20	13.2		
無回答	3	2.9	6	4.0		
非該当	15	14.7	81	53.6		
合計	102	100.0	151	100.0		
HIV研修受講経験(複数回答)*	度数	%	度数	%		
国立保健医療科学院	12	11.8	12	7.9		
エイズ予防財団	39	38.2	36	23.8		
自治体主催	51	50.0	73	48.3		
そのほか	23	22.5	23	23.0		
なし	19	18.6	41	27.2		

表3. 属性および業務経験: 研修ありなし別

	研修あり N = 102		研修なし N = 151		² 検定 両側p値
	度数	%	度数	%	
保健師養成機関の種類					
専門学校・養成所	53	52.0	87	57.6	0.558
4年制大学	42	41.2	58	38.4	
その他	6	5.9	5	3.3	
無回答	1	1.0	1	0.7	
合計	102	100.0	151	100.0	
最終学歴					
専門学校・養成所	45	44.1	62	41.1	0.562
短大	8	7.8	18	11.9	
4年制大学	43	42.2	56	37.1	
大学院	5	4.9	10	6.6	
その他	1	1.0	2	1.3	
無回答	0	0.0	3	2.0	
合計	102	100.0	151	100.0	
保健師養成機関で同性愛や性同一性障害について学んだ経験					
あり	20	19.6	26	17.2	0.346
なし	44	43.1	78	51.7	
覚えていない	38	37.3	45	29.8	
無回答	0	0.0	2	1.3	
合計	102	100.0	151	100.0	
保健師になってから同性愛や性同一性障害について学んだ経験					
あり	58	56.9	88	58.3	0.951
なし	36	35.3	53	35.1	
覚えていない	7	6.9	9	6.0	
無回答	1	1.0	1	0.7	
合計	102	100.0	151	100.0	
保健師養成機関でHIV/AIDSについて学んだ経験					
あり	52	51.0	86	57.0	0.468
なし	24	23.5	34	22.5	
覚えていない	26	25.5	29	19.2	
無回答	0	0.0	2	1.3	
合計	102	100.0	65	100.0	
MSMのHIV検査受検者・相談者対応経験					
あり	54	52.9	58	38.4	0.025
なし	26	25.5	62	41.1	
わからない	21	20.6	27	17.9	
無回答	1	1.0	4	2.6	
合計	102	100.0	65	100.0	
HIV陽性告知に関わった経験(複数回答)*					
あり(MSMだった)	10	9.8	14	14.0	1.000
あり(MSMではなかった)	2	2.0	8	5.3	0.324
あり(性的指向は不明)	6	5.9	9	6.0	1.000
なし	88	86.3	121	80.1	0.239
HIV陽性者支援に関わった経験(複数回答)*					
あり(MSMだった)	8	7.8	12	7.9	1.000
あり(MSMではなかった)	6	5.9	5	3.3	0.359
あり(性的指向は不明)	5	4.9	7	4.6	1.000
なし	83	81.4	125	82.8	0.867

*複数回答の項目は、研修有のn=102、研修なしのn=151に対する各項目の回答割合

表4 担当部署のMSM・HIV対応準備に関する項目

		研修前 N=253		研修直後 N=253		研修1月後 N=253		研修3か月後 N=253		有意確率 対応サンプルMcNemar検定		
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側p値
MSM対応について、担当部署で準備しているものはありますか												
ない	研修あり	22	21.6	19	18.6	10	9.8	12	11.8	あり群内	前・後	0.180
ある(*)	研修あり	74	72.5	42	41.2	51	50.0	83	81.4	あり群内	前・1ヶ月後	0.344
わからない	研修あり	5	4.9	4	3.9	4	3.9	2	2.0	あり群内	後・1ヶ月後	0.012
無回答	研修あり	1	1.0	37	36.3	37	36.3	5	4.9	あり群内	1・3か月後	0.109
ない	研修なし	41	27.2	26	17.2	28	18.5	35	23.2	なし群内	前・後	0.549
ある(*)	研修なし	75	49.7	35	23.2	40	26.5	75	49.7	なし群内	前・1ヶ月後	0.754
わからない	研修なし	32	21.2	23	15.2	18	11.9	27	17.9	なし群内	後・1ヶ月後	0.180
無回答	研修なし	3	2.0	67	44.4	65	43.0	14	9.3	なし群内	1・3か月後	0.774
(1)相談者向け情報パンフレット												
	研修あり	62	83.8	38	90.5	39	76.5	70	84.3	あり群内	前・後	1.000
	研修あり									あり群内	前・1ヶ月後	1.000
	研修あり									あり群内	後・1ヶ月後	0.824
	研修あり									あり群内	1・3か月後	0.238
	研修なし	60	80.0	33	94.3	34	85.0	62	82.7	なし群内	前・後	0.754
	研修なし									なし群内	前・1ヶ月後	0.508
	研修なし									なし群内	後・1ヶ月後	1.000
	研修なし									なし群内	1・3か月後	1.000
(2)相談窓口などのリスト												
	研修あり	39	52.7	17	40.5	27	52.9	54	65.1	あり群内	前・後	0.041
	研修あり									あり群内	前・1ヶ月後	1.000
	研修あり									あり群内	後・1ヶ月後	0.052
	研修あり									あり群内	1・3か月後	0.327
	研修なし	36	48.0	16	45.7	17	42.5	44	58.7	なし群内	前・後	0.727
	研修なし									なし群内	前・1ヶ月後	1.000
	研修なし									なし群内	後・1ヶ月後	1.000
	研修なし									なし群内	1・3か月後	0.022
(3)MSM対応マニュアル												
	研修あり	4	5.4	7	16.7	2	3.9	5	6.0	あり群内	前・後	0.375
	研修あり									あり群内	前・1ヶ月後	0.688
	研修あり									あり群内	後・1ヶ月後	0.180
	研修あり									あり群内	1・3か月後	0.453
	研修なし	9	12.0	4	11.4	3	7.5	11	14.7	なし群内	前・後	1.000
	研修なし									なし群内	前・1ヶ月後	1.000
	研修なし									なし群内	後・1ヶ月後	1.000
	研修なし									なし群内	1・3か月後	1.000
(4)MSM関連の資料や書籍など												
	研修あり	36	48.6	29	69.0	27	52.9	47	56.6	あり群内	前・後	0.039
	研修あり									あり群内	前・1ヶ月後	0.118
	研修あり									あり群内	後・1ヶ月後	1.000
	研修あり									あり群内	1・3か月後	0.078
	研修なし	42	56.0	17	48.6	19	47.5	35	46.7	なし群内	前・後	0.070
	研修なし									なし群内	前・1ヶ月後	0.424
	研修なし									なし群内	後・1ヶ月後	0.754
	研修なし									なし群内	1・3か月後	0.754
(5)その他												
	研修あり	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	あり群内	前・後	不可
	研修あり									あり群内	前・1ヶ月後	不可
	研修あり									あり群内	後・1ヶ月後	不可
	研修あり									あり群内	1・3か月後	不可
	研修なし	2	2.7	0	0.0	0	0.0	4	5.3	なし群内	前・後	1.000
	研修なし									なし群内	前・1ヶ月後	1.000
	研修なし									なし群内	後・1ヶ月後	不可
	研修なし									なし群内	1・3か月後	1.000
HIV陽性告知時の対応について、担当部署で準備しているものはありますか (HIV担当保健師のみ)												
	研修あり	6	5.9	5	4.9	3	2.9	2	2.0	あり群内	前・後	0.727
ある(*)	研修あり	76	74.5	50	49.0	51	50.0	83	81.4	あり群内	前・1ヶ月後	0.375
わからない	研修あり	4	3.9	0	0.0	0	0.0	1	1.0	あり群内	後・1ヶ月後	0.625
無回答	研修あり	16	15.7	47	46.1	48	47.1	16	15.7	あり群内	1・3か月後	1.000
ない	研修なし	0	0.0	3	2.0	3	2.0	3	2.0	なし群内	前・後	1.000
ある(*)	研修なし	64	42.4	32	21.2	39	25.8	62	41.1	なし群内	前・1ヶ月後	1.000
わからない	研修なし	4	2.6	2	1.3	2	1.3	1	0.7	なし群内	後・1ヶ月後	1.000
無回答	研修なし	83	55.0	114	75.5	107	70.9	85	56.3	なし群内	1・3か月後	0.625
(1)相談者向け情報パンフレット												
	研修あり	64	84.2	40	80.0	41	80.4	71	85.5	あり群内	前・後	1.000
	研修あり									あり群内	前・1ヶ月後	0.754
	研修あり									あり群内	後・1ヶ月後	0.774
	研修あり									あり群内	1・3か月後	0.388
	研修なし	57	89.1	29	90.6	30	76.9	55	88.7	なし群内	前・後	1.000
	研修なし									なし群内	前・1ヶ月後	0.727
	研修なし									なし群内	後・1ヶ月後	1.000
	研修なし									なし群内	1・3か月後	0.581
(2)相談窓口などのリスト												
	研修あり	62	81.6	39	78.0	34	66.7	65	78.3	あり群内	前・後	1.000
	研修あり									あり群内	前・1ヶ月後	0.424
	研修あり									あり群内	後・1ヶ月後	0.454
	研修あり									あり群内	1・3か月後	0.143
	研修なし	47	73.4	24	75.0	26	66.7	48	77.4	なし群内	前・後	0.754
	研修なし									なし群内	前・1ヶ月後	1.000
	研修なし									なし群内	後・1ヶ月後	1.000
	研修なし									なし群内	1・3か月後	1.000

表4 担当部署のMSM・HIV対応準備に関する項目

		研修前 N=253		研修直後 N=253		研修1月後 N=253		研修3か月後 N=253		有意確率 対応サンプルMcNemar検定		
		n	%	n	%	n	%	n	%			
(3)陽性告知マニュアル	研修あり	40	52.6	25	50.0	26	51.0	46	55.4	あり 群内	前・後 1.000 前・1ヶ月後 0.791 後・1ヶ月後 1.000 1・3か月後 0.549	
	研修なし	38	59.4	17	53.1	14	35.9	38	61.3	なし 群内	前・後 1.000 前・1ヶ月後 0.289 後・1ヶ月後 0.063 1・3か月後 0.125	
(4)HIV関連の資料や書籍など	研修あり	49	64.5	39	78.0	34	66.7	57	68.7	あり 群内	前・後 0.143 前・1ヶ月後 0.815 後・1ヶ月後 0.388 1・3か月後 0.607	
	研修なし	46	71.9	22	68.8	22	56.4	41	66.1	なし 群内	前・後 0.388 前・1ヶ月後 0.227 後・1ヶ月後 1.000 1・3か月後 0.508	
(5)その他	研修あり	5	6.6	0	0.0	0	0.0	3	3.6	あり 群内	前・後 0.250 前・1ヶ月後 0.250 後・1ヶ月後 不可 1・3か月後 0.500	
	研修なし	7	10.9%	2	6.3%	0	0.0%	4	6.5	なし 群内	前・後 0.250 前・1ヶ月後 0.063 後・1ヶ月後 0.500 1・3か月後 1.000	
あなたの担当部署では、HIV検査で経験した事例の検討会やHIV関連の勉強会を企画・実施することはありますか												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
実施している(*)	研修あり	35	34.3	18	17.6	24	23.5	36	35.3	あり 群内	前・後 1.000 前・1ヶ月後 0.454 後・1ヶ月後 0.302 1・3か月後 1.000	
実施していない	研修なし	58	56.9	35	34.3	36	35.3	54	52.9	なし 群内	前・後 1.000 前・1ヶ月後 0.388 後・1ヶ月後 0.424 1・3か月後 0.388	
わからない		8	7.8	9	8.8	3	2.9	4	3.9			
無回答		1	1.0	40	39.2	39	38.2	8	7.8			
HIV検査受検者やHIV関連の相談対応の中で、パンフレット、チラシなどを利用することはありますか												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
よくする(**)	研修あり	73	71.6	38	37.3	37	36.3	61	59.8	あり 群内	前・後 1.000 前・1ヶ月後 1.000 後・1ヶ月後 1.000 1・3か月後 1.000	
時々する(**)	研修なし	23	22.5	24	23.5	24	23.5	32	31.4	なし 群内	前・後 0.625 前・1ヶ月後 1.000 後・1ヶ月後 1.000 1・3か月後 0.754	
しない		4	3.9	2	2.0	2	2.0	1	1.0			
その他		2	2.0	2	2.0	2	2.0	3	2.9			
無回答		0	0.0	36	35.3	37	36.3	5	4.9			
HIV検査受検者やHIV関連の相談者対応の中で、電話相談やNPOなどその他の相談窓口、ホームページなどの情報提供を行うことはありますか												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
よくする(**)	研修あり	22	21.6	8	7.8	12	11.8	18	17.6	あり 群内	前・後 0.289 前・1ヶ月後 0.022 後・1ヶ月後 0.267 1・3か月後 0.063	
時々する(**)	研修なし	61	59.8	40	39.2	31	30.4	55	53.9	なし 群内	前・後 0.508 前・1ヶ月後 1.000 後・1ヶ月後 0.824 1・3か月後 1.000	
しない		16	15.7	16	15.7	21	20.6	19	18.6			
その他		3	2.9	2	2.0	2	2.0	4	3.9			
無回答		0	0.0	36	35.3	36	35.3	6	5.9			

表4 担当部署のMSM・HIV対応準備に関する項目

		研修前 N=253		研修直後 N=253		研修1月後 N=253		研修3か月後 N=253		有意確率 対応サンプルMcNemar検定		
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側p値
HIV関連業務の上で、病院やNPO、他の保健所などと、連絡や調整などを行うことがありますか												
よくする(**)	研修あり	3	2.9	0	0.0	3	2.9	4	3.9	あり 群内	前・後	0.549
時々する(**)		36	35.3	24	23.5	21	20.6	37	36.3		前・1ヶ月後	0.549
しない		63	61.8	42	41.2	42	41.2	55	53.9		後・1ヶ月後	1.000
無回答		0	0.0	36	35.3	36	35.3	6	5.9		1・3か月後	1.000
よくする(**)	研修なし	9	6.0	2	1.3	0	0.0	9	6.0	なし 群内	前・後	0.004
時々する(**)		22	14.6	20	13.2	15	9.9	27	17.9		前・1ヶ月後	0.774
しない		108	71.5	61	40.4	68	45.0	95	62.9		後・1ヶ月後	0.332
無回答		12	7.9	68	45.0	68	45.0	20	13.2		1・3か月後	1.000
どのような機関と連絡や調整を行いますか（「よくする」「時々する」と答えた方のみ）												
(1)紹介先の病院	研修あり	30	76.9	17	70.8	18	75.0	29	70.7	あり 群内	前・後	0.625
											前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	0.688
											1・3か月後	0.727
(1)紹介先の病院	研修なし	22	71.0	14	63.6	10	66.7	25	69.4	なし 群内	前・後	1.000
											前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	1.000
											1・3か月後	1.000
(2)NPO	研修あり	10	25.6	5	20.8	8	33.3	12	29.3	あり 群内	前・後	1.000
											前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	0.688
											1・3か月後	1.000
(2)NPO	研修なし	9	29.0	6	27.3	3	20.0	8	22.2	なし 群内	前・後	1.000
											前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	0.250
											1・3か月後	1.000
(3)保健所・保健センターなど	研修あり	13	33.3	6	25.0	7	29.2	18	43.9	あり 群内	前・後	0.500
											前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	0.250
											1・3か月後	0.688
(3)保健所・保健センターなど	研修なし	14	45.2	15	68.2	5	33.3	15	41.7	なし 群内	前・後	0.016
											前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	0.125
											1・3か月後	0.688
(4)所属先の別の担当部署	研修あり	3	7.7	3	12.5	2	8.3	10	24.4	あり 群内	前・後	1.000
											前・1ヶ月後	0.500
											後・1ヶ月後	1.000
											1・3か月後	0.625
(4)所属先の別の担当部署	研修なし	4	12.9	4	18.2	1	6.7	6	16.7	なし 群内	前・後	0.250
											前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	0.250
											1・3か月後	0.500

表5 MSM・同性愛に関する知識や考え方

		研修前 N=253		研修直後 N=253		研修1月後 N=253		研修3月後 N=253		有意確率 対応サンプルMcNemar検定		
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
同性愛者になるか異性愛者になるか、 本人の希望によって選択できる												
そう思う	研修あり	59	57.8	47	46.1	44	43.1	46	45.1	あり	前・後	0.000
そう思わない (正しい)		28	27.5	48	47.1	52	51.0	51	50.0	あり	前・1ヶ月後	0.000
わからない		14	13.7	7	6.9	5	4.9	0	0.0	群内	後・1ヶ月後	0.302
無回答		1	1.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9		1・3か月後	0.727
そう思う	研修なし	75	49.7	70	46.4	69	45.7	59	39.1	なし	前・後	0.383
そう思わない (正しい)		55	36.4	61	40.4	58	38.4	64	42.4	なし	前・1ヶ月後	0.584
わからない		18	11.9	19	12.6	20	13.2	13	8.6	群内	後・1ヶ月後	0.845
無回答		3	2.0	1	0.7	4	2.6	15	9.9		1・3か月後	0.035
性同一性障害と同性愛の区別が分らない												
そう思う	研修あり	21	20.6	2	2.0	0	0.0	1	1.0	あり	前・後	0.000
そう思わない (正しい)		75	73.5	98	96.1	101	99.0	94	92.2	あり	前・1ヶ月後	0.000
わからない		6	5.9	2	2.0	0	0.0	2	2.0	群内	後・1ヶ月後	0.125
無回答		0	0.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9		1・3か月後	0.250
そう思う	研修なし	11	7.3	8	5.3	10	6.6	11	7.3	なし	前・後	0.791
そう思わない (正しい)		126	83.4	130	86.1	131	86.8	118	78.1	なし	前・1ヶ月後	0.263
わからない		11	7.3	12	7.9	6	4.0	7	4.6	群内	後・1ヶ月後	0.503
無回答		3	2.0	1	0.7	4	2.6	15	9.9		1・3か月後	0.774
性的指向とは、同性愛なのか、異性愛 なのか、両性愛なのかを表す言葉である												
そう思う (正しい)	研修あり	50	49.0	77	75.5	77	75.5	71	69.6	あり	前・後	0.000
そう思わない		36	35.3	19	18.6	17	16.7	20	19.6	あり	前・1ヶ月後	0.000
わからない		16	15.7	6	5.9	7	6.9	5	4.9	群内	後・1ヶ月後	1.000
無回答		0	0.0	0	0.0	1	1.0	6	5.9		1・3か月後	0.791
そう思う (正しい)	研修なし	59	39.1	63	41.7	69	45.7	63	41.7	なし	前・後	0.678
そう思わない		57	37.7	49	32.5	47	31.1	50	33.1	なし	前・1ヶ月後	0.188
わからない		32	21.2	37	24.5	30	19.9	23	15.2	群内	後・1ヶ月後	0.472
無回答		3	2.0	2	1.3	5	3.3	15	9.9		1・3か月後	0.860
日本における性的マイノリティ (性的 少数者) の人口比は5%前後である												
そう思う (正しい)	研修あり	45	44.1	88	86.3	84	82.4	83	81.4	あり	前・後	0.000
そう思わない		17	16.7	6	5.9	6	5.9	7	6.9	あり	前・1ヶ月後	0.000
わからない		40	39.2	8	7.8	9	8.8	6	5.9	群内	後・1ヶ月後	1.000
無回答		0	0.0	0	0.0	3	2.9	6	5.9		1・3か月後	0.804
そう思う (正しい)	研修なし	42	27.8	53	35.1	59	39.1	56	37.1	なし	前・後	0.041
そう思わない		26	17.2	25	16.6	23	15.2	25	16.6	なし	前・1ヶ月後	0.007
わからない		80	53.0	72	47.7	65	43.0	55	36.4	群内	後・1ヶ月後	0.265
無回答		3	2.0	1	0.7	4	2.6	15	9.9		1・3か月後	1.000
世の中の多くの人は、同性愛に対して 偏見を持っていると思う												
そう思う (正しい)	研修あり	87	85.3	92	90.2	86	84.3	80	78.4	あり	前・後	0.180
そう思わない		5	4.9	4	3.9	4	3.9	2	2.0	あり	前・1ヶ月後	1.000
わからない		10	9.8	6	5.9	11	10.8	15	14.7	群内	後・1ヶ月後	0.070
無回答		0	0.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9		1・3か月後	1.000
そう思う (正しい)	研修なし	117	77.5	110	72.8	115	76.2	101	66.9	なし	前・後	0.093
そう思わない		12	7.9	15	9.9	10	6.6	8	5.3	なし	前・1ヶ月後	1.000
わからない		19	12.6	25	16.6	21	13.9	26	17.2	群内	後・1ヶ月後	0.093
無回答		3	2.0	1	0.7	5	3.3	16	10.6		1・3か月後	0.210

表5 MSM・同性愛に関する知識や考え方

		研修前 N=253	研修直後 N=253	研修1月後 N=253	研修3月後 N=253	有意確率 対応サンブルMcNemar検定					
		n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値	
世の中の多くの人、性同一性障害について偏見を持っていると思う											
そう思う (正しい)	研修あり	67	65.7	67	65.7	65	63.7	62	60.8	前・後	1.000
そう思わない	研修あり	21	20.6	21	20.6	20	19.6	15	14.7	前・1ヶ月後	0.824
わからない	研修あり	13	12.7	14	13.7	16	15.7	20	19.6	後・1ヶ月後	0.791
無回答	研修あり	1	1.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9	1・3か月後	1.000
そう思う (正しい)	研修なし	91	60.3	100	66.2	95	62.9	84	55.6	前・後	0.152
そう思わない	研修なし	26	17.2	23	15.2	21	13.9	26	17.2	前・1ヶ月後	0.486
わからない	研修なし	31	20.5	27	17.9	31	20.5	26	17.2	後・1ヶ月後	0.855
無回答	研修なし	3	2.0	1	0.7	4	2.6	15	9.9	1・3か月後	0.735
自分の担当する相手が同性愛者だとわかったら、抵抗を感じる											
そう思う	研修あり	13	12.7	2	2.0	3	2.9	2	2.0	前・後	0.000
そう思わない (正しい)	研修あり	64	62.7	86	84.3	89	87.3	83	81.4	前・1ヶ月後	0.000
わからない	研修あり	24	23.5	14	13.7	9	8.8	12	11.8	後・1ヶ月後	0.424
無回答	研修あり	1	1.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9	1・3か月後	0.549
そう思う	研修なし	15	9.9	15	9.9	17	11.3	12	7.9	前・後	1.000
そう思わない (正しい)	研修なし	105	69.5	106	70.2	106	70.2	99	65.6	前・1ヶ月後	1.000
わからない	研修なし	28	18.5	29	19.2	24	15.9	24	15.9	後・1ヶ月後	1.000
無回答	研修なし	3	2.0	1	0.7	4	2.6	16	10.6	1・3か月後	0.839
正直な気持ちとして、同性愛のことは理解できない気がする											
そう思う	研修あり	19	18.6	15	14.7	12	11.8	9	8.8	前・後	0.004
そう思わない (正しい)	研修あり	58	56.9	71	69.6	72	70.6	74	72.5	前・1ヶ月後	0.011
わからない	研修あり	25	24.5	16	15.7	17	16.7	14	13.7	後・1ヶ月後	1.000
無回答	研修あり	0	0.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9	1・3か月後	0.118
そう思う	研修なし	28	18.5	21	13.9	24	15.9	24	15.9	前・後	0.860
そう思わない (正しい)	研修なし	90	59.6	94	62.3	90	59.6	76	50.3	前・1ヶ月後	1.000
わからない	研修なし	30	19.9	35	23.2	33	21.9	36	23.8	後・1ヶ月後	0.690
無回答	研修なし	3	2.0	1	0.7	4	2.6	15	9.9	1・3か月後	0.383
正直な気持ちとして、性同一性障害のことは理解できない気がする											
そう思う	研修あり	6	5.9	7	6.9	6	5.9	4	3.9	前・後	0.002
そう思わない (正しい)	研修あり	73	71.6	86	84.3	83	81.4	84	82.4	前・1ヶ月後	0.019
わからない	研修あり	23	22.5	9	8.8	12	11.8	9	8.8	後・1ヶ月後	0.791
無回答	研修あり	0	0.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9	1・3か月後	0.227
そう思う	研修なし	16	10.6	10	6.6	12	7.9	11	7.3	前・後	0.815
そう思わない (正しい)	研修なし	108	71.5	112	74.2	105	69.5	89	58.9	前・1ヶ月後	0.824
わからない	研修なし	24	15.9	28	18.5	30	19.9	36	23.8	後・1ヶ月後	0.541
無回答	研修なし	3	2.0	1	0.7	4	2.6	15	9.9	1・3か月後	0.152

表6 同性愛に関する感じ方 (JIHP)

	研修前		研修直後		研修1月後		研修3月後		有意確率		
	N=253		N=253		N=253		N=253		群内・対応サンプルt検定 群間・差の独立サンプルt検定		
	n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
職場に男性の同性愛者がいても不快ではない											
全くそのとおりだと思う	33	32.4	39	38.2	36	35.3	27	26.5	あ	前・後	0.034
そう思う	50	49.0	52	51.0	58	56.9	54	52.9	り	前・1ヶ月後	0.059
わからない	14	13.7	8	7.8	5	4.9	12	11.8	群	後・1ヶ月後	1.000
そう思わない	4	3.9	3	2.9	3	2.9	2	2.0	内	1・3か月後	0.042
全然そう思わない	1	1.0	0	0.0	0	0.0	1	1.0		前・後	0.014
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	5.9	群	前・1ヶ月後	0.110
全くそのとおりだと思う	43	28.5	33	21.9	33	21.9	33	21.9	間	後・1ヶ月後	0.663
そう思う	68	45.0	79	52.3	84	55.6	68	45.0		1・3か月後	0.189
わからない	27	17.9	24	15.9	16	10.6	24	15.9	なし	前・後	0.192
そう思わない	9	6.0	13	8.6	13	8.6	11	7.3	し	前・1ヶ月後	0.735
全然そう思わない	2	1.3	1	0.7	1	0.7	1	0.7	群	後・1ヶ月後	0.540
無回答	2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.925
同性愛者が参加している社会活動にもよることで参加する											
全くそのとおりだと思う	29	28.4	25	24.5	24	23.5	23	22.5	あ	前・後	0.538
そう思う	36	35.3	44	43.1	47	46.1	42	41.2	り	前・1ヶ月後	0.707
わからない	30	29.4	30	29.4	25	24.5	27	26.5	群	後・1ヶ月後	0.791
そう思わない	6	5.9	3	2.9	6	5.9	5	4.9	内	1・3か月後	0.877
全然そう思わない	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		前・後	0.527
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.696
全くそのとおりだと思う	23	15.2	21	13.9	16	10.6	20	13.2	間	後・1ヶ月後	0.897
そう思う	50	33.1	52	34.4	59	39.1	47	31.1		1・3か月後	0.242
わからない	53	35.1	56	37.1	53	35.1	57	37.7	なし	前・後	0.826
そう思わない	20	13.2	18	11.9	16	10.6	12	7.9	し	前・1ヶ月後	0.853
全然そう思わない	3	2.0	3	2.0	3	2.0	1	0.7	群	後・1ヶ月後	0.916
無回答	2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.113
近所の人が同性愛者だとわかっただけ、いやな気がする											
全くそのとおりだと思う	3	2.9	0	0.0	2	2.0	0	0.0	あ	前・後	0.016
そう思う	2	2.0	0	0.0	1	1.0	1	1.0	り	前・1ヶ月後	0.551
わからない	9	8.8	8	7.8	5	4.9	8	7.8	群	後・1ヶ月後	0.066
そう思わない	64	62.7	63	61.8	73	71.6	63	61.8	内	1・3か月後	0.304
全然そう思わない	23	22.5	29	28.4	20	19.6	25	24.5		前・後	0.013
無回答	1	1.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.701
全くそのとおりだと思う	2	1.3	0	0.0	1	0.7	0	0.0	間	後・1ヶ月後	0.029
そう思う	11	7.3	10	6.6	9	6.0	8	5.3		1・3か月後	0.400
わからない	24	15.9	29	19.2	22	14.6	25	16.6	なし	前・後	0.358
そう思わない	72	47.7	84	55.6	83	55.0	78	51.7	し	前・1ヶ月後	0.847
全然そう思わない	39	25.8	26	17.2	31	20.5	26	17.2	群	後・1ヶ月後	0.253
無回答	3	2.0	2	1.3	5	3.3	14	9.3	内	1・3か月後	1.000
同性が自分に性的な誘惑をしたら、怒りを感じる											
全くそのとおりだと思う	0	0.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0	あ	前・後	0.001
そう思う	10	9.8	6	5.9	6	5.9	5	4.9	り	前・1ヶ月後	0.007
わからない	43	42.2	29	28.4	29	28.4	28	27.5	群	後・1ヶ月後	0.602
そう思わない	43	42.2	54	52.9	54	52.9	53	52.0	内	1・3か月後	0.677
全然そう思わない	6	5.9	13	12.7	12	11.8	11	10.8		前・後	0.016
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.326
全くそのとおりだと思う	2	1.3	1	0.7	1	0.7	1	0.7	間	後・1ヶ月後	0.117
そう思う	21	13.9	18	11.9	17	11.3	16	10.6		1・3か月後	0.668
わからない	63	41.7	63	41.7	55	36.4	50	33.1	なし	前・後	0.580
そう思わない	48	31.8	58	38.4	55	36.4	58	38.4	し	前・1ヶ月後	0.039
全然そう思わない	14	9.3	10	6.6	19	12.6	12	7.9	群	後・1ヶ月後	0.066
無回答	3	2.0	1	0.7	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.891
自分が同性にとって性的魅力があると知っても不快ではない											
全くそのとおりだと思う	9	8.8	9	8.8	10	9.8	11	10.8	あ	前・後	0.355
そう思う	38	37.3	49	48.0	48	47.1	47	46.1	り	前・1ヶ月後	0.452
わからない	43	42.2	32	31.4	30	29.4	34	33.3	群	後・1ヶ月後	0.913
そう思わない	11	10.8	10	9.8	12	11.8	5	4.9	内	1・3か月後	0.212
全然そう思わない	0	0.0	2	2.0	2	2.0	0	0.0		前・後	0.986
無回答	1	1.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.727
全くそのとおりだと思う	17	11.3	13	8.6	18	11.9	12	7.9	間	後・1ヶ月後	0.614
そう思う	53	35.1	62	41.1	63	41.7	63	41.7		1・3か月後	0.452
わからない	54	35.8	56	37.1	43	28.5	45	29.8	なし	前・後	0.231
そう思わない	21	13.9	17	11.3	21	13.9	16	10.6	し	前・1ヶ月後	0.106
全然そう思わない	4	2.6	1	0.7	2	1.3	1	0.7	群	後・1ヶ月後	0.508
無回答	2	1.3	2	1.3	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.783

表6 同性愛に関する感じ方 (JIHP)

	研修前		研修直後		研修1月後		研修3月後		有意確率		
	N=253		N=253		N=253		N=253		群内・対応サンプルt検定 群間・差の独立サンプルt検定		
	n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
ゲイバーにいるところを他の人に見られたらいやな気がする											
全くそのとおりだと思う	6	5.9	2	2.0	1	1.0	0	0.0	あ	前・後	0.075
そう思う	12	11.8	17	16.7	13	12.7	11	10.8	り	前・1ヶ月後	0.031
わからない	24	23.5	14	13.7	15	14.7	17	16.7	群	後・1ヶ月後	0.439
そう思わない	48	47.1	50	49.0	60	58.8	55	53.9	内	1・3か月後	0.682
全然そう思わない	12	11.8	17	16.7	13	12.7	14	13.7		前・後	0.807
無回答	0	0.0	2	2.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.326
全くそのとおりだと思う	6	4.0	3	2.0	3	2.0	1	0.7	間	後・1ヶ月後	0.422
そう思う	29	19.2	25	16.6	27	17.9	28	18.5		1・3か月後	0.955
わからない	43	28.5	38	25.2	40	26.5	36	23.8	なし	前・後	0.068
そう思わない	48	31.8	65	43.0	55	36.4	50	33.1	なし	前・1ヶ月後	0.166
全然そう思わない	22	14.6	18	11.9	22	14.6	22	14.6	群	後・1ヶ月後	0.819
無回答	3	2.0	2	1.3	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.589
同性に誘惑されても不快ではない											
全くそのとおりだと思う	4	3.9	6	5.9	5	4.9	6	5.9	あ	前・後	0.001
そう思う	13	12.7	31	30.4	25	24.5	32	31.4	り	前・1ヶ月後	0.001
わからない	50	49.0	38	37.3	54	52.9	44	43.1	群	後・1ヶ月後	0.744
そう思わない	33	32.4	24	23.5	17	16.7	14	13.7	内	1・3か月後	0.117
全然そう思わない	2	2.0	3	2.9	1	1.0	1	1.0		前・後	0.443
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.279
全くそのとおりだと思う	7	4.6	6	4.0	11	7.3	7	4.6	間	後・1ヶ月後	0.618
そう思う	26	17.2	44	29.1	29	19.2	41	27.2		1・3か月後	0.687
わからない	71	47.0	58	38.4	68	45.0	53	35.1	なし	前・後	0.002
そう思わない	32	21.2	39	25.8	36	23.8	34	22.5	なし	前・1ヶ月後	0.005
全然そう思わない	13	8.6	2	1.3	3	2.0	1	0.7	群	後・1ヶ月後	0.702
無回答	2	1.3	2	1.3	4	2.6	15	9.9	内	1・3か月後	0.253
自分が同性の人に性的に魅かれていることに気付いても不快ではない											
全くそのとおりだと思う	6	5.9	9	8.8	7	6.9	8	7.8	あ	前・後	0.002
そう思う	18	17.6	36	35.3	41	40.2	36	35.3	り	前・1ヶ月後	0.005
わからない	58	56.9	44	43.1	38	37.3	36	35.3	群	後・1ヶ月後	0.731
そう思わない	19	18.6	13	12.7	15	14.7	17	16.7	内	1・3か月後	0.724
全然そう思わない	1	1.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0		前・後	0.203
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.431
全くそのとおりだと思う	11	7.3	7	4.6	9	6.0	11	7.3	間	後・1ヶ月後	0.786
そう思う	32	21.2	50	33.1	45	29.8	36	23.8		1・3か月後	0.937
わからない	66	43.7	62	41.1	60	39.7	59	39.1	なし	前・後	0.007
そう思わない	31	20.5	29	19.2	31	20.5	30	19.9	なし	前・1ヶ月後	0.018
全然そう思わない	9	6.0	2	1.3	1	0.7	1	0.7	群	後・1ヶ月後	1.000
無回答	2	1.3	1	0.7	5	3.3	14	9.3	内	1・3か月後	0.754
自分の子どもが同性愛者だとわかったら、がっかりする											
全くそのとおりだと思う	6	5.9	2	2.0	4	3.9	2	2.0	あ	前・後	0.000
そう思う	35	34.3	27	26.5	24	23.5	27	26.5	り	前・1ヶ月後	0.000
わからない	48	47.1	39	38.2	48	47.1	34	33.3	群	後・1ヶ月後	0.218
そう思わない	9	8.8	29	28.4	21	20.6	30	29.4	内	1・3か月後	0.339
全然そう思わない	4	3.9	5	4.9	5	4.9	4	3.9		前・後	0.007
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.362
全くそのとおりだと思う	12	7.9	7	4.6	4	2.6	5	3.3	間	後・1ヶ月後	0.108
そう思う	45	29.8	43	28.5	42	27.8	34	22.5		1・3か月後	0.928
わからない	59	39.1	62	41.1	63	41.7	62	41.1	なし	前・後	0.029
そう思わない	28	18.5	33	21.9	30	19.9	28	18.5	なし	前・1ヶ月後	0.006
全然そう思わない	5	3.3	5	3.3	8	5.3	8	5.3	群	後・1ヶ月後	0.288
無回答	2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.186
同性愛者のグループの中ではおちつかない											
全くそのとおりだと思う	2	2.0	1	1.0	1	1.0	0	0.0	あ	前・後	0.017
そう思う	28	27.5	19	18.6	16	15.7	12	11.8	り	前・1ヶ月後	0.000
わからない	36	35.3	34	33.3	29	28.4	33	32.4	群	後・1ヶ月後	0.170
そう思わない	28	27.5	37	36.3	44	43.1	41	40.2	内	1・3か月後	0.582
全然そう思わない	8	7.8	11	10.8	12	11.8	11	10.8		前・後	0.067
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.036
全くそのとおりだと思う	7	4.6	2	1.3	6	4.0	2	1.3	間	後・1ヶ月後	0.792
そう思う	36	23.8	40	26.5	30	19.9	29	19.2		1・3か月後	0.864
わからない	61	40.4	61	40.4	60	39.7	56	37.1	なし	前・後	0.565
そう思わない	35	23.2	39	25.8	35	23.2	39	25.8	なし	前・1ヶ月後	0.064
全然そう思わない	10	6.6	8	5.3	16	10.6	11	7.3	群	後・1ヶ月後	0.214
無回答	2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.390

表6 同性愛に関する感じ方 (JIHP)

	研修前		研修直後		研修1月後		研修3月後		有意確率		
	N=253		N=253		N=253		N=253		群内・対応サンプルt検定 群間・差の独立サンプルt検定		
	n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
自分の親が同性愛者だとわかってても不快ではない											
全くそのとおりだと思う	3	2.9	2	2.0	4	3.9	3	2.9	あ	前・後	0.091
そう思う	16	15.7	21	20.6	14	13.7	23	22.5	り	前・1ヶ月後	0.066
わからない	37	36.3	39	38.2	46	45.1	32	31.4	群	後・1ヶ月後	1.000
そう思わない	33	32.4	34	33.3	35	34.3	32	31.4	内	1・3か月後	1.000
全然そう思わない	13	12.7	5	4.9	3	2.9	7	6.9		前・後	0.258
無回答	0	0.0	1	1.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.563
全くそのとおりだと思う	6	4.0	4	2.6	7	4.6	5	3.3	間	後・1ヶ月後	0.290
そう思う	15	9.9	18	11.9	18	11.9	17	11.3		1・3か月後	0.893
わからない	61	40.4	60	39.7	60	39.7	58	38.4	なし	前・後	0.613
そう思わない	48	31.8	55	36.4	50	33.1	49	32.5	し	前・1ヶ月後	0.084
全然そう思わない	19	12.6	13	8.6	11	7.3	8	5.3	群	後・1ヶ月後	0.079
無回答	2	1.3	1	0.7	5	3.3	14	9.3	内	1・3か月後	0.783
兄弟や姉妹が同性愛者だとわかっただけショックだ											
全くそのとおりだと思う	4	3.9	2	2.0	4	3.9	2	2.0	あ	前・後	0.150
そう思う	28	27.5	28	27.5	23	22.5	26	25.5	り	前・1ヶ月後	0.066
わからない	36	35.3	27	26.5	30	29.4	22	21.6	群	後・1ヶ月後	0.675
そう思わない	28	27.5	40	39.2	36	35.3	38	37.3	内	1・3か月後	0.724
全然そう思わない	5	4.9	4	3.9	7	6.9	7	6.9		前・後	0.753
無回答	1	1.0	1	1.0	0	0.0	7	6.9	群	前・1ヶ月後	0.538
全くそのとおりだと思う	12	7.9	8	5.3	3	2.0	5	3.3	間	後・1ヶ月後	0.376
そう思う	44	29.1	38	25.2	42	27.8	34	22.5		1・3か月後	0.935
わからない	43	28.5	50	33.1	39	25.8	38	25.2	なし	前・後	0.166
そう思わない	38	25.2	47	31.1	50	33.1	49	32.5	し	前・1ヶ月後	0.004
全然そう思わない	11	7.3	7	4.6	13	8.6	11	7.3	群	後・1ヶ月後	0.044
無回答	3	2.0	1	0.7	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.781
子どもがゲイだと分かっただけショックだ											
全くそのとおりだと思う	0	0.0	1	1.0	2	2.0	0	0.0	あ	前・後	0.327
そう思う	5	4.9	4	3.9	2	2.0	5	4.9	り	前・1ヶ月後	0.415
わからない	18	17.6	12	11.8	26	25.5	19	18.6	群	後・1ヶ月後	0.050
そう思わない	61	59.8	64	62.7	53	52.0	58	56.9	内	1・3か月後	0.657
全然そう思わない	18	17.6	21	20.6	19	18.6	15	14.7		前・後	0.218
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.603
全くそのとおりだと思う	4	2.6	2	1.3	1	0.7	2	1.3	間	後・1ヶ月後	0.054
そう思う	5	3.3	5	3.3	8	5.3	4	2.6		1・3か月後	0.487
わからない	37	24.5	42	27.8	38	25.2	40	26.5	なし	前・後	0.455
そう思わない	71	47.0	76	50.3	69	45.7	69	45.7	し	前・1ヶ月後	0.836
全然そう思わない	32	21.2	25	16.6	31	20.5	22	14.6	群	後・1ヶ月後	0.560
無回答	2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.576
男性二人が人前で手をつないでいるのを見た時、気持ちが悪い											
全くそのとおりだと思う	2	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	あ	前・後	0.002
そう思う	17	16.7	10	9.8	9	8.8	8	7.8	り	前・1ヶ月後	0.001
わからない	21	20.6	12	11.8	14	13.7	15	14.7	群	後・1ヶ月後	0.747
そう思わない	47	46.1	68	66.7	61	59.8	58	56.9	内	1・3か月後	0.870
全然そう思わない	15	14.7	12	11.8	16	15.7	16	15.7		前・後	0.085
無回答	0	0.0	0	0.0	2	2.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.409
全くそのとおりだと思う	6	4.0	4	2.6	2	1.3	4	2.6	間	後・1ヶ月後	0.231
そう思う	39	25.8	37	24.5	26	17.2	27	17.9		1・3か月後	0.619
わからない	22	14.6	20	13.2	29	19.2	23	15.2	なし	前・後	0.107
そう思わない	63	41.7	70	46.4	70	46.4	67	44.4	し	前・1ヶ月後	0.003
全然そう思わない	18	11.9	19	12.6	20	13.2	15	9.9	群	後・1ヶ月後	0.039
無回答	3	2.0	1	0.7	4	2.6	15	9.9	内	1・3か月後	0.329
同性の人が言い寄ってきたら、気分を害す											
全くそのとおりだと思う	0	0.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0	あ	前・後	0.012
そう思う	13	12.7	13	12.7	7	6.9	9	8.8	り	前・1ヶ月後	0.001
わからない	48	47.1	29	28.4	31	30.4	26	25.5	群	後・1ヶ月後	0.558
そう思わない	34	33.3	47	46.1	55	53.9	51	50.0	内	1・3か月後	0.664
全然そう思わない	7	6.9	12	11.8	8	7.8	11	10.8		前・後	0.281
無回答	0	0.0	1	1.0	0	0.0	5	4.9	群	前・1ヶ月後	0.164
全くそのとおりだと思う	1	0.7	2	1.3	0	0.0	1	0.7	間	後・1ヶ月後	0.845
そう思う	30	19.9	26	17.2	26	17.2	26	17.2		1・3か月後	0.465
わからない	54	35.8	44	29.1	50	33.1	41	27.2	なし	前・後	0.059
そう思わない	53	35.1	66	43.7	53	35.1	59	39.1	し	前・1ヶ月後	0.055
全然そう思わない	11	7.3	12	7.9	18	11.9	10	6.6	群	後・1ヶ月後	0.759
無回答	2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.537

表6 同性愛に関する感じ方 (JIHP)

		研修前		研修直後		研修1月後		研修3月後		有意確率		
		N=253		N=253		N=253		N=253		群内・対応サンプルt検定 群間・差の独立サンプルt検定		
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
娘の先生がレズビアンだとわかってても不快ではない												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
		8	7.8	15	14.7	15	14.7	7	6.9	あ	前・後	0.029
		46	45.1	50	49.0	58	56.9	56	54.9	り	前・1ヶ月後	0.003
	研修あり	27	26.5	21	20.6	19	18.6	17	16.7	群内	後・1ヶ月後	0.188
		19	18.6	15	14.7	8	7.8	13	12.7	内	1・3か月後	0.022
		2	2.0	1	1.0	2	2.0	4	3.9		前・後	0.066
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群間	前・1ヶ月後	0.007
		17	11.3	11	7.3	13	8.6	11	7.3		後・1ヶ月後	0.218
		48	31.8	53	35.1	48	31.8	57	37.7		1・3か月後	0.008
	研修なし	42	27.8	50	33.1	48	31.8	41	27.2	なし	前・後	0.874
		39	25.8	33	21.9	33	21.9	25	16.6	なし	前・1ヶ月後	0.618
		3	2.0	3	2.0	5	3.3	3	2.0	群内	後・1ヶ月後	0.693
	無回答	2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.156
自分の配偶者、パートナーが同性に性的に魅かれるとわかったら嫌な気がする												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
		13	12.7	7	6.9	5	4.9	7	6.9	あ	前・後	0.034
		46	45.1	43	42.2	43	42.2	35	34.3	り	前・1ヶ月後	0.002
	研修あり	26	25.5	30	29.4	26	25.5	29	28.4	群内	後・1ヶ月後	0.266
		12	11.8	17	16.7	23	22.5	19	18.6	内	1・3か月後	0.908
		5	4.9	5	4.9	5	4.9	6	5.9		前・後	0.567
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	5.9	群間	前・1ヶ月後	0.374
		18	11.9	13	8.6	12	7.9	9	6.0		後・1ヶ月後	0.691
		72	47.7	63	41.7	65	43.0	47	31.1		1・3か月後	0.306
	研修なし	31	20.5	41	27.2	35	23.2	45	29.8	なし	前・後	0.089
		20	13.2	27	17.9	24	15.9	29	19.2	なし	前・1ヶ月後	0.072
		8	5.3	5	3.3	10	6.6	7	4.6	群内	後・1ヶ月後	0.571
	無回答	2	1.3	2	1.3	5	3.3	14	9.3	内	1・3か月後	0.152
パーティーなどで、同性愛者と気兼ねなく話せる												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
		20	19.6	20	19.6	25	24.5	18	17.6	あ	前・後	0.858
		66	64.7	69	67.6	60	58.8	65	63.7	り	前・1ヶ月後	0.877
	研修あり	16	15.7	11	10.8	14	13.7	14	13.7	群内	後・1ヶ月後	1.000
		0	0.0	2	2.0	3	2.9	0	0.0	内	1・3か月後	0.734
		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		前・後	0.396
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群間	前・1ヶ月後	0.658
		33	21.9	28	18.5	24	15.9	27	17.9		後・1ヶ月後	0.868
		74	49.0	82	54.3	86	57.0	71	47.0		1・3か月後	0.617
	研修なし	39	25.8	34	22.5	33	21.9	36	23.8	なし	前・後	0.278
		1	0.7	6	4.0	3	2.0	2	1.3	なし	前・1ヶ月後	0.619
		1	0.7	0	0.0	0	0.0	1	0.7	群内	後・1ヶ月後	0.790
	無回答	3	2.0	1	0.7	5	3.3	14	9.3	内	1・3か月後	0.702
上司が同性愛者だと分かったら嫌な気がする												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
		1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	あ	前・後	0.005
		7	6.9	1	1.0	3	2.9	1	1.0	り	前・1ヶ月後	0.083
	研修あり	11	10.8	9	8.8	10	9.8	8	7.8	群内	後・1ヶ月後	0.158
		64	62.7	67	65.7	64	62.7	68	66.7	内	1・3か月後	0.741
		19	18.6	25	24.5	23	22.5	20	19.6		前・後	0.058
	無回答	0	0.0	0	0.0	2	2.0	5	4.9	群間	前・1ヶ月後	0.366
		2	1.3	1	0.7	0	0.0	1	0.7		後・1ヶ月後	0.267
		16	10.6	14	9.3	14	9.3	10	6.6		1・3か月後	0.800
	研修なし	34	22.5	28	18.5	29	19.2	35	23.2	なし	前・後	0.475
		65	43.0	80	53.0	76	50.3	66	43.7	なし	前・1ヶ月後	0.396
		32	21.2	26	17.2	28	18.5	25	16.6	群内	後・1ヶ月後	0.895
	無回答	2	1.3	2	1.3	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	1.000
ゲイが多い町や場所を歩くこともかまわない												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
		22	21.6	21	20.6	27	26.5	20	19.6	あ	前・後	0.013
		47	46.1	56	54.9	55	53.9	57	55.9	り	前・1ヶ月後	0.000
	研修あり	13	12.7	21	20.6	15	14.7	15	14.7	群内	後・1ヶ月後	0.139
		20	19.6	3	2.9	5	4.9	5	4.9	内	1・3か月後	0.208
		0	0.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0		前・後	0.164
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群間	前・1ヶ月後	0.002
		33	21.9	33	21.9	23	15.2	22	14.6		後・1ヶ月後	0.053
		66	43.7	65	43.0	76	50.3	68	45.0		1・3か月後	0.406
	研修なし	19	12.6	32	21.2	28	18.5	29	19.2	なし	前・後	0.309
		29	19.2	19	12.6	17	11.3	15	9.9	なし	前・1ヶ月後	0.853
		2	1.3	1	0.7	3	2.0	3	2.0	群内	後・1ヶ月後	0.202
	無回答	2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	内	1・3か月後	0.925

表6 同性愛に関する感じ方 (JIHP)

		研修前		研修直後		研修1月後		研修3月後		有意確率 群内: 対応サンプルt検定 群間: 差の独立サンプルt検定		
		N=253		N=253		N=253		N=253				
⑳ 自分の主治医が同性愛者だとわかったら動揺する												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側p値
		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	あり	前・後	0.001
		6	5.9	2	2.0	2	2.0	3	2.9	あり	前・1ヶ月後	0.007
		19	18.6	11	10.8	10	9.8	6	5.9	群内	後・1ヶ月後	0.614
		56	54.9	63	61.8	68	66.7	67	65.7	群内	1・3か月後	0.874
		21	20.6	26	25.5	22	21.6	20	19.6	群間	前・後	0.019
		0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	5.9	群間	前・1ヶ月後	0.090
		2	1.3	1	0.7	0	0.0	0	0.0	群間	後・1ヶ月後	0.399
		21	13.9	18	11.9	14	9.3	9	6.0	群間	1・3か月後	0.346
		19	12.6	28	18.5	26	17.2	30	19.9	なし	前・後	0.766
		74	49.0	73	48.3	81	53.6	70	46.4	なし	前・1ヶ月後	0.740
		33	21.9	30	19.9	26	17.2	28	18.5	群内	後・1ヶ月後	0.469
		2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	群内	1・3か月後	0.090
㉑ 同性の親友が同性愛者だとわかっても不快ではない												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側p値
		16	15.7	20	19.6	17	16.7	17	16.7	あり	前・後	0.101
		53	52.0	59	57.8	64	62.7	63	61.8	あり	前・1ヶ月後	0.086
		23	22.5	14	13.7	14	13.7	12	11.8	群内	後・1ヶ月後	0.922
		7	6.9	8	7.8	6	5.9	4	3.9	群内	1・3か月後	0.708
		3	2.9	1	1.0	1	1.0	1	1.0	群間	前・後	0.104
		0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群間	前・1ヶ月後	0.030
		37	24.5	29	19.2	23	15.2	24	15.9	群間	後・1ヶ月後	0.523
		57	37.7	68	45.0	72	47.7	68	45.0	群間	1・3か月後	0.725
		34	22.5	32	21.2	31	20.5	29	19.2	なし	前・後	0.634
		19	12.6	20	13.2	18	11.9	13	8.6	なし	前・1ヶ月後	0.198
		2	1.3	1	0.7	3	2.0	3	2.0	群内	後・1ヶ月後	0.359
		2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	群内	1・3か月後	0.410
㉒ 同性の人から言い寄られたらいい気分がする												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側p値
		2	2.0	0	0.0	0	0.0	1	1.0	あり	前・後	1.000
		4	3.9	10	9.8	9	8.8	3	2.9	あり	前・1ヶ月後	0.028
		41	40.2	36	35.3	54	52.9	38	37.3	群内	後・1ヶ月後	0.004
		49	48.0	49	48.0	35	34.3	47	46.1	群内	1・3か月後	0.001
		6	5.9	7	6.9	4	3.9	6	5.9	群間	前・後	0.065
		0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	6.9	群間	前・1ヶ月後	0.830
		1	0.7	2	1.3	3	2.0	4	2.6	群間	後・1ヶ月後	0.037
		5	3.3	7	4.6	8	5.3	2	1.3	群間	1・3か月後	0.024
		57	37.7	66	43.7	63	41.7	63	41.7	なし	前・後	0.002
		71	47.0	69	45.7	64	42.4	59	39.1	なし	前・1ヶ月後	0.009
		15	9.9	6	4.0	9	6.0	8	5.3	群内	後・1ヶ月後	1.000
		2	1.3	1	0.7	4	2.6	15	9.9	群内	1・3か月後	0.914
㉓ 息子の男性の先生が同性愛者だと知ったら、いやな気がする												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側p値
		2	2.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0	あり	前・後	0.000
		14	13.7	12	11.8	6	5.9	9	8.8	あり	前・1ヶ月後	0.002
		33	32.4	22	21.6	29	28.4	19	18.6	群内	後・1ヶ月後	0.882
		42	41.2	49	48.0	50	49.0	57	55.9	群内	1・3か月後	0.870
		11	10.8	19	18.6	16	15.7	12	11.8	群間	前・後	0.042
		0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群間	前・1ヶ月後	0.170
		4	2.6	3	2.0	3	2.0	4	2.6	群間	後・1ヶ月後	0.735
		37	24.5	28	18.5	23	15.2	20	13.2	群間	1・3か月後	0.480
		44	29.1	49	32.5	54	35.8	43	28.5	なし	前・後	0.075
		51	33.8	58	38.4	53	35.1	52	34.4	なし	前・1ヶ月後	0.080
		13	8.6	12	7.9	14	9.3	18	11.9	群内	後・1ヶ月後	0.727
		2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	群内	1・3か月後	0.227
㉔ 職場に女性の同性愛者がいても不快ではない												
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側p値
		23	22.5	30	29.4	30	29.4	22	21.6	あり	前・後	0.090
		60	58.8	60	58.8	61	59.8	65	63.7	あり	前・1ヶ月後	0.087
		15	14.7	8	7.8	7	6.9	9	8.8	群内	後・1ヶ月後	0.897
		3	2.9	3	2.9	3	2.9	1	1.0	群内	1・3か月後	0.508
		1	1.0	1	1.0	1	1.0	0	0.0	群間	前・後	0.036
		0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群間	前・1ヶ月後	0.130
		40	26.5	28	18.5	32	21.2	29	19.2	群間	後・1ヶ月後	0.615
		76	50.3	91	60.3	88	58.3	74	49.0	群間	1・3か月後	0.809
		24	15.9	22	14.6	19	12.6	26	17.2	なし	前・後	0.273
		7	4.6	8	5.3	7	4.6	7	4.6	なし	前・1ヶ月後	0.910
		2	1.3	1	0.7	1	0.7	1	0.7	群内	後・1ヶ月後	0.295
		2	1.3	1	0.7	4	2.6	14	9.3	群内	1・3か月後	0.171
同性愛の感じ方 (JIHP) 総得点												
		平均点		平均点		平均点		平均点		研修	比較	両側p値
		38.96		34.44		33.7		34.42		あり	前・後	0.000
										あり	前・1ヶ月後	0.000
										群内	後・1ヶ月後	0.589
										群内	1・3か月後	0.816
										群間	前・後	0.000
										群間	前・1ヶ月後	0.009
										群間	後・1ヶ月後	0.768
										群間	1・3か月後	0.417
		41.61		39.94		39.61		39.24		なし	前・後	0.013
										なし	前・1ヶ月後	0.003
										群内	後・1ヶ月後	0.201
										群内	1・3か月後	0.319

表7 MSM対応に関する項目

	研修前		研修直後		研修1月後		研修3月後		有意確率			
	N=253		N=253		N=253		N=253					
あなたの家族や親戚、友達、職場の同僚など身近な人の中にMSMはいますか												
	研	n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
いる (*)		5	4.9	10	9.8	9	8.8	7	6.9	あり	前・後	0.031
いない	修	28	27.5	23	22.5	12	11.8	17	16.7	群内	前・1ヶ月後	0.289
わからない	あ	63	61.8	60	58.8	70	68.6	63	61.8	群内	後・1ヶ月後	1.000
無回答	り	6	5.9	9	8.8	11	10.8	15	14.7	群内	1・3月後	1.000
いる (*)	研	8	5.3	10	6.6	11	7.3	9	6.0	なし	前・後	0.500
いない	修	50	33.1	36	23.8	31	20.5	22	14.6	群内	前・1ヶ月後	0.500
わからない	な	81	53.6	88	58.3	83	55.0	86	57.0	群内	後・1ヶ月後	1.000
無回答	し	12	7.9	17	11.3	26	17.2	34	22.5	群内	1・3月後	1.000
あなたの家族や親戚、友達、職場の同僚など身近な人の中にMSMがいると思いますか												
	研	n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
必ずいる		5	4.9	14	13.7	20	19.6	15	14.7	あり	前・後	0.000
多分いる	研	54	52.9	60	58.8	53	52.0	56	54.9	群内	前・1ヶ月後	0.000
多分いない	修	42	41.2	28	27.5	27	26.5	26	25.5	群内	後・1ヶ月後	0.387
絶対にいない	あ	1	1.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0	群内	1・3月後	0.854
無回答	り	0	0.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9	群内	前・後	0.022
必ずいる		8	5.3	13	8.6	19	12.6	18	11.9	群間	前・1ヶ月後	0.079
多分いる	研	69	45.7	72	47.7	65	43.0	58	38.4	群間	後・1ヶ月後	0.982
多分いない	修	70	46.4	64	42.4	61	40.4	54	35.8	群間	1・3月後	0.884
絶対にいない	な	1	0.7	0	0.0	1	0.7	3	2.0	なし	前・後	0.008
無回答	し	3	2.0	2	1.3	5	3.3	18	11.9	群内	前・1ヶ月後	0.005
										群内	後・1ヶ月後	0.264
										群内	1・3月後	1.000
あなたは、HIV検査や相談の中で、MSMの性行為、性的な話題になったとき、抵抗感がありますか												
	研	n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
全くない		14	13.7	23	22.5	21	20.6	18	17.6	あり	前・後	0.000
ほとんどない	研	47	46.1	47	46.1	54	52.9	52	51.0	群内	前・1ヶ月後	0.001
まあまあある	修	37	36.3	29	28.4	25	24.5	27	26.5	群内	後・1ヶ月後	1.000
とてもある	あ	4	3.9	1	1.0	1	1.0	0	0.0	群内	1・3月後	0.708
無回答	り	0	0.0	2	2.0	1	1.0	5	4.9	群内	前・後	0.035
全くない		25	16.6	24	15.9	23	15.2	25	16.6	群間	前・1ヶ月後	0.056
ほとんどない	研	65	43.0	72	47.7	74	49.0	61	40.4	群間	後・1ヶ月後	1.000
まあまあある	修	52	34.4	49	32.5	47	31.1	44	29.1	群間	1・3月後	0.551
とてもある	な	6	4.0	2	1.3	2	1.3	2	1.3	なし	前・後	0.105
無回答	し	3	2.0	4	2.6	5	3.3	19	12.6	群内	前・1ヶ月後	0.116
										群内	後・1ヶ月後	1.000
										群内	1・3月後	0.633
あなたは、HIV検査や相談の中で、面談者の性的指向がわかりにくいとき、抵抗感を感じますか												
	研	n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
全くない		15	14.7	13	12.7	18	17.6	16	15.7	あり	前・後	0.530
ほとんどない	研	51	50.0	57	55.9	56	54.9	51	50.0	群内	前・1ヶ月後	0.196
まあまあある	修	29	28.4	31	30.4	26	25.5	29	28.4	群内	後・1ヶ月後	0.306
とてもある	あ	3	2.9	0	0.0	1	1.0	0	0.0	群内	1・3月後	0.734
無回答	り	4	3.9	1	1.0	1	1.0	6	5.9	群内	前・後	0.202
全くない		29	19.2	21	13.9	31	20.5	26	17.2	群間	前・1ヶ月後	0.842
ほとんどない	研	72	47.7	83	55.0	78	51.7	75	49.7	群間	後・1ヶ月後	0.474
まあまあある	修	41	27.2	39	25.8	30	19.9	26	17.2	群間	1・3月後	0.601
とてもある	な	2	1.3	3	2.0	3	2.0	0	0.0	なし	前・後	0.207
無回答	し	7	4.6	5	3.3	9	6.0	24	15.9	群内	前・1ヶ月後	0.235
										群内	後・1ヶ月後	0.018
										群内	1・3月後	0.682
自分とことなる性的指向をもっている受検者（相談者）への対応を通じて、自身の性に対する価値観や考え方について、振り返って考える機会がありますか												
	研	n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
よくある		6	5.9	7	6.9	10	9.8	9	8.8	あり	前・後	0.051
時々ある	研	47	46.1	55	53.9	52	51.0	50	49.0	群内	前・1ヶ月後	0.043
あまりない	修	39	38.2	32	31.4	31	30.4	29	28.4	群内	後・1ヶ月後	0.754
ない	あ	10	9.8	8	7.8	9	8.8	7	6.9	群内	1・3月後	0.880
無回答	り	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	6.9	群内	前・後	0.147
よくある		13	8.6	6	4.0	8	5.3	10	6.6	群間	前・1ヶ月後	0.221
時々ある	研	45	29.8	61	40.4	58	38.4	45	29.8	群間	後・1ヶ月後	0.920
あまりない	修	63	41.7	53	35.1	54	35.8	58	38.4	群間	1・3月後	0.888
ない	な	24	15.9	27	17.9	23	15.2	18	11.9	なし	前・後	1.000
無回答	し	6	4.0	4	2.6	8	5.3	20	13.2	群内	前・1ヶ月後	0.619
										群内	後・1ヶ月後	0.607
										群内	1・3月後	0.698
MSMと思われる、またはMSMの受検者（相談者）への対応に、自信はありますか												
	研	n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
とてもある		0	0.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0	あり	前・後	0.000
ある	研	12	11.8	21	20.6	23	22.5	22	21.6	群内	前・1ヶ月後	0.000
あまりない	修	60	58.8	70	68.6	70	68.6	68	66.7	群内	後・1ヶ月後	0.109
ない	あ	29	28.4	11	10.8	8	7.8	7	6.9	群内	1・3月後	1.000
無回答	り	1	1.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	群内	前・後	0.001
とてもある		2	1.3	3	2.0	2	1.3	2	1.3	群間	前・1ヶ月後	0.000
ある	研	22	14.6	23	15.2	26	17.2	26	17.2	群間	後・1ヶ月後	0.139
あまりない	修	86	57.0	88	58.3	81	53.6	74	49.0	群間	1・3月後	0.765
ない	な	40	26.5	36	23.8	38	25.2	33	21.9	なし	前・後	0.195
無回答	し	1	0.7	1	0.7	4	2.6	16	10.6	群内	前・1ヶ月後	0.386
										群内	後・1ヶ月後	0.614
										群内	1・3月後	0.671

表7 MSM対応に関する項目

		研修前		研修直後		研修1月後		研修3月後		有意確率 対応サンプルMcNemar検定 群内:対応サンプルt検定 群間:差の独立サンプルt検定	比較	両側の値
		N=253	N=253	N=253	N=253	N=253	N=253					
MSMの現状を知るためにあなたご自身がしていることはありますか		n	%	n	%	n	%	n	%	研修		
していない	研修	34	33.3	15	14.7	16	15.7	16	15.7	あり	前・後	0.000
している(*)	研修	67	65.7	86	84.3	85	83.3	79	77.5	あり	前・1ヶ月後	0.000
無回答	あり	1	1.0	1	1.0	1	1.0	7	6.9	群内	後・1ヶ月後	1.000
											1・3月後	1.000
していない	研修	83	55.0	76	50.3	80	53.0	71	47.0	なし	前・後	0.092
している(*)	研修	65	43.0	72	47.7	68	45.0	62	41.0	なし	前・1ヶ月後	0.664
無回答	なし	3	2.0	3	2.0	3	2.0	18	11.9	群内	後・1ヶ月後	0.302
											1・3月後	0.508
MSMのブログ・手記を見る	研修	18	26.9	34	39.5	33	38.8	28	35.4	あり	前・後	0.000
	あり									群内	前・1ヶ月後	0.003
											後・1ヶ月後	1.000
											1・3月後	1.000
	研修	14	21.5	16	22.2	18	26.5	21	33.9	なし	前・後	0.688
	なし									群内	前・1ヶ月後	0.424
											後・1ヶ月後	0.607
											1・3月後	0.302
研修や勉強会に参加する	研修	50	74.6	80	93.0	75	88.2	68	86.1	あり	前・後	0.000
	あり									群内	前・1ヶ月後	不可
											後・1ヶ月後	不可
											1・3月後	不可
	研修	45	69.2	54	75.0	46	67.6	43	69.4	なし	前・後	0.064
	なし									群内	前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	0.096
											1・3月後	0.648
MSM当事者向けの資料を読む	研修	40	59.7	48	55.8	51	60.0	52	65.8	あり	前・後	0.152
	あり									群内	前・1ヶ月後	不可
											後・1ヶ月後	不可
											1・3月後	不可
	研修	38	58.5	33	45.8	37	54.4	32	51.6	なし	前・後	0.332
	なし									群内	前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	0.503
											1・3月後	1.000
医学的な資料・文献などを読む	研修	17	25.4	16	18.6	21	24.7	19	24.1	あり	前・後	1.000
	あり									群内	前・1ヶ月後	0.523
											後・1ヶ月後	0.332
											1・3月後	1.000
	研修	26	40.0	28	38.9	19	27.9	20	32.3	なし	前・後	0.774
	なし									群内	前・1ヶ月後	0.238
											後・1ヶ月後	0.077
											1・3月後	0.581
映画や小説・マンガを見る	研修	9	13.4	14	16.3	16	18.8	20	25.3	あり	前・後	0.180
	あり									群内	前・1ヶ月後	0.092
											後・1ヶ月後	0.754
											1・3月後	0.109
	研修	8	12.3	11	15.3	9	13.2	9	14.5	なし	前・後	0.375
	なし									群内	前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	0.688
											1・3月後	1.000
MSMの知人・友人に尋ねる	研修	5	7.5	3	3.5	4	4.7	3	3.8	あり	前・後	0.727
	あり									群内	前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	1.000
											1・3月後	1.000
	研修	3	4.6	1	1.4	3	4.4	2	3.2	なし	前・後	0.500
	なし									群内	前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	0.500
											1・3月後	1.000
同僚などに相談する	研修	7	10.4	16	18.6	17	20.0	14	17.7	あり	前・後	0.012
	あり									群内	前・1ヶ月後	0.021
											後・1ヶ月後	1.000
											1・3月後	0.774
	研修	5	7.7	12	16.7	24	35.3	14	22.6	なし	前・後	0.039
	なし									群内	前・1ヶ月後	0.000
											後・1ヶ月後	0.002
											1・3月後	0.077
その他	研修	3	4.5	1	1.2	2	2.4	3	3.8	あり	前・後	0.500
	あり									群内	前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	1.000
											1・3月後	1.000
	研修	3	4.6	2	2.8	2	2.9	2	3.2	なし	前・後	1.000
	なし									群内	前・1ヶ月後	1.000
											後・1ヶ月後	1.000
											1・3月後	1.000

表8 陽性者支援に関する知識

		研修前 N=253		研修直後 N=253		研修1月後 N=253		研修3月後 N=253		有意確率 対応サンブルMcNemar検定		
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値
告知を受ける人の情動的反応に対しては、感情の表出を支える												
	研修あり	92	90.2	92	90.2	97	95.1	89	87.3	あり	前・後	1.000
	研修あり	4	3.9	3	2.9	1	1.0	3	2.9	あり	前・1ヶ月後	0.344
	研修あり	5	4.9	7	6.9	4	3.9	5	4.9	群内	後・1ヶ月後	0.125
	無回答	1	1.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9		1・3月後	0.508
	研修なし	135	89.4	130	86.1	135	89.4	117	77.5	なし	前・後	0.503
	研修なし	6	4.0	6	4.0	4	2.6	8	5.3	なし	前・1ヶ月後	0.815
	研修なし	9	6.0	13	8.6	9	6.0	11	7.3	群内	後・1ヶ月後	0.332
	無回答	1	0.7	2	1.3	3	2.0	15	9.9		1・3月後	0.238
陽性告知の際は、受検者の秘密やプライバシーを保つ必要がある												
	研修あり	101	99.0	102	100.0	102	100.0	97	95.1	あり	前・後	不可
	研修あり	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	あり	前・1ヶ月後	不可
	研修あり	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	群内	後・1ヶ月後	不可
	無回答	1	1.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9		1・3月後	不可
	研修なし	149	98.7	147	97.4	144	95.4	136	90.1	なし	前・後	1.000
	研修なし	1	0.7	1	0.7	1	0.7	0	0.0	なし	前・1ヶ月後	1.000
	研修なし	0	0.0	1	0.7	3	2.0	0	0.0	群内	後・1ヶ月後	0.845
	無回答	1	0.7	2	1.3	3	2.0	15	9.9		1・3月後	0.125
検査が匿名であっても、陽性告知の場面では必要に応じ、受検者の氏名やプライバシーに関わる内容を確認する必要がある												
	研修あり	55	53.9	38	37.3	44	43.1	48	47.1	あり	前・後	0.000
	研修あり	30	29.4	58	56.9	47	46.1	41	40.2	あり	前・1ヶ月後	0.004
	研修あり	16	15.7	6	5.9	11	10.8	8	7.8	群内	後・1ヶ月後	0.043
	無回答	1	1.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9		1・3月後	0.690
	研修なし	94	62.3	94	62.3	90	59.6	73	48.3	なし	前・後	0.424
	研修なし	33	21.9	37	24.5	37	24.5	41	27.2	なし	前・1ヶ月後	0.424
	研修なし	23	15.2	19	12.6	21	13.9	22	14.6	群内	後・1ヶ月後	1.000
	無回答	1	0.7	1	0.7	3	2.0	15	9.9		1・3月後	0.424
他者に感染の可能性があるため、セックスを控えることを伝える												
	研修あり	24	23.5	17	16.7	21	20.6	15	14.7	あり	前・後	0.001
	研修あり	58	56.9	80	78.4	76	74.5	76	74.5	あり	前・1ヶ月後	0.009
	研修あり	17	16.7	5	4.9	5	4.9	5	4.9	群内	後・1ヶ月後	0.388
	無回答	3	2.9	0	0.0	0	0.0	6	5.9		1・3月後	0.815
	研修なし	37	24.5	38	25.2	39	25.8	33	21.9	なし	前・後	1.000
	研修なし	87	57.6	86	57.0	87	57.6	87	57.6	なし	前・1ヶ月後	1.000
	研修なし	24	15.9	24	15.9	22	14.6	14	9.3	群内	後・1ヶ月後	0.845
	無回答	3	2.0	3	2.0	3	2.0	17	11.3		1・3月後	0.216
告知の場面では、混乱や当惑が起こりやすいので、説明内容が後で確認できるように、パンフレットや冊子など、後で確認できる媒体を準備する												
	研修あり	101	99.0	101	99.0	101	99.0	97	95.1	あり	前・後	1.000
	研修あり	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	あり	前・1ヶ月後	不可
	研修あり	0	0.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0	群内	後・1ヶ月後	1.000
	無回答	1	1.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9		1・3月後	不可
	研修なし	146	96.7	150	99.3	145	96.0	133	88.1	なし	前・後	0.125
	研修なし	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.3	なし	前・1ヶ月後	1.000
	研修なし	4	2.6	0	0.0	3	2.0	1	0.7	群内	後・1ヶ月後	0.250
	無回答	1	0.7	1	0.7	3	2.0	15	9.9		1・3月後	1.000

表8 陽性者支援に関する知識

		研修前 N=253	研修直後 N=253	研修1月後 N=253	研修3月後 N=253	有意確率 対応サンプルMcNemar検定					
		n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値	
陽性告知の場面では、事実のみの必要最小限の説明にとどめ、その後の対応は紹介先病院で行うことが望ましい											
そう思う	研修あり	10	9.8	5	4.9	8	7.8	13	12.7	前・後	0.004
そう思わない(正しい)		75	73.5	91	89.2	83	81.4	74	72.5	前・1ヶ月後	0.134
わからない		16	15.7	6	5.9	10	9.8	10	9.8	後・1ヶ月後	0.118
無回答		1	1.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9	1・3月後	0.359
そう思う	研修なし	24	15.9	22	14.6	15	9.9	15	9.9	前・後	0.571
そう思わない(正しい)		104	68.9	100	66.2	105	69.5	92	60.9	前・1ヶ月後	0.874
わからない		22	14.6	28	18.5	28	18.5	29	19.2	後・1ヶ月後	0.377
無回答		1	0.7	1	0.7	3	2.0	15	9.9	1・3月後	0.556
陽性告知では、受検者の持つHIVへのイメージや理解度を確認し、必要に応じて情報提供する											
そう思う(正しい)	研修あり	97	95.1	101	99.0	100	98.0	95	93.1	前・後	0.375
そう思わない		2	2.0	0	0.0	1	1.0	2	2.0	前・1ヶ月後	0.375
わからない		2	2.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0	後・1ヶ月後	0.100
無回答		1	1.0	0	0.0	1	1.0	5	4.9	1・3月後	1.000
そう思う(正しい)	研修なし	149	98.7	147	97.4	147	97.4	133	88.1	前・後	0.625
そう思わない		0	0.0	1	0.7	1	0.7	1	0.7	前・1ヶ月後	1.000
わからない		1	0.7	2	1.3	0	0.0	2	1.3	後・1ヶ月後	0.625
無回答		1	0.7	1	0.7	3	2.0	15	9.9	1・3月後	0.625
周囲への告知は、すぐに行うことを勧める											
そう思う	研修あり	0	0.0	1	1.0	1	1.0	1	1.0	前・後	0.109
そう思わない(正しい)		91	89.2	98	96.1	99	97.1	91	89.2	前・1ヶ月後	0.065
わからない		10	9.8	3	2.9	2	2.0	5	4.9	後・1ヶ月後	1.000
無回答		1	1.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	1・3月後	0.375
そう思う	研修なし	5	3.3	6	4.0	5	3.3	2	1.3	前・後	1.000
そう思わない(正しい)		123	81.5	124	82.1	131	86.8	118	78.1	前・1ヶ月後	0.093
わからない		22	14.6	20	13.2	11	7.3	16	10.6	後・1ヶ月後	0.049
無回答		1	0.7	1	0.7	4	2.6	15	9.9	1・3月後	1.000
HIVの治療は、すべて自費となる											
そう思う	研修あり	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	前・後	0.250
そう思わない(正しい)		98	96.1	102	100.0	102	100.0	97	95.1	前・1ヶ月後	0.250
わからない		2	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	後・1ヶ月後	不可
無回答		1	1.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	1・3月後	不可
そう思う	研修なし	0	0.0	1	0.7	1	0.7	0	0.0	前・後	0.219
そう思わない(正しい)		143	94.7	140	92.7	140	92.7	129	85.4	前・1ヶ月後	1.000
わからない		6	4.0	9	6.0	6	4.0	6	4.0	後・1ヶ月後	0.508
無回答		2	1.3	1	0.7	4	2.6	16	10.6	1・3月後	1.000
HIVの治療で、加入している健康保険を利用することで、被保険者の職場に病名などが知られる可能性があるため利用できないことが多い											
そう思う	研修あり	6	5.9	2	2.0	4	3.9	3	2.9	前・後	0.000
そう思わない(正しい)		70	68.6	99	97.1	87	85.3	87	85.3	前・1ヶ月後	0.002
わからない		25	24.5	1	1.0	11	10.8	7	6.9	後・1ヶ月後	0.004
無回答		1	1.0	0	0.0	0	0.0	5	4.9	1・3月後	0.227
そう思う	研修なし	21	13.9	23	15.2	19	12.6	19	12.6	前・後	0.700
そう思わない(正しい)		94	62.3	92	60.9	100	66.2	87	57.6	前・1ヶ月後	0.327
わからない		33	21.9	35	23.2	29	19.2	30	19.9	後・1ヶ月後	0.212
無回答		3	2.0	1	0.7	3	2.0	15	9.9	1・3月後	0.850

表8 陽性者支援に関する知識

		研修前 N=253	研修直後 N=253	研修1月後 N=253	研修3月後 N=253	有意確率 対応サンプルMcNemar検定				
ART（抗ウイルス療法）や日和見感染症の治療をしている場合、自立支援医療の制度を利用することで治療費の自己負担を減らすことができる										
		n	%	n	%	n	%	研修 比較 両側p値		
そう思う（正しい）	研修あり	86	84.3	99	97.1	98	96.1	96 94.1	前・後 0.000	
そう思わない		1	1.0	0	0.0	0	0.0	0 0.0	前・1ヶ月後 0.013	
わからない		14	13.7	3	2.9	4	3.9	1 1.0	後・1ヶ月後 1.000	
無回答		1	1.0	0	0.0	0	0.0	5 4.9	1・3月後 0.375	
そう思う（正しい）	研修なし	115	76.2	123	81.5	129	85.4	116 76.8	前・後 0.189	
そう思わない		2	1.3	5	3.3	4	2.6	1 0.7	前・1ヶ月後 0.004	
わからない		31	20.5	22	14.6	15	9.9	19 12.6	後・1ヶ月後 0.210	
無回答		3	2.0	1	0.7	3	2.0	15 9.9	1・3月後 1.000	
HIV陽性者は病状によって、身体障害者手帳を取得することが出来る										
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修 比較 両側p値
そう思う	研修あり	95	93.1	99	97.1	99	97.1	96 94.1	前・後 1.000	
そう思わない（正しい）		1	1.0	2	2.0	2	2.0	0 0.0	前・1ヶ月後 1.000	
わからない		4	3.9	1	1.0	0	0.0	1 1.0	後・1ヶ月後 1.000	
無回答		2	2.0	0	0.0	1	1.0	5 4.9	1・3月後 0.500	
そう思う	研修なし	131	86.8	130	86.1	133	88.1	126 83.4	前・後 1.000	
そう思わない（正しい）		2	1.3	2	1.3	1	0.7	0 0.0	前・1ヶ月後 1.000	
わからない		15	9.9	18	11.9	14	9.3	10 6.6	後・1ヶ月後 1.000	
無回答		3	2.0	1	0.7	3	2.0	15 9.9	1・3月後 1.000	
HIV陽性者は、介護保険を利用できない										
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修 比較 両側p値
そう思う	研修あり	1	1.0	0	0.0	1	1.0	1 1.0	前・後 0.065	
そう思わない（正しい）		87	85.3	96	94.1	97	95.1	93 91.2	前・1ヶ月後 0.022	
わからない		12	11.8	6	5.9	4	3.9	3 2.9	後・1ヶ月後 1.000	
無回答		2	2.0	0	0.0	0	0.0	5 4.9	1・3月後 1.000	
そう思う	研修なし	2	1.3	1	0.7	0	0.0	1 0.7	前・後 0.453	
そう思わない（正しい）		134	88.7	132	87.4	136	90.1	120 79.5	前・1ヶ月後 0.508	
わからない		13	8.6	17	11.3	12	7.9	15 9.9	後・1ヶ月後 0.031	
無回答		2	1.3	1	0.7	3	2.0	15 9.9	1・3月後 0.125	
保健師がHIV陽性告知の知識を持つことで、陰性告知やHIV検査の質が向上する										
		n	%	n	%	n	%	n	%	研修 比較 両側p値
そう思う（正しい）	研修あり	97	95.1	102	100.0	101	99.0	96 94.1	前・後 0.250	
そう思わない		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0 0.0	前・1ヶ月後 0.625	
わからない		3	2.9	0	0.0	1	1.0	1 1.0	後・1ヶ月後 1.000	
無回答		2	2.0	0	0.0	0	0.0	5 4.9	1・3月後 1.000	
そう思う（正しい）	研修なし	146	96.7	149	98.7	147	97.4	133 88.1	前・後 0.500	
そう思わない		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0 0.0	前・1ヶ月後 1.000	
わからない		2	1.3	0	0.0	1	0.7	3 2.0	後・1ヶ月後 1.000	
無回答		3	2.0	2	1.3	3	2.0	15 9.9	1・3月後 0.625	
陽性者支援知識得点										
		平均点	平均点	平均点	平均点	有意検定 群内：対応サンプルt検定 群間：差の独立サンプルt検定				
陽性者支援知識得点	研修あり	10.78	11.99	11.77	11.64	研修	比較	両側p値		
						あり	前・後	0.000		
						群内	前・1ヶ月後	0.000		
						群内	後・1ヶ月後	0.024		
						1・3月後	0.407			
	研修なし	10.45	10.41	10.73	10.61	群間	前・後	0.000		
						群間	前・1ヶ月後	0.000		
						群間	後・1ヶ月後	0.001		
					群間	1・3月後	0.751			
				なし	前・後	0.656				
				群内	前・1ヶ月後	0.018				
				群内	後・1ヶ月後	0.009				
					1・3月後	0.719				

表9 HIV陽性者支援に対する態度と対応

	研修前		研修直後		研修1月後		研修3月後		有意確率			
	N=253		N=253		N=253		N=253		群内:対応サンプルMcNemar検定			
	n	%	n	%	n	%	n	%	研修	比較	両側の値	
もしも選べるのなら、HIV陽性者を担当したくない												
非常によく当てはまる	2	2.0	0	0.0	1	1.0	1	1.0	研修あり	前・後	0.908	
当てはまる	9	8.8	3	2.9	4	3.9	7	6.9		あり群内	前・1ヶ月後	1.000
どちらかといえば当てはまる	22	21.6	31	30.4	24	23.5	24	23.5		後・1ヶ月後	0.899	
どちらかといえば当てはまらない	23	22.5	30	29.4	34	33.3	30	29.4		1・3月後	0.253	
当てはまらない	32	31.4	24	23.5	29	28.4	26	25.5			前・後	0.073
まったく当てはまらない	14	13.7	13	12.7	10	9.8	9	8.8			前・1ヶ月後	0.116
無回答	0	0.0	1	1.0	0	0.0	5	4.9		群間	後・1ヶ月後	0.977
非常によく当てはまる	5	3.3	4	2.6	1	0.7	4	2.6			1・3月後	0.323
当てはまる	10	6.6	16	10.6	18	11.9	10	6.6			前・後	0.002
どちらかといえば当てはまる	36	23.8	41	27.2	35	23.2	42	27.8		研修なし	前・1ヶ月後	0.016
どちらかといえば当てはまらない	30	19.9	32	21.2	46	30.5	32	21.2	なし群内		後・1ヶ月後	0.920
当てはまらない	47	31.1	38	25.2	32	21.2	31	20.5			1・3月後	0.848
まったく当てはまらない	20	13.2	17	11.3	15	9.9	15	9.9				
無回答	3	2.0	3	2.0	4	2.6	17	11.3				
もしも選べるのなら、HIV陽性者の支援は拒否したい												
非常によく当てはまる	2	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	研修あり	前・後	0.905	
当てはまる	3	2.9	1	1.0	3	2.9	4	3.9		あり群内	前・1ヶ月後	0.385
どちらかといえば当てはまる	15	14.7	7	6.9	13	12.7	16	15.7		後・1ヶ月後	0.200	
どちらかといえば当てはまらない	23	22.5	45	44.1	35	34.3	32	31.4		1・3月後	0.402	
当てはまらない	40	39.2	35	34.3	40	39.2	32	31.4			前・後	0.054
まったく当てはまらない	19	18.6	13	12.7	11	10.8	13	12.7			前・1ヶ月後	0.562
無回答	0	0.0	1	1.0	0	0.0	5	4.9		群間	後・1ヶ月後	0.180
非常によく当てはまる	1	0.7	1	0.7	1	0.7	1	0.7			1・3月後	0.531
当てはまる	5	3.3	7	4.6	5	3.3	5	3.3			前・後	0.002
どちらかといえば当てはまる	23	15.2	33	21.9	26	17.2	25	16.6		研修なし	前・1ヶ月後	0.042
どちらかといえば当てはまらない	43	28.5	40	26.5	50	33.1	47	31.1	なし群内		後・1ヶ月後	0.565
当てはまらない	49	32.5	43	28.5	45	29.8	37	24.5			1・3月後	1.000
まったく当てはまらない	27	17.9	24	15.9	20	13.2	19	12.6				
無回答	3	2.0	3	2.0	4	2.6	17	11.3				
もしも選べるのなら、進んでHIV陽性者の支援をすることが出来る												
非常によく当てはまる	1	1.0	2	2.0	1	1.0	1	1.0	研修あり	前・後	0.000	
当てはまる	13	12.7	20	19.6	16	15.7	16	15.7		あり群内	前・1ヶ月後	0.014
どちらかといえば当てはまる	29	28.4	33	32.4	38	37.3	39	38.2		後・1ヶ月後	0.434	
どちらかといえば当てはまらない	43	42.2	40	39.2	37	36.3	34	33.3		1・3月後	0.566	
当てはまらない	13	12.7	6	5.9	7	6.9	6	5.9			前・後	0.006
まったく当てはまらない	3	2.9	0	0.0	1	1.0	1	1.0			前・1ヶ月後	0.127
無回答	0	0.0	1	1.0	2	2.0	5	4.9		群間	後・1ヶ月後	0.426
非常によく当てはまる	6	4.0	4	2.6	6	4.0	4	2.6			1・3月後	0.947
当てはまる	8	5.3	14	9.3	10	6.6	12	7.9			前・後	0.681
どちらかといえば当てはまる	42	27.8	38	25.2	41	27.2	36	23.8		研修なし	前・1ヶ月後	0.488
どちらかといえば当てはまらない	61	40.4	64	42.4	65	43.0	63	41.7	なし群内		後・1ヶ月後	0.775
当てはまらない	26	17.2	24	15.9	20	13.2	15	9.9			1・3月後	0.515
まったく当てはまらない	4	2.6	4	2.6	4	2.6	4	2.6				
無回答	4	2.6	3	2.0	5	3.3	17	11.3				
HIV陽性者対応の自信												
とてもある	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	研修あり	前・後	0.000	
ある	4	3.9	12	11.8	15	14.7	18	17.6		あり群内	前・1ヶ月後	0.000
あまりない	54	52.9	79	77.5	75	73.5	70	68.6		後・1ヶ月後	0.820	
ない	43	42.2	10	9.8	12	11.8	9	8.8		1・3月後	0.241	
無回答	1	1.0	1	1.0	0	0.0	5	4.9			前・後	0.000
とてもある	2	1.3	2	1.3	3	2.0	0	0.0	研修なし	前・1ヶ月後	0.000	
ある	15	9.9	19	12.6	17	11.3	19	12.6		群間	後・1ヶ月後	0.779
あまりない	82	54.3	81	53.6	79	52.3	76	50.3			1・3月後	0.238
ない	51	33.8	48	31.8	44	29.1	41	27.2			前・後	0.109
無回答	1	0.7	1	0.7	8	5.3	15	9.9		なし群内	前・1ヶ月後	0.488
										後・1ヶ月後	0.863	
										1・3月後	0.707	

表9 HIV陽性者支援に対する態度と対応

		研修前		研修直後		研修1月後		研修3月後		有意確率		
		N=253		N=253		N=253		N=253		群内:対応サンプルMcNemar検定		
		n	%	n	%	n	%	n	%	比較	両側p値	
HIV検査結果告知を通して予防的支援ができたと思う												
できている	研修あり	0	0.0	1	1.0	1	1.0	0	0.0	あり群内	前・後	0.291
まあまあできている		34	33.3	34	33.3	51	50.0	54	52.9	前・1ヶ月後	0.007	
あまりできないない		50	49.0	56	54.9	35	34.3	32	31.4	後・1ヶ月後	0.015	
全くできていない		8	7.8	6	5.9	5	4.9	6	5.9	1・3月後	0.127	
無回答	10	9.8	5	4.9	10	9.8	10	9.8	群間	前・後	0.706	
できている	研修なし	3	2.0	7	4.6	5	3.3	5	3.3	前・1ヶ月後	0.042	
まあまあできている		56	37.1	57	37.7	53	35.1	47	31.1	後・1ヶ月後	0.043	
あまりできないない		66	43.7	61	40.4	61	40.4	62	41.1	1・3月後	0.108	
全くできていない		9	6.0	15	9.9	13	8.6	12	7.9	なし群内	前・後	0.413
無回答	17	11.3	11	7.3	19	12.6	25	16.6	前・1ヶ月後	0.769		
									後・1ヶ月後	0.885		
									1・3月後	0.426		
HIV陽性者の現状を知るためにしていること												
していない	研修あり	22	21.6	11	10.8	13	12.7	11	10.8	あり群内	前・後	0.006
している(*)		80	78.4	90	88.2	89	87.3	86	84.3	前・1ヶ月後	0.012	
無回答		0	0.0	1	1.0	0	0.0	5	4.9	後・1ヶ月後	1.000	
									1・3月後	0.727		
していない	研修なし	67	44.4	64	42.4	63	41.7	63	41.7	なし群内	前・後	0.581
している(*)		83	55.0	85	56.3	85	56.3	73	48.3	前・1ヶ月後	0.503	
無回答		1	0.7	2	1.3	3	2.0	15	9.9	後・1ヶ月後	1.000	
									1・3月後	0.454		
HIV陽性者のブログ・手記を見る												
	研修あり	27	33.8	41	45.6	37	41.6	32	37.2	あり群内	前・後	0.003
										前・1ヶ月後	0.041	
										後・1ヶ月後	0.503	
										1・3月後	0.648	
	研修なし	21	25.3	22	25.9	28	32.9	23	31.5	なし群内	前・後	1.000
										前・1ヶ月後	0.167	
										後・1ヶ月後	0.238	
										1・3月後	0.791	
研修や勉強会に参加する												
	研修あり	66	82.5	85	94.4	78	87.6	81	94.2	あり群内	前・後	0.000
										前・1ヶ月後	0.017	
										後・1ヶ月後	0.143	
										1・3月後	0.118	
	研修なし	57	68.7	57	67.1	68	80.0	57	78.1	なし群内	前・後	1.000
										前・1ヶ月後	0.043	
										後・1ヶ月後	0.041	
										1・3月後	0.824	
HIV陽性者向けの資料を読む												
	研修あり	53	66.3	58	64.4	56	62.9	61	70.9	あり群内	前・後	0.359
										前・1ヶ月後	0.700	
										後・1ヶ月後	0.839	
										1・3月後	0.230	
	研修なし	51	61.4	46	54.1	48	56.5	39	53.4	なし群内	前・後	0.359
										前・1ヶ月後	0.664	
										後・1ヶ月後	0.839	
										1・3月後	1.000	
医学的な資料・文献などを読む												
	研修あり	27	33.8	32	35.6	33	37.1	38	44.2	あり群内	前・後	0.332
										前・1ヶ月後	0.361	
										後・1ヶ月後	1.000	
										1・3月後	0.210	
	研修なし	41	49.4	45	52.9	34	40.0	30	41.1	なし群内	前・後	0.359
										前・1ヶ月後	0.265	
										後・1ヶ月後	0.017	
										1・3月後	1.000	
映画や小説・マンガを見る												
	研修あり	13	16.3	13	14.4	12	13.5	18	20.9	あり群内	前・後	1.000
										前・1ヶ月後	1.000	
										後・1ヶ月後	1.000	
										1・3月後	0.180	
	研修なし	10	12.0	12	14.1	9	10.6	8	11.0	なし群内	前・後	0.625
										前・1ヶ月後	1.000	
										後・1ヶ月後	0.375	
										1・3月後	1.000	
HIV陽性者の知人・友人に尋ねる												
	研修あり	3	3.8	4	4.4	4	4.5	3	3.5	あり群内	前・後	1.000
										前・1ヶ月後	1.000	
										後・1ヶ月後	1.000	
										1・3月後	1.000	
	研修なし	2	2.4	3	3.5	2	2.4%	2	2.7	なし群内	前・後	1.000
							2.4			前・1ヶ月後	1.000	
										後・1ヶ月後	1.000	
										1・3月後	1.000	
同僚などに相談する												
	研修あり	14	17.5	17	18.9	19	21.3	13	15.1	あり群内	前・後	0.581
										前・1ヶ月後	0.359	
										後・1ヶ月後	0.804	
										1・3月後	0.267	
	研修なし	15	18.1	17	20.0	22	25.9	15	20.5	なし群内	前・後	0.727
										前・1ヶ月後	0.167	
										後・1ヶ月後	0.424	
										1・3月後	0.344	
その他												
	研修あり	1	1.3	0	0.0	2	2.2	1	1.2	あり群内	前・後	1.000
										前・1ヶ月後	1.000	
										後・1ヶ月後	0.500	
										1・3月後	1.000	
	研修なし	0	0.0	0	0.0	1	1.2	1	1.4	なし群内	前・後	不可
										前・1ヶ月後	1.000	
										後・1ヶ月後	1.000	
										1・3月後	1.000	

表10 研修後評価

	研修直後		研修1月後		研修3月後		研修	有意確率	
	N=102		N=102		N=102			比較	両側p値
講義：MSMの心理社会的背景と健康課題-保健師にもとめられる支援のあり方とは									
	n	%	n	%	n	%		比較	両側p値
大変役に立っている	59	57.8	36	35.3	30	29.4	研修	後・1ヶ月後	0.000
まあ役にたっている	40	39.2	58	56.9	59	57.8	あり	1・3月後	0.372
それほど役に立っていない	1	1.0	7	6.9	5	4.9	群		
役に立っていない	0	0.0	0	0.0	1	1.0	内		
無回答	2	2.0	1	1.0	7	6.9			
ワーク：MSMに対するあなた自身の意識・考え方について考えてみましょう									
	n	%	n	%	n	%		比較	両側p値
大変役に立っている	31	30.4	20	19.6	18	17.6	研修	後・1ヶ月後	0.010
まあ役にたっている	60	58.8	65	63.7	62	60.8	あり	1・3月後	0.867
それほど役に立っていない	8	7.8	13	12.7	13	12.7	群		
役に立っていない	1	1.0	2	2.0	2	2.0	内		
無回答	2	2.0	2	2.0	7	6.9			
講義：実践報告：保健所における陽性告知（自治体の発表）									
	n	%	n	%	n	%		比較	両側p値
大変役に立っている	18	17.6	9	8.8	5	4.9	研修	後・1ヶ月後	0.000
まあ役にたっている	43	42.2	44	43.1	43	42.2	あり	1・3月後	0.224
それほど役に立っていない	2	2.0	9	8.8	10	9.8	群		
役に立っていない	0	0.0	1	1.0	2	2.0	内		
無回答	39	38.2	39	38.2	42	41.2			
講義：陽性告知支援について									
	n	%	n	%	n	%		比較	両側p値
大変役に立っている	56	54.9	30	29.4	28	27.5	研修	後・1ヶ月後	0.000
まあ役にたっている	44	43.1	63	61.8	61	59.8	あり	1・3月後	0.863
それほど役に立っていない	1	1.0	8	7.8	6	5.9	群		
役に立っていない	0	0.0	1	1.0	1	1.0	内		
無回答	1	1.0	0	0.0	6	5.9			
ワーク：陽性告知に必要なこと・モノは何？									
	n	%	n	%	n	%		比較	両側p値
大変役に立っている	45	44.1	30	29.4	27	26.5	研修	後・1ヶ月後	0.000
まあ役にたっている	49	48.0	56	54.9	59	57.8	あり	1・3月後	1.000
それほど役に立っていない	7	6.9	12	11.8	9	8.8	群		
役に立っていない	0	0.0	2	2.0	1	1.0	内		
無回答	1	1.0	2	2.0	6	5.9			
ワーク：陽性告知のケースで、考えられるケアプラン・支援・必要な支援を作成する									
	n	%	n	%	n	%		比較	両側p値
大変役に立っている	40	39.2	22	21.6	24	23.5	研修	後・1ヶ月後	0.000
まあ役にたっている	55	53.9	64	62.7	59	57.8	あり	1・3月後	0.863
それほど役に立っていない	6	5.9	13	12.7	12	11.8	群		
役に立っていない	0	0.0	1	1.0	1	1.0	内		
無回答	1	1.0	2	2.0	6	5.9			

表11 各変数とMSM対応自信

	研修前			研修後			1ヶ月後			3か月後		
	MSM対応自信		2検定 両側p値	MSM対応自信		2検定 両側p値	MSM対応自信		2検定 両側p値	MSM対応自信		2検定 両側p値
	とてもある	あまりない		とてもある	あまりない		とてもある	あまりない		とてもある	あまりない	
本研修												
参加	12	89	0.463	21	81	0.515	24	78	0.430	24	78	0.430
	11.9%	88.1%		20.6%	79.4%		23.5%	76.5%		23.5%	76.5%	
非参加	24	126		26	124		28	119		28	119	
	16.0%	84.0%		17.3%	82.7%		19.0%	81.0%		19.0%	81.0%	
年齢												
37歳以下	14	109	0.153	18	105	0.104	24	98	0.639	24	98	0.639
	11.4%	88.6%		14.6%	85.4%		19.7%	80.3%		19.7%	80.3%	
38歳以上	22	100		29	94		28	94		28	94	
	18.0%	82.0%		23.6%	76.4%		23.0%	77.0%		23.0%	77.0%	
保健師経験年数												
10年以下	14	111	0.154	17	108	0.051	23	102	0.433	23	102	0.433
	11.2%	88.8%		13.6%	86.4%		18.4%	81.6%		18.4%	81.6%	
11年以上	22	102		30	95		28	94		28	94	
	17.7%	82.3%		24.0%	76.0%		23.0%	77.0%		23.0%	77.0%	
性別												
女	34	208	0.324	45	198	0.646	50	192	0.639	50	192	0.639
	14.0%	86.0%		18.5%	81.5%		20.7%	79.3%		20.7%	79.3%	
男	2	6		2	6		2	5		2	5	
	25.0%	75.0%		25.0%	75.0%		28.6%	71.4%		28.6%	71.4%	
現在の担当												
HIVを担当している	24	129	0.580	35	119	0.046	39	115	0.036	39	115	0.036
	15.7%	84.3%		22.7%	77.3%		25.3%	74.7%		25.3%	74.7%	
HIVを担当していない	12	86		12	86		13	82		13	82	
	12.2%	87.8%		12.2%	87.8%		13.7%	86.3%		13.7%	86.3%	
HIV担当年数 (* * 名中)												
4年以下	13	91	0.340	19	85	0.023	24	80	0.089	24	80	0.890
	12.5%	87.5%		18.3%	81.7%		23.1%	76.9%		23.1%	76.9%	
5年以上	10	33		15	29		14	30		14	30	
	23.3%	76.7%		34.1%	65.9%		31.8%	68.2%		31.8%	68.2%	
保健師養成機関												
専門学校・養成所	23	116	0.282	30	110	0.400	28	109	0.546	28	109	0.546
	16.5%	83.5%		21.4%	78.6%		20.4%	79.6%		20.4%	79.6%	
4年制大学	13	87		16	84		23	77		23	77	
	13.0%	87.0%		16.0%	84.0%		23.0%	77.0%		23.0%	77.0%	
その他	0	11		1	10		1	10		1	10	
	0.0%	100.0%		9.1%	90.9%		9.1%	90.9%		9.1%	90.9%	
最終学歴												
専門学校・養成所	17	89	0.714	25	82	0.325	22	83	0.514	22	83	0.514
	16.0%	84.0%		23.4%	76.6%		21.0%	79.0%		21.0%	79.0%	
短大	2	24		2	24		3	23		3	23	
	7.7%	92.3%		7.7%	92.3%		11.5%	88.5%		11.5%	88.5%	
4年制大学	13	86		16	83		22	76		22	76	
	13.1%	86.9%		16.2%	83.8%		22.4%	77.6%		22.4%	77.6%	
大学院	3	12		4	11		5	10		5	10	
	20.0%	80.0%		26.7%	73.3%		33.3%	66.7%		33.3%	66.7%	
その他	1	2		0	3		0	3		0	3	
	33.3%	66.7%		0.0%	100.0%		0.0%	100.0%		0.0%	100.0%	
保健師養成機関で同性愛や性同一障害について学んだ												
はい	11	35	0.126	10	36	0.468	11	35	0.560	11	35	0.560
	23.9%	76.1%		21.7%	78.3%		23.9%	76.1%		23.9%	76.1%	
いいえ	15	106		25	97		27	93		27	93	
	12.4%	87.6%		20.5%	79.5%		22.5%	77.5%		22.5%	77.5%	
覚えていない	10	73		12	71		14	68		14	68	
	12.0%	88.0%		14.5%	85.5%		17.1%	82.9%		17.1%	82.9%	
保健師になってから研修などで同性愛や性同一障害について学んだ												
はい	31	115	0.000	38	108	0.001	43	103	0.000	43	103	0.000
	21.2%	78.8%		26.0%	74.0%		29.5%	70.5%		29.5%	70.5%	
いいえ	4	84		7	82		7	79		7	79	
	4.5%	95.5%		7.9%	92.1%		8.1%	91.9%		8.1%	91.9%	
覚えていない	0	16		1	15		1	15		1	15	
	0.0%	100.0%		6.3%	93.8%		6.3%	93.8%		6.3%	93.8%	

表11 各変数とMSM対応自信

	研修前			研修後			1ヶ月後			3か月後		
	MSM対応自信		2検定 両側p値	MSM対応自信		2検定 両側p値	MSM対応自信		2検定 両側p値	MSM対応自信		2検定 両側p値
	とてもある・ある	あまりない・ない		とてもある・ある	あまりない・ない		とてもある・ある	あまりない・ない		とてもある・ある	あまりない・ない	
保健師養成課程でHIVについて学んだ												
はい	18	120	0.792	21	117	0.211	25	112	0.146	25	112	0.146
	13.0%	87.0%		15.2%	84.8%		18.2%	81.8%		18.2%	81.8%	
いいえ	9	48		15	43		17	39		17	39	
	15.8%	84.2%		25.9%	74.1%		30.4%	69.6%		30.4%	69.6%	
覚えていない	9	46		11	44		10	45		10	45	
	16.4%	83.6%		20.0%	80.0%		18.2%	81.8%		18.2%	81.8%	
国立保健医療科学院のHIV研修												
受講経験あり	5	19	0.357	5	19	0.784	6	18	0.601	6	18	0.601
	20.8%	79.2%		20.8%	79.2%		25.0%	75.0%		25.0%	75.0%	
受講経験なし	31	196		42	186		46	179		46	179	
	13.7%	86.3%		18.4%	81.6%		20.4%	79.6%		20.4%	79.6%	
エイズ予防財団のHIV研修												
受講経験あり	17	58	0.018	24	51	0.001	26	49	0.001	26	49	0.001
	22.7%	77.3%		32.0%	68.0%		34.7%	65.3%		34.7%	65.3%	
受講経験なし	19	157		23	154		26	148		26	148	
	10.8%	89.2%		13.0%	87.0%		14.9%	85.1%		14.9%	85.1%	
自治体主催HIV研修												
受講経験あり	27	96	0.001	32	92	0.006	34	89	0.012	34	89	0.012
	22.0%	78.0%		25.8%	74.2%		27.6%	72.4%		27.6%	72.4%	
受講経験なし	9	119		15	113		18	108		18	108	
	7.0%	93.0%		11.7%	88.3%		14.3%	85.7%		14.3%	85.7%	
その他のHIV研修												
受講経験あり	10	35	0.104	12	34	0.207	16	30	0.015	16	30	0.015
	22.2%	77.8%		26.1%	73.9%		34.8%	65.2%		34.8%	65.2%	
受講経験なし	26	180		35	171		36	167		36	167	
	12.6%	87.4%		17.0%	83.0%		17.7%	82.3%		17.7%	82.3%	
MSMのHIV検査受検者・相談者対応経験												
あり	27	84	0.000	33	79	0.000	38	74	0.000	38	74	0.000
	24.3%	75.7%		29.5%	70.5%		33.9%	66.1%		33.9%	66.1%	
なし	1	87		3	85		6	80		6	80	
	1.1%	98.9%		3.4%	96.6%		7.0%	93.0%		7.0%	93.0%	
わからない	8	40		11	37		8	39		8	39	
	16.7%	83.3%		22.9%	77.1%		17.0%	83.0%		17.0%	83.0%	
MSMのHIV陽性告知に関わった経験												
あり	9	15	0.003	10	14	0.005	10	14	0.015	10	14	0.015
	37.5%	62.5%		41.7%	58.3%		41.7%	58.3%		41.7%	58.3%	
なし	27	200		37	191		42	183		42	183	
	11.9%	88.1%		16.2%	83.8%		18.7%	81.3%		18.7%	81.3%	
同性愛の感じ方 (JIHP) 得点*												
低い(嫌悪感が弱い)	27	100	0.004	35	114	0.029	45	114	0.000	40	106	0.000
	21.3%	78.7%		23.5%	76.5%		28.3%	71.7%		27.4%	72.6%	
高い(嫌悪感が強い)	9	105		11	81		6	73		5	73	
	7.9%	92.1%		12.0%	88.0%		7.6%	92.4%		6.4%	93.6%	
HIV陽性者支援知識得点*												
低い(11点以下)	18	145	0.032	20	109	0.195	19	113	0.005	20	102	0.074
	11.0%	89.0%		15.5%	84.5%		14.4%	85.6%		16.4%	83.6%	
高い(12点以上)	17	61		26	92		33	78		28	78	
	21.8%	78.2%		22.0%	78.0%		29.7%	70.3%		26.4%	73.6%	
HIV陽性者対応自信*												
とてもある・ある	18	2	0.000	28	5	0.000	30	5	0.000	29	8	0.000
	90.0%	10.0%		84.8%	15.2%		85.7%	14.3%		78.4%	21.6%	
あまりない・ない	18	212		19	199		21	188		19	176	
	7.8%	92.2%		8.7%	91.3%		10.0%	90.0%		9.7%	90.3%	

* 各調査時点での得点および回答

表12 各変数と陽性者支援自信

	研修前			研修後			1ヶ月後			3か月後		
	陽性者支援自信		² 検定	陽性者支援自信		² 検定	陽性者支援自信		² 検定	陽性者支援自信		² 検定
	とてもある	あまりない		とてもある	あまりない		とてもある	あまりない		とてもある	あまりない	
	<i>p</i>		<i>p</i>		<i>p</i>			<i>p</i>				
本研修												
参加	4	97	0.061	12	89	0.705	15	87	1.000	18	79	0.368
	4.0%	96.0%		11.9%	88.1%		14.7%	85.3%		18.6%	81.4%	
非参加	17	133		21	129		20	123		19	117	
	11.3%	88.7%		14.0%	86.0%		14.0%	86.0%		14.0%	86.0%	
年齢												
37歳以下	4	119	0.003	9	114	0.005	12	108	0.066	13	100	0.072
	3.3%	96.7%		7.3%	92.7%		10.0%	90.0%		11.5%	88.5%	
38歳以上	17	105		24	98		23	97		24	91	
	13.9%	86.1%		19.7%	80.3%		19.2%	80.8%		20.9%	79.1%	
保健師経験年数												
10年以下	5	120	0.021	9	116	0.008	12	109	0.095	11	104	0.018
	4.0%	96.0%		7.2%	92.8%		9.9%	90.1%		9.6%	90.4%	
11年以上	16	109		23	101		22	100		25	91	
	12.8%	87.2%		18.5%	81.5%		18.0%	82.0%		21.6%	78.4%	
性別												
女	20	222	0.510	31	211	0.285	33	204	0.320	35	190	0.616
	8.3%	91.7%		12.8%	87.2%		13.9%	86.1%		15.6%	84.4%	
男	1	7		2	6		2	6		2	6	
	12.5%	87.5%		25.0%	75.0%		25.0%	75.0%		25.0%	75.0%	
現在HIV/AIDSを担当												
担当している	13	140	1.000	21	132	0.849	23	129	0.709	26	117	0.271
	8.5%	91.5%		13.7%	86.3%		15.1%	84.9%		18.2%	81.8%	
担当していない	8	90		12	86		12	81		11	79	
	8.2%	91.8%		12.2%	87.8%		12.9%	87.1%		12.2%	87.8%	
HIV担当年数 (**名中)												
4年以下	6	98	0.416	10	93	0.200	13	89	0.642	12	84	0.056
	5.8%	94.2%		9.7%	90.3%		12.7%	87.3%		12.5%	87.5%	
5年以上	6	37		10	34		9	35		12	29	
	14.0%	86.0%		22.7%	77.3%		20.5%	79.5%		29.3%	70.7%	
保健師養成機関												
専門学校・養成所	17	122	0.046	25	114	0.033	24	112	0.254	23	106	0.318
	12.2%	87.8%		18.0%	82.0%		17.6%	82.4%		17.8%	82.2%	
4年制大学	4	96		8	92		10	87		14	79	
	4.0%	96.0%		8.0%	92.0%		10.3%	89.7%		15.1%	84.9%	
その他	0	11		0	11		1	10		0	10	
	0.0%	100.0%		0.0%	100.0%		9.1%	90.9%		0.0%	100.0%	
最終学歴												
専門学校・養成所	14	92	0.200	21	85	0.169	19	86	0.596	20	81	0.534
	13.2%	86.8%		19.8%	80.2%		18.1%	81.9%		19.8%	80.2%	
短大	1	25		2	24		3	22		1	22	
	3.8%	96.2%		7.7%	92.3%		12.0%	88.0%		4.3%	95.7%	
4年制大学	4	95		8	91		10	85		14	77	
	4.0%	96.0%		8.1%	91.9%		10.5%	89.5%		15.4%	84.6%	
大学院	2	13		2	13		3	12		2	13	
	13.3%	86.7%		13.3%	86.7%		20.0%	80.0%		13.3%	86.7%	
その他	0	3		0	3		0	3		0	2	
	0.0%	100.0%		0.0%	100.0%		0.0%	100.0%		0.0%	100.0%	
保健師養成機関で同性愛や性同一障害について学んだ												
はい	4	42	0.639	6	40	0.454	4	40	0.295	8	38	0.651
	8.7%	91.3%		13.0%	87.0%		9.1%	90.9%		17.4%	82.6%	
いいえ	12	110		19	102		21	97		19	89	
	9.8%	90.2%		15.7%	84.3%		17.8%	82.2%		17.6%	82.4%	
覚えていない	5	77		8	75		10	72		10	68	
	6.1%	93.9%		9.6%	90.4%		12.2%	87.8%		12.8%	87.2%	
保健師になってから研修などで同性愛や性同一障害について学んだ												
はい	17	128	0.070	26	120	0.015	29	116	0.007	30	105	0.004
	11.7%	88.3%		17.8%	82.2%		20.0%	80.0%		22.2%	77.8%	
いいえ	4	85		6	82		6	78		5	77	
	4.5%	95.5%		6.8%	93.2%		7.1%	92.9%		6.1%	93.9%	
覚えていない	0	16		0	16		0	15		1	14	
	0.0%	100.0%		0.0%	100.0%		0.0%	100.0%		6.7%	93.3%	

表12 各変数と陽性者支援自信

	研修前			研修後			1ヶ月後			3か月後		
	陽性者支援自信		² 検定	陽性者支援自信		² 検定	陽性者支援自信		² 検定	陽性者支援自信		² 検定
	とてもある・ある	あまりない・ない	<i>p</i>	とてもある・ある	あまりない・ない	<i>p</i>	とてもある・ある	あまりない・ない	<i>p</i>	とてもある・ある	あまりない・ない	<i>p</i>
保健師養成課程でHIVについて学んだ												
はい	9	129	0.215	14	123	0.141	16	118	0.356	16	110	0.315
	6.5%	93.5%		10.2%	89.8%		11.9%	88.1%		12.7%	87.3%	
いいえ	8	49		12	46		11	44		11	41	
	14.0%	86.0%		20.7%	79.3%		20.0%	80.0%		21.2%	78.8%	
覚えていない	4	51		7	48		8	47		10	44	
	7.3%	92.7%		12.7%	87.3%		14.5%	85.5%		18.5%	81.5%	
国立保健医療科学院のHIV研修												
受講経験あり	5	19	0.037	5	19	0.335	7	16	0.029	9	15	0.005
	20.8%	79.2%		20.8%	79.2%		30.4%	69.6%		37.5%	62.5%	
受講経験なし	16	211		28	199		28	194		28	181	
	7.0%	93.0%		12.3%	87.7%		12.6%	87.4%		13.4%	86.6%	
エイズ予防財団のHIV研修												
受講経験あり	8	66	0.453	16	59	0.023	16	58	0.045	18	52	0.011
	10.8%	89.2%		21.3%	78.7%		21.6%	78.4%		25.7%	74.3%	
受講経験なし	13	164		17	159		19	152		19	144	
	7.3%	92.7%		9.7%	90.3%		11.1%	88.9%		11.7%	88.3%	
自治体主催HIV研修												
受講経験あり	16	108	0.012	23	101	0.015	20	101	0.364	22	92	0.209
	12.9%	87.1%		18.5%	81.5%		16.5%	83.5%		19.3%	80.7%	
受講経験なし	5	122		10	117		15	109		15	104	
	3.9%	96.1%		7.9%	92.1%		12.1%	87.9%		12.6%	87.4%	
その他のHIV研修												
受講経験あり	8	37	0.032	10	36	0.087	13	33	0.005	14	28	0.002
	17.8%	82.2%		21.7%	78.3%		28.3%	71.7%		33.3%	66.7%	
受講経験なし	13	193		23	182		22	177		23	168	
	6.3%	93.7%		11.2%	88.8%		11.1%	88.9%		12.0%	88.0%	
MSMのHIV検査受検者・相談者対応経験												
あり	16	96	0.004	24	88	0.001	24	86	0.008	30	73	0.000
	14.3%	85.7%		21.4%	78.6%		21.8%	78.2%		29.1%	70.9%	
なし	1	86		3	85		5	78		3	76	
	1.1%	98.9%		3.4%	96.6%		6.0%	94.0%		3.8%	96.2%	
わからない	4	44		6	41		6	42		4	43	
	8.3%	91.7%		12.8%	87.2%		12.5%	87.5%		8.5%	91.5%	
MSMのHIV陽性告知に関わった経験												
あり	7	17	0.001	10	14	0.000	10	14	0.000	12	9	0.000
	29.2%	70.8%		41.7%	58.3%		41.7%	58.3%		57.1%	42.9%	
なし	14	213		23	204		25	196		25	187	
	6.2%	93.8%		10.1%	89.9%		11.3%	88.7%		11.8%	88.2%	
同性愛の感じ方 (JIHP)得点*												
低い(嫌悪感弱)	14	113	0.159	23	125	0.244	28	129	0.048	29	117	0.020
	11.0%	89.0%		15.5%	84.5%		17.8%	82.2%		19.9%	80.1%	
高い(嫌悪感強)	6	108		9	83		6	71		6	72	
	5.3%	94.7%		9.8%	90.2%		7.8%	92.2%		7.7%	92.3%	
HIV陽性者支援知識得点*												
低い(11点以下)	10	153	0.198	12	117	0.124	13	116	0.043	12	109	0.007
	6.1%	93.9%		9.3%	90.7%		10.1%	89.9%		9.9%	90.1%	
高い(12点以上)	9	68		19	98		22	88		25	82	
	11.7%	88.3%		16.2%	83.8%		20.0%	80.0%		23.4%	76.6%	
MSM対応自信*												
とてもある・ある	18	18	0.000	28	19	0.000	30	21	0.000	29	19	0.000
	50.0%	50.0%		59.6%	40.4%		58.8%	41.2%		60.4%	39.6%	
あまりない・ない	2	212		5	199		5	188		8	176	
	0.9%	99.1%		2.5%	97.5%		2.6%	97.4%		4.3%	95.7%	

* 各調査時点での得点および回答

表13 カテゴリー別自由記載内容【研修後】

MSMあるいはHIV陽性告知に対する意識
<p>研修手法に関するポジティブコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークを通じて、自分で考え、自分自身の課題を見つける事のできた研修でした ・グループワークも勉強になった ・他保健所の現状を聞くことができた ・話さない自由が与えられるなど今までにない気持ちがある研修でした ・ワーク・講義のバランスもよく、大変勉強になりました ・MSMに対しての他の人の考えを聞く機会があった ・ワークで参加者と話し合いをしたことも自分をふり返る機会となり有意義であった ・グループで言葉に出して考えることで、MSMや陽性者に対する考えを整理することができた ・ケース検討は良かった ・実際に関わっておられる方の話をきけたのは大変良かった ・グループワーク形式だったので、自分でゆっくり考える良い機会となった ・グループワークを間に挟まれていて、自分の考えを整理できてよかった ・陽性告知の事例検討は、とても具体的で明日からすぐ使えそうです ・MSMへの対応や陽性告知に関して、実際の事例を通し、グループワークをしながら勉強できる良い機会であった ・より具体的に分かりやすい研修でした ・グループワークがあったことで、他の保健師の方の支援に対する意見や考え方を知る機会になり、とてもよかった ・グループワークで経験者の話を聞いてよかった
<p>研修内容に関するポジティブコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解しやすい内容だった ・MSMの現状や陽性告知場面の実際を聞くことができた ・HIV対策の本質部分について学べた ・陽性告知のケアプランが大変勉強になりました ・貴重な媒体もくださり、ありがとうございました ・研修で情報をたくさん得ることができる ・MSMは「病気ではなく嗜好である」ということが印象に残った ・わかりやすい内容で、良かった ・ホームページ等 情報を得ることができた ・MSM、性同一性障害の方々が大変悩まれていること、生きづらさがあるということが理解できた ・HIVの中でも、特にMSMに特化した内容ということで、今までの研修の中でも特に勉強になったと思います ・HIV検査時の資料の準備や環境を整える (MSMのパンフを置くなど) 参考となることがありました ・MSMの方に抑うつや薬物使用者に多いことをはじめて学びました ・MSMの理解が深まり業務に不足していたものが具体的にわかりやすかった ・MSMの心理について統計学的に学ぶことができた ・MSMの人が抱える思いや状況を少し知ることができたように思う ・具体的な話を聴くことができイメージがわいた ・MSMの現状や状況を知ることができた ・HIV感染者へ、いつ、どのような援助が必要なのか知ることができたので良かった ・MSMについてこれまで知らなかったことを知るいい機会になった ・MSMの心理社会的背景についてはとても参考になった ・特に自尊感情が低いという点は、ないピースがうまった感じでよく理解できた ・現場(教育・医療)の問題点や当事者サイドからのもの見方、視点についての知見を広げることができた ・HIVについて、またMSMについて具体的な話を聞くことができた ・陽性告知などはしたことがないので、実際に経験のある他の保健師の方の話を聞いてよかった ・MSMの方の現状から陽性告知まで盛り沢山の内容 ・具体的な方法などについて聞くことができて、勉強になりました ・MSMの方の精神的な面での不安さを日々の相談の中で感じていたので、その背景などについても、データとして分かりやすく示して頂き、とても勉強になりました ・MSMのことが理解が深まった(生きている家庭での困難や苦労があったこと)・陽性者に対する支援について ・MSMの実際の様子や感情など研修でもなかなか知る機会が少なく、大変勉強になりました ・話の引き出し方やコミュニケーション上の注意点などを学ぶことができた ・具体的な話し方や対応について、講義して頂けたので、すぐ実践できるような内容でした ・MSMの現状についてや、HIV陽性者への支援まで、幅広い知識をまなぐことができたと思います ・同性愛者の生きにくさ、学生時代に正確な知識を得られていない現状等、よくわかりました。 ・HIV業務に携わるPHNとして、MSMのことや陽性告知について、知っておかなければならない情報が学べたのでよかった ・社会制度や陽性告知時の相談のポイント ・Sexual Minorityと自殺企図、未遂、抑うつとの関係、心理的葛藤など、心理的側面を学んだ
<p>その他のポジティブコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思考を改めて表出することで価値観の確認ができた ・対応する時の配慮の足りない部分も少しみえました ・業務展開するにあたり、非常に刺激になりました ・MSMの性について、具体的に想像ができた ・検査場面においては、「性的指向を本人が言わないと支援できない」のではなく「言いやすい雰囲気作りが既に支援」というのが印象的でした ・陽性告知に対しての日頃の準備が大事であることその準備の具体化がはっきりした ・陽性告知の為の準備の具体化がはっきりした ・1つのワークが短時間で区切られ、実施する内容も明確なので苦痛が少なくてよかった ・陽性告知未経験の私にも、その場面をイメージしやすくなった ・人数が少なかったため、アットホームな雰囲気の中で楽しく研修を受けることができた ・セクシュアリティに対する自分の考えを考える機会となった

表13 カテゴリー別自由記載内容【研修後】

MSMあるいはHIV陽性告知に対する意識
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の感じ方は尊重しつつも、自分自身の感じ方を再理解することができました ・とても勉強になりました ・検査を受けに来られた方に不快な思いをさせないように心がけていますが、「1人の対応がマズいとそのHCの評判もあつという間に広がってしまう」という言葉がとても印象的でした ・刺激をいただいた研修でした ・(自分がすべきことを)再認識するよい機会となったと思います ・MSMの方の理解のためにブログや小説、漫画などを読むのもひとつの方法だと新たな発見でした。 ・何ができていて、何が足りないのが明確になった ・たまに入るA先生のオフレコ話おもしろかったです ・B先生の話しでは自身の足りない(準備できていない)部分がよく分かりました ・HIV陽性患者は、ほとんどがMSMなのだとことを改めて感じた。 ・MSMの方をとりまく状況もわかった ・研修会に参加し、知らないではなく、知ろうとしていなかったことに気が付き、いろんな情報をいろんな情報を常に収集し自分の視野を広げていくことが大事だと思った ・MSMについて知識ができてよかった ・今まであまり意識的に学んでこなかった分野でしたので、勉強になった ・他都市のHCのやり方が聞け、よい情報交換の場となった ・「一言目の言葉が本心とは限らない。本心は一つずつ掘り下げていって知っていくもの」というBさんの言ったことがすごく心に響きました ・非常にためになる研修であった ・Bさんの実力、実話に基づいて大変貴重な分かりやすい資料を頂き、感謝している ・受検者の思いについて、確認し、話してもらったことの大切さを学びました ・メリハリがあった ・同性愛の人たちの生きにくさ、ストレスについて知ることが出来ました ・同じグループがベテランの方ばかりで色々な意見を聞いたのは良かった ・具体的に考えることができ、日々のふり返りとなった ・MSMの人達の立場や孤独感、思いを少し理解することができた ・人として、MSMの人達と向き合えるようになったことは、私の人生において、この研修で偏見を取り除くことができた ・研修資料が分かりやすく、再度見直せるものでよかった ・セーフターセックス等について感染予防の視点はあったが、陽性者自身の身を守る視点も持てた ・陰性告知した人が数カ月後、数年後、陽性となりうること ・人は弱いことを考えさせられた ・気付きにつながった ・MSMのおかれている状況についてよくわかった ・生きづらさを抱えていることを知った ・相談対応において、もっておける視点をえられた ・とても学びが多かったです ・MSMについて、自分自身の理解が十分ではなかったことに気付くことができました
<p>気づき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の中で、MSMのことを「特別な人」と思っていたことを自覚した ・研修を通じて、MSMの人が自分はどうしようもないことで、たくさん傷ついていると知った ・心理面、社会面で色々な課題があるということがわかった ・MSMの方々が抱える健康問題は多くあり、その根源にはいじめられた体験や社会的に少数派という事で自己肯定感が低くなっている事が関連している事を知った ・今までの知識が少なすぎたと思った ・自分がMSMに関心を持っていなかったことに気づいた ・どんな対象でも準備しておくこと、自分がいる位置(指向性も含めて)をきちんと知って、関わっていくことは変わらないということを再確認できた ・受講して「抵抗感」が少なくなった事が、一番の収穫です ・多様さを「あり」と認めるというか、自分の周りに居ないと黙殺していたという事にも気づけた ・同じ業務に当たっている受講者であっても、MSMへの理解は様々であることがわかった ・私はMSMについて、まったく知らない事やHIVの知識もないことがわかった
<p>感情・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HIV対策は重要な課題であり、私たちも力を入れてとりくみたい気持ちは大きいです ・研修で活力を得て、現場に戻るが、業務におわれ、結局 陽性者支援準備やMSM対応への工夫・話し合いがあとになってしまい、「できない！」とジレンマです ・余計なことを考えることなく没頭できたと思いました ・MSMの人が“普通に”いられる社会になってほしいと思った ・世の中の「男・女」の恋愛至上主義がマイノリティな人たちにとって違和感を抱きつけさせる要因のひとつではないでしょうか ・他の人の話を聞いて驚いたり、違和感を感じるがあった ・性的マイノリティであることで自身の存在価値があるとかないとか考えずにいられるような世の中になればいいと思う ・HIVという1つの問題だけでは表せない問題だと実感しました ・MSMについて講義の前に考えて目的意識をもって話をきいたので知識が定義しやすいと思った ・MSMの理解しようという気持ちになれた ・セクシャリティに対して自分とは全く違う考えを持っている人もいて、そんな人がHIV検査のカウンセリングをしてもいいのだろうかと感じてしまう場面もあった ・性的指向や性行動についてはある程度勉強できるが、傷つき体験を持つ人のケアと考えると、PHNの資質が問われると思う ・短い時間の中で、相談者の話をどれだけ聞いてあげられるか、少し不安ですが、やってみるしかないのかな、とも思います ・HIVだけでチームがくれたらいいのに・・・と感じます ・テレビで活やくする方々のイメージとはずいぶんちがうなと感じた(一部吐露されている方はいるけれど、MSMの方もそれぞれ性格があるとは思うが)あのように一部の人だけで印象づけされてしまうのはどうかと思った ・小学生から性教育の中でセクシャルマイノリティーについても必要であると感じました。

表13 カテゴリー別自由記載内容【研修後】

MSMあるいはHIV陽性告知に対する意識
<ul style="list-style-type: none"> ・知識の不足を感じた ・しっかりと知識とスキルの必要性を感じました ・年間の受検検数もそれほど多くなく、実際に陽性告知にたずさわったこともない為、なかなか実感がわかないというのが本音です ・「そのうちきっとここでも陽性の人も出る」という思いもあります ・日本ではまだタブー視されていると思う ・保健師同士で話すと同じように感じている部分が多く、自分だけではないんだなと思いました ・MSMのブログなどを見ることも必要だと思いました ・まだ勇気がです・・・ ・MSMの方たちが占めるHIV感染率が実態としてはもっと多い、自殺率が高いという指摘があり、ショックだった ・生きづらさを社会がMSMに対して作りだしていることがショックだった ・公教育の場での性の多様性を学ぶこと、否定的情報を与えられている状況を聞きこれもショックで改善が必要と感じた ・知識の提供も大切だが話をしてもらえ状況づくり、相手との対話が大切だと今さらながらに痛感、反省した。(検査相談場面で) ・「人に伝えられそう」「仕事に伝えよう」と感じました ・自分の中で消化しきれない気がします ・逆にMSMに対して理解できないと思うことが強くなった気がします ・まだまだ偏見や知識不足もあるがこれからは機会を捉えて一つの価値観として見ていけたらと思う ・自分の知識のなさを改めて実感しました ・今までMSMの相談を受けたことがなく、自主的に知識を得ようとしていなかったことに反省しています ・自分が思っているより、ずっと身近な問題なのかもしれないと思いました ・今後、もっと身近なこととして関心をもっていきたいと思いました ・もう少し寄り添った対応ができるのではないかと思います ・研修を受けると意識も上がるので定期的に研修を受けていけたらと思いました ・研修をうけることにより、実際の状況を知ることができたと思います ・検査相談場面で対応事例や陽性者告知事例や、よかったこと、難しかったことなど共有することで準備できるし必要なことだと思いました ・常に収集し自分の視野を広げていくことが大事だと思った ・カウンセリングの経験がないので、まずはカウンセリングに入っていきたいと思います ・分からない、知らないから対応できないのではなく、もっと知ってとりあえず対応をしたいと感じた。 ・A先生のお話やB先生の陽性告知支援は、必要な事ですが、日常のHIV検査で、要確認検査も経験がないため、ついつい忘れがちになっていきます ・いつ当たっても不思議ではないので準備が必要と思いました ・日々練習できそうです ・陽性告知に関して自信がついた ・エイズ検査について、検査を受けることや結果だけを見ず、その背景にあるもの、心理的な状態、心の情景を見ていくこと、理解していく努力をすることが大事だと思いました ・出てきた事象や行動をとる心の中や裏にあるものをとらえていかなければ、その人を分かっていくことは難しいと感じました ・これって告知や支援の場面だけじゃなくて、友人、恋人、全ての人との関わりでもあるので、自分もスキルUPしていけたらと思う ・もっと勉強しないといけないなと思いました ・今回初めての担当であり、もう少し基本的な事を勉強して参加すればよかったと後悔しています ・長い経験の中で積み重ねた考え方があるため、それとは違う自分の意見を言うのが難しかったです ・青少年に対して、「多様な性」について伝えていくことで(教育現場)自己肯定観をUPしたり、周囲の理解を促すことになると思った ・身近に感じた ・自分自身の意識について、見つめる機会をもち、またグループで共有しあうことで少し自信がついた ・陰性告知場面でも受検者のリスク行動を振り返る機会にしたいと思います
<p>研修前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MSMについて知らない事が多かった ・MSMやセクシュアルマイノリティの理解を深めるため積極的に情報を得るようにしてきた ・二重生活を送っている、自尊心が低い、将来の目的やイメージを抱きにくい、孤独感などマイナスなイメージばかりがついて回り、自分の中でひとくりに捉えてしまっているように思う ・これまで、このようにMSMに関して研修を受ける機会は無かった ・MSMについてほとんど知識がなく、自分の持つイメージでしかなかった ・今までHIVやMSMの相談を受けたことはありません ・陽性告知の経験がなかった ・あまり情報共有する機会がなかった ・今まで知識もなく、MSMについてまったく遠い存在に思っていた ・陽性告知にあたる事がほとんどなく、対応に不安があった ・MSMの方の精神的な面での不安さを日々の相談の中で感じていた ・具体的にMSMの支援について学ぶ機会がほとんどなかった
<p>研修 提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークでお互いのやり方をききあうのではなく支援のロールプレイを見せてほしい ・日高先生のお話をもっと聞きたかった ・2日に分けた方が理解も深まる気がしました ・保健所に相談に来られた方を準備がないからと断ることはありませんが相手に提供できる材料にどのようなものがあるのか示していただきたかったです ・現状では陽性告知をしていない(保健所は)うえ、医師がどのように陽性告知をしているかも同席体験がないので現在の事業内容をもっとふまえた形でワーク展開をしていただけたらありがたいと思います ・1つずつの講義の内容がもう少し詳しく深く教えていただけたら良かった ・基本的なことも理解していないので、講義的なところをもっと多くしてもらった方が良かった ・MSMの方への具体的な指導方法なども聞きたかった

表13 カテゴリー別自由記載内容【研修後】

MSMあるいはHIV陽性告知に対する意識

今後の課題・宣言

- ・実行にうつす努力をします！
- ・可能性としてMSMの人も存在するという意識を持って、HIV相談だけでなく思春期教育で学校に外向く時や家庭訪問時、相談対応時でも対応していきたい、していきたい
- ・HIV陽性者の方にお渡しするパンフレットなどを最新のものにそろえておく必要がある
- ・陽性者支援団体の特徴を具体的に把握した上で、情報提供しなければ、役に立たない
- ・プライバシー確保のために陽性告知前にカンファレンスをするなど情報共有していないので、改善すべきかどうか検討したい
- ・医療機関を紹介するにもその医療機関の特徴まで把握しておく
- ・陽性者支援のために、検査時からでも使えるマニュアルや資料などのリソースを整理していたつもりだったが、それぞれどんな内容でどんな特徴があるかまで知っておく必要があることを学び、まだまだ準備不足だと痛感した
- ・陽性告知の準備をもっと整えておくべき
- ・実際はそうでない人もいるだろうし、もっとオープンにして話し合える友人のような存在でいられたらいいな
- ・同僚にも知ってもらいたいので、本やマンガも読んで回覧したいです。母子+HIV担当なので、少しでも共有できる様にしていきたい
- ・保健所の医師は陽性告知をするので、このような研修は必ず受けるよう、義務にしていきたい。PHNの認識との格差が年々生じ、陽性者支援に支障を生じている
- ・検査前相談の場面では、ゆっくり時間をかけられないので(クラミジア検査の説明に時間がかかる)陽性者支援を見通した対応といっても、難しい状況があります
- ・結核や感染性胃腸炎、、国や府への報告業務etc.業務に追われるなかで、期待に応えていくことが、困難
- ・職場のパソコンでインターネットからMSMやHIVの関係のHPあけ、そこから関連サイトもみてみようをクリックすると...「業務に関係ないサイトへのアクセスは制限されています」と出てしまったりします
- ・この情報を実際の業務で活かしたり実践しないとステップアップにはならない
- ・まず、できることから取りくんでいきたいと思いました
- ・今後のHIV/AIDS相談において、受診者の相談や不安に対して、感情を表出できるようでないねいな対応に心がけたい
- ・知識や情報をもっておくことはもちろん大事
- ・なによりも相手が話しやすい雰囲気をつくることが重要
- ・相手の立場や気持ちを考えながら対応することが重要
- ・「1人の対応がマズいとそのHCの評判もあつという間に広がってしまう」という言葉がとても印象的でした。そのようにならないよう、日々の研さんもつんでいきたい
- ・すぐには理解は進まない(マイノリティなので)が、PHNという立場を利用して社会にもっと発信していきたい
- ・いつも素通りしていたので今度は目を止めて読んでみます
- ・HIV陽性者が検査で出ても慌てず対応できるよう情報を準備しておくことや近くのエイズ治療拠点病院と連携し受け入れ体制を整えておくことを後回しにせず少しずつでもしていけないと再認識する事が出来た
- ・MSMに対して自分たちができることは出前講座の依頼があった時(中・高校より)にHIV/AIDSに関する正しい知識を伝えることを再認識する事が出来た
- ・学校との連携の実用性を感じた
- ・結果返しや指等の場でも、きちんと相手の思いを聞けるような対応、環境づくりが大切
- ・準備ができていえる状態ではなく、課題がたくさん見えます
- ・業務上自由に選択できる立場にないので、提示された中から相手の方の求める物により近くなるよう援助を考えていきたいと思えます
- ・今後のHIV相談事業に活かしていきたい
- ・今からやらねばならない事もわかってきた
- ・今後は事前に準備しとく方がよいことがたくさんある
- ・陽性告知について、通常より準備しておく必要がある(資料等はもちろん、精神面でも)
- ・積極的に支援者になりたい
- ・(学んだことを)今後の支援に役立てていきたい

研修ネガティブ

- ・ワークのタイトなスケジュールに驚いてしまいました
- ・参加者が少なくて拍子抜けしました
- ・HIVを担当する係の多くは感染症を担当することが多くアンケートや研修の時期についてご検討いただけるとありがたいです(冬場はノロ・インフルエンザと多忙かつ緊急で動くことも多いので)
- ・内容についてはMSMについてと陽性告知についてワークも入れると盛りだくさんすぎて最後あたりはせかされているような感じでした
- ・MSMについてそのイメージや対応などのワークで出た意見を講義のあともう少し丁寧にまとめる時間がほしかったです
- ・MSMに関してもっと深く具体的な対策等知ることのできる研修と思っていたので、その点では少し物足りなさを感じました
- ・MSMの支援に関わる研修に参加するにあたり、いつも感じるのはMSMの恋愛や性や日常生活での行動やことばなど基本的な生活上の性行為の困難さや考え方について聞きたいと思うがそのような場はいつも設定されていた事がない
- ・楽しみにしていたB先生の話しだったのでもっとたくさん聞きたかったです
- ・MSMに関してもっと深く具体的な対策等知ることのできる研修と思っていた
- ・陽性告知に関するワークはレディネスが整っていない中で展開されたので消化不良感が残った
- ・建物(会場内)に案内板があったら良かった
- ・いろいろなところでされている研修とあまり変わらなかった
- ・"援助スキル開発"とあるので、どんな新しい研修なのかと期待していましたが…。これからということでしょうか
- ・なんとなく不完全燃焼な感じで終わった
- ・研修でのグループワークでも意見が言いにくかったです
- ・経験年数が浅いことにより、内容が難しかった
- ・HIV検査、相談業務に携わったことがないので、少し難しかった

表14 カテゴリー別自由記載内容【研修1ヶ月後】

MSMあるいはHIV陽性告知に対する意識
<p>気づき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MSMの方は自尊感情が低く傷つきやすいということを研修で学んだ ・MSMであろうがなかろうがリスク行為を回避する重要性は同じである ・陽性告知するのは、事前準備が大事 ・告知の場面ではプライバシーに配慮して対応することが大切 ・MSMの方々は生きづらさを感じている方々であるとわかった ・研修で一般的な知識は知った ・色々な性的指向を持つ人がいて、検査にはそのような指向を持つ人たちも来られる可能性があるため、皆が来やすい、話しやすい環境を整えることが必要と分かった ・MSMは自尊感情が低い、それは、まわり、社会の不理解・差別から招かれている部分も大きい ・HIV陽性者にMSMの占める割合が多い ・MSMの人向けのアプリの存在を知って初めて見た ・HIV対策にMSM対策は必要不可欠 ・感情を持って生活していけるよう支援することが大切 ・対応する前(日頃)から対応の準備をしておくことが大切 ・告知だけではなく、告知から(もしくは検査来所時から)支援は始まっているものであると改めて思った
<p>変化:ボジティブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性に相談対応する際いずれの可能性(ゲイ・バイ)も視野に入れた話をするよう心がけています ・相談者がMSMであってもなくても対応方法は同じ、MSMだからといって対応方法かえるひつようないと思うようになった ・それまでよりは少し認識、理解が明らかになった ・検査前カウンセリングで、MSMかどうかたずねることにして抵抗が全くなかった ・陽性告知のことを意識して検査前面接を行うことが必要とは思うようになった ・強い抵抗感があったのですが研修を受けて見方が随分変わりました。 ・チームで情報の共有をしているので告知場面がどのようにされ受検者が何を聞きたいのかは調べたり勉強するようにはしています ・積極的に関わっていきこう、知ろうと思うようになった ・当事者の報告書をよく読むようになった ・以前はMSMということに急にこだわっていたように思う。「あなたが同性、異性どちらを好きでも構わないし、誰かとつながっている全ての人に関係あること」という認識に変化した ・男性に相談対応する際いずれの可能性(ゲイ・バイ)も視野に入れた話をするよう心がけています ・イベント実施で即日検査をしました会場設営、啓発物品から問診場面まで特に男性受検者に対してMSMがそれに関わる何かを抱えているかもしれないという意識で取り組んだ ・MSMの人への面接に緊張することが少なくなった ・実際のMSMの方とお話したい思いがめばえた。また実際にお話しする機会を得た ・今回の研修と実際事例への陽性(判定保留)告知することで、陽性が出たらどうしようという不安が軽減しました ・検査の当日には、MSMやHIV陽性者の対応をしなくてはいけないこともあるという意識に変わったあつた場合の準備をしておかなければいけないと感じるようになった 2 ・準備をしておかなければいけないと感じるようになった 2 ・(研修で出来た新しい人脈からの話を聴いて)ゲイの方やHIV陽性者は身の回りに当り前にいらっしやるんだと本当の意味で納得することができました ・既に発生しており身近にHIVがあるという事実を実感しました ・今回の研修と実際事例への陽性(判定保留)告知することで、陽性が出たらどうしようという不安が軽減しました ・感染症情報の中で陽性者ありという情報があった時には以前より考える機会が多くなったと思います ・専門職である以上、MSMについて「わからない、理解できないから対応できない」という考えではいけないと感じている ・MSMについて「全くわからない」から「少しわかる」になった ・まだ対応の実際はありませんが、苦手という意識は少なくなったように思います ・MSMの人の問診をとる機会があったが、全く抵抗を感じなかった ・正直に記入し、検査を受けにこられている事を評価できた ・MSMの人に対して必要以上に構える気持ちがすこしなくなった ・MSMに対し、こちらが意識しすぎることもおかしいと感じられるようになった ・MSMについて学んだことで、通常のHIVの検査前相談での相談方法や情報提供の方法など、より意識するようになりました ・自身のMSMの意識が大きく変わり、「変な人達」という認識から、私たちと同じ人達と思えるようになった ・今までの偏見が全くなかったことは、この研修に参加して得た財産です ・少し身近に感じる ・少しでも知識がある分、不安な気持ちは減った ・MSMの方がわかれば、ゆっくりとお話しする機会を持ちたいと思っています
<p>変化:ネガティブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっきり自覚できる変化はないように思う 2 ・以前から同じような研修は受講していますが意識の変化は感じません ・MSMに対する意識は変わらない ・抵抗感がなくなった ・研修を受けたすくあとは自分の知識よりは対応する姿勢の方がとても大切と思って考えなおしました ・まだ勉強不足で自信はない ・特に変わりはない 2 ・正直、直接業務にたずさわっているわけではないので日常業務の中であまり意識することが少ないです ・特に変化はありません ・実施内容にも変化ありません 2 ・MSMを受け入れられるまでには到らない ・HIV検診に従事する回数が少なく自分の身に振り返ることができず、きちんと意見は出せません。(研修後1回のみ) ・特に変化はない 2 ・研修直後はパンフレットを確認したりしようと考えていましたが、まだ実行できていません

表14 カテゴリー別自由記載内容【研修1ヶ月後】

MSMあるいはHIV陽性告知に対する意識

- ・何が変わったのか、まだ分かりません
- ・MSMの方に対しては、以前より個性のひとつと感じていたため、特に意識に変化はありません
- ・特に変化はない 2

現状

- ・HIV陽性告知未経験だからか自分が告知をするということに100%の自信がもてません
- ・日々の業務に追われ準備がなかなかできていない
- ・はっきりとMSMと分かっている人にまだ会ったことがない(相談場面で)
- ・今日は世界エイズデーだったとはいえ受検者もなからぶり状態です
- ・この一ヶ月の間にAIDSの発生届が1件ありました
- ・相談件数が少ないこともあり研修があまり活かせてないのが現状です
- ・HIV陽性告知もMSMへの対応も現場で行えていないので、どういふ介入をしたらいいのかわからない
- ・HIV陽性告知は市からの委託事業なので市の仕様書に準じて行うものと考えている
- ・現在の状況では陽性告知は医師が担当しており、保健師が関わっていないが仕方がない
- ・これまで1度も経験がない
- ・直接業務にたずさわっているわけではない
- ・担当少ない
- ・陽性告知は、いまだに立ち会った事はない
- ・MSM、HIV陽性の方と接することなく過ごしてます
- ・本etc購入し読もうと思っているが、なかなか進んでいないのが現状です。出来ない自分に反省です
- ・日々の業務に追われ、なかなか担当外のことに時間を使えていない
- ・MSMやHIV(+)告知に出会う機会は今のところない
- ・事業のローテーションで、HIV検査・結果説明に携わる機会があまりなかった
- ・事業担当しておらず分からない

学んだことの活かし

- ・学生の講義にもMSMのことを内容に盛り込むなどの実践に生かすことができた
- ・研修で出会った保健師とNPOのCさんに話を聞きに行きました
- ・研修後にHIV+告知の場面がありました。今までよりも落ちついて対応できました
- ・(偏見を持つ友人に)本研修で学んだことを伝える
- ・陰性告知の場面でも、次回の検査勧奨をスムーズに声かけが出来ました
- ・研修後、今まで以上にHIV検査相談のふり返りをするようになりました
- ・目の前の人が、もしかしたらHIV(+)かもしれない...と常に考えて一人一人に関わっています

感情・意見

- ・相談の場でもセクシャリティについて正直に言わない可能性が高いと考えた
- ・その本人にとっては普通のことであるのに周りに受け入れられないのは苦痛だし悲しいだろうと思う
- ・陽性告知に対する意識に対する自信は告知にたずさわる経験の中で生まれてくるものと思います
- ・研修も必要だが経験しないことには自信が持てない
- ・MSMの背景、悩みをもって知っておきたいと思った
- ・相談者の気持ちにそえるよう向きあいたいとは思っています
- ・MSMの気持ちに寄りそえるような支援が必要と感じます
- ・受講してよかったと思います
- ・まだMSMであるということのカミングアウトされたこともないからか、今の時点ではMSMへの拒否の感情などありません
- ・どんな人がMSMなのか...とドキドキしています
- ・実際に相談を受けた時は、どんな気持ちを持つのか気になります
- ・自殺対策ともリンクさせたいと思った
- ・しばらく経過すると知識がないとか自信がないとか考えてしまっているなあとと思います
- ・MSMや陽性告知について勉強しないといけないと思っています
- ・既に発生しており身近にHIVがあるという事実を実感しました
- ・研修では当事者の方と交流できる場がほしかった
- ・当事者に積極的に関わり理解を深めたり、つながりをつくりたいと思う
- ・研修を受けることで改めて必要性を感じたり刺激になる
- ・これから支援していきたいと考えている
- ・これまで1度も経験がないので、自信もないが、この知識をもっておくことは大切だと思う
- ・見識の深まる内容でした
- ・担当少なく対応方法等、情報共有できる機会がたくさんあるといいなと思う
- ・また、HIV陽性告知は告知される側だけではなく、する側にも精神的負担は非常に大きいと思う
- ・4月から新しく担当になり、最初は全く知識もなく漠然とした不安が強かった
- ・陽性告知は、いまだに立ち会った事はないので、不安は大きい
- ・MSMの人向けのアプリの存在を知って初めて見たが、自分の想像以上に登録者が多数いて驚いた
- ・MSMについての偏見を友人が話し始めた際に、世間では、まだまだ偏見があるのだと感じた。本研修で学んだことを伝えるも、MSMに対する意識は、友人は変わらなかった。日本では根強い問題だと思う
- ・MSMに対する意識は、友人は変わらなかった。日本では根強い問題だと思う
- ・陽性告知については、研修で学んだことを活かすように感じています
- ・仕事以外では上記のことについて話し合う(勉強しあう)機会があるが、同業者間ではなかったため、新鮮であった
- ・研修で学んだことを忘れてはいけないと思う
- ・さらに困った(悩んでいる)人達(MSM)を応援したいと強く思った
- ・話せないと思っている人が多いからです

課題・宣言

- ・HIV陽性告知に対してはパンフレットやスタッフの資料等、準備をもっとしておかなければいけないと感じている
- ・知識とスキルが必要であると感じています

表14 カテゴリー別自由記載内容【研修1ヶ月後】

MSMあるいはHIV陽性告知に対する意識
<ul style="list-style-type: none">・色々準備しておかなければいけない、と思っています・MSM・HIV陽性(患)者への対応について更に理解を深め自信をもって対応できるよう心がけたい・MSM or HIV陽性の方が可能な限り生き生きと生活できるように支援できるように取り組みたいと思っている・HIV陽性者告知についてはセンター内でだれがどういった部分を担当するかという点があいまいだと感じ一度きちんと調整しようと思っている・告知時に渡すもの等セットを作ろうと思っている・MSMでパートナーもAIDSということ、やはり特殊な集団で対策が必要と思います・時間をとれなくて勉強不足であるため、時間をとって勉強したい・ケース対応があると実際どこまで踏み込んで聞いていいのか分からず・陽性者向けのパンフレットの充実を市に求めたい・自ら知る努力をし、マイノリティと言われている人たちへの偏見の感情を少しでもやわらげていきたいと思う・検診に来られる方の不安は受け止めようと思っています・4月から今までにいろんな相談を受け、具体的な支援の仕方についての疑問が出てきた・MSMへの検査機会の増加、教育現場との連携による啓発が今は重要・HIV陽性告知については、もっと勉強し、職場でも準備しないとけない

表15 カテゴリー別自由記載内容【研修3ヶ月後】

MSMあるいは陽性告知に対する意識
<p>変化・ポジティブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けたお陰でMSMの方々について理解することができました ・少し受け止め方が広がった ・情報が少しふえたから、今後も対応を続ける ・MSMだから何か特別扱いがひつよう、と思わなくなった。”ぶつう”の対応でよいと思う 2 ・カウンセリング時に、積極的に性的動向などについて尋ねることができるようになった。そうすると、意外とあっさり反応が返ってくると感じている ・研修で知識・意識が向上したことで、以前より自信をもって対応できるようになった ・前よりは抵抗感が少なくなったと感じています ・MSMについて特別視する感情がとても少なくなった ・MSMへの意識というよりも、HIV感染リスクのある人ととらえ、予防や支援について、ていねいに伝えようという意識になってきた ・MSMに関する情報媒体に自らアクセスするようになりました。そうすることで、自分の中でのMSMとの距離感がせまくなった気がします ・研修受講前であれば、避けてたなと思うことや、小、中へ衛生教育へ行く(時や何気ない会話等、意識化せずに実施していたことが、その存在、MSMに限定せずいるんな指向性もありという立場で発言したり、衛生教育の資料や学校に出向く時に、その事(その人達の存在)を無視しない様にお願ひしたりと意識してするようになった ・最初の研修時は、対応について意識の変化はあったと思う。 ・こちらが構える気持ちを持っていたと思うが、その気持ちがなくなったように思う ・できたら避けたいという緊張感がなくなってきた ・以前より自分自身が落ち着いて、自信をもって対応に当たれたと思う ・血液検査の前後でHIVについて、より説明するようになった(予防等) ・MSMやHIVについての知識を意識して得るようになった ・MSMについては「生きづらさをかかえる人」ということで理解を深めることができた ・HIV陽性告知については資料をそろえたりしている ・色々な性的指向があって、その人達が受けやすい検査環境を作ることが大切ということが分かりました ・苦手意識がなくなった ・HIV陽性告知について調べ、自信を持つことができた ・普段から、「もし陽性だったら」と考えて関わっていけるようになった ・MSMの対応であったり、HIV陽性者に対しての爆然とした不安は軽減しているように思う ・研修を受けることで、知識を再度確認、必要な知識を持つことができた ・質問時に適切な内容を伝えることができるようになった ・MSMとわかることがほとんどないので、よくわからない ・陰性告知の場面でも緊張感を持って携っています ・何気ない発言(自分や周りの)を気にするようになりました(傷つけるようなことだったのではないかなど) ・検査前相談などで、MSMのこともふまえ、相談に応じることが少しずつできてきた気がします
<p>変化・ネガティブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けた時に比べると、意識はうすくなってきているように感じる ・特に変化はない(MSMの方を理解しようという姿勢は、検査場面、相談の中でも変わりありません、研修前から、他の研修でMSMについての対応は学んでいた) 5 ・実際の事例に対応する事は少ないため、対応への自信は低い ・心情的に変化はほとんどない(MSMを中心に感染が広がっていることについて学ぶことができたが、業務の一環として捉えているので) ・HIVの担当から外れたこともあり研修直後よりも自信をなくしたように思う ・(研修後と)(MSMに対する気持ち)特にかわらない 3 ・時間がたち記憶がうすれてきています ・研修に参加してからも、自分としては何も変わってないように思います ・あまり変化したように思えない ・特にかわりないです
<p>変化・その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング時に、積極的に性的動向などについて尋ねるようにすると、意外とあっさり反応が返ってくると感じている ・MSMやHIV陽性告知に関する研修を他でも受ける機会があり、理解は深まっているように感じている ・何らかの場面でMSM等の話題等が出てきたときには、また意識を新たにすることができます
<p>楽しさなどの活かし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この3カ月で、研修や勉強したこと、そしてHIVの検査面接を回数重ねて実施したからだと思います 抵抗が少なくなった ・陽性がでた時の対応を確認した ・部門転出のため人権の関わりとしての基礎になったと思っている ・MSMの方の生履歴や心理的背景 ・HIV陽性告知についてはセンター内でどう対応するかスタッフ間で確認することができた ・今回の研修で頂いた知識を活用できた ・陽性者の手記を読むきっかけをつくれたと思います ・MSMの方の現状について、今後の事業展開に取り入れていく必要があると感じ、具体的に検討しています ・もともと偏見はなかったが、問診時、相手が話しやすい雰囲気を作るようにしている ・直後と変わらず、全ての人がMSMかもしれないというスタンス、「普通」の型にはめて思いこまずに、その人をそのまま受け入れるスタンスで対応しています ・普段から、「もし陽性だったら」と考えて関わっていけるようになった
<p>感情・思い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽性告知経験はまだないですが、前よりも何とかなるのではと思っています ・まだ疑問や、自分の中に落ちついていない部分もあるが、研修はひとつのきっかけをもらったという感じ ・検査のときから陽性を否定せず関わる必要があると感じます ・自分の価値観を大切にしながら、多様な価値観を持っている人を理解することの難しさを感じることもある

表15 カテゴリー別自由記載内容【研修3ヶ月後】

MSMあるいは陽性告知に対する意識
<ul style="list-style-type: none"> ・理解しようと思えば、思うほど自分がしんどくなることがある ・MSMだから特別な対応が必要だとは思わない ・MSMの現状を理解することは大切だと思っていますが、個々に人と人として向き合えたらと感じています ・管内の医療機関から発生届が出たりで、確実に田舎でもHIVの問題が身近なものになりつつあるかもしれない、と感じています ・いつHCでの検査で陽性者が出てもおかしくないんだ、との思いで業務にとりくまないといけないと感じています ・MSMだからとかHIV陽性者だからという意識はもっていないつもりでいるが、具体的に指導するとか相談をうけるとかになると本当にその人に合った、その人のための思ったものとして話を聞いたり伝えたりできるかは自信がもてないのが本心である ・MSMは本人の問題ではない ・HIV陽性告知は経験がないので不安である ・時間がたち記憶がうすれてきていますが、守ってあげる対象であると思います ・本人の状態に応じ本人の意思を尊重した上で導くべき方向を支援することが大切、少年期～青年期に傷ついた体験をもっている可能性が大きいこと ・実際にそうした人への対応につけていないので、実戦面での不安がある ・(色々な性的指向があって、その人達が受けやすい検査環境を作ることが大切ということが分かりました)実際に対応するのは、まだ自信がない状況です。 ・(検査件数が少なく、告知経験がないので)実際に告知を行う時、うまく対応できるか、時間が経つと不安があります ・もっと勉強、対応していく必要あり。 ・相手の思い、考えを聴くことの難しさを感じています ・HIV陽性告知は、自分自身が落ち着いてできる気はしない ・MSMに対して温かい理解者になりたいと思った ・もっとよく勉強したいという気持ち強い
<p>.....課題・宣言.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HIV陽性告知もマニュアルも大切ですが、相手の立場や状態、思いにそった支援ができるよう努力していきたいです ・ブログ等でMSMのことをよく知ること、HIV陽性者が出た時のことを想定し準備しておくことで、MSMの人の対応や陽性告知に対する不安は少なくなると考えるので今後も日々知識を深めると共にでき得る限りの準備をしていきたい ・今年10月からの開始のため、まだ準備中です ・日々の業務に追われて、告知に対する意識はだんだん薄くなっている気がする ・(もっとよく勉強したいという気持ち強い反面)日々の業務に流され、勉強していない自分がある ・担当業務でなく、なかなか振り返る機会が持てていない ・改めて研修見直しをしなければと思います
<p>.....現状.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを少しづつ忘れてきている ・対象が少ない ・工作上あまり身近でないため意識がうすれているような気がします ・陽性告知については委託事業で実施している関係上、保健師がかかわることは難しいし医師がしているなかでも十分支援が行われている状況ではない ・MSMについては何もできていません ・検査件数が少なく、陽性告知の経験が無い ・HIV陽性告知については、まだ経験した事がない ・正直、勉強できていない ・他業務に追われ、HIV業務から少し離れてしまっているため、対応に自信が無い ・つい先日、HIV陽性告知の状況に初めて立ち会った ・その後、陽性者は出ていない ・実際の業務の中でMSMや陽性告知することもなく ・HIV陽性告知の場面に実際に遭遇した事はない ・陽性告知は、まだ経験が無い ・担当業務でない ・陽性告知場面に立ち会う機会が無かった
<p>.....研修提案.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽性告知のあり方を見直すためには事業を企画する立場の方の研修が必要と考えます